「人権問題に関する意識調査」報告書

令和７年３月

桑　名　市

－目 次－

I. 調査概要 1
1　調査の目的 1
2　調査対象及び調査方法 1
3　回収結果 1
4　報告書の見方 2
II. 調査結果 3
1　回答者の属性 3
1－1　性別 3
1－2　年齢 3
1－3　居住地区 3
2　人権意識全般について 4
2－1　人権侵害を受けた経験 4
2－2　人権侵害の内容 5
2－3　人権侵害への対応 7
2－4　人権に関する法律・条例等の周知度 9
2－5　人権や差別をめぐる考え方についての意識 13
3　個別の人権問題に関する意識について 20
3－1　人権問題への関心 20
3－2　女性に関する人権問題 22
3－3　子どもに関する人権問題 24
3－4　高齢者に関する人権問題 26
3－5　障害者に関する人権問題 28
3－6　同和問題に関する人権問題 30
3－7　同和問題に関する差別意識の現状 33
3－8　同和問題について聞いた内容と聞いた時の対応 34
3－9　結婚希望相手が同和地区出身者だとわかった場合の対応 37
3－10　親戚から同和地区出身者との結婚について相談を受けた場合の対応 38
3－11　外国人に関する人権問題 40
3－12　インターネットによる人権侵害に関する人権問題 42
3－13　インターネット上の誹謗中傷等について 44
3－14　性的マイノリティに関する人権問題 46
3－15　ヘイトスピーチを伴うデモ・集会等について 48
4　人権啓発・人権教育について 51
4－1　人権に関する企業の社会的責任 51
4－2　人権学習を受けた場所 53
4－3　行政が実施する人権に関する講演会や研修会への参加の有無 56
4－4　市の人権啓発活動の周知度 57
5　人権問題の解決のための方策について 59
5－1　人権問題の解決に向けて市が注力すべきこと 59
6　自由意見 61

６－１　自由意見..... 61
III. 調査結果からみえてきたもの 62
IV. 使用調査票 74

Ⅰ. 調査概要

1　調査の目的

このアンケート調査は、市民の人権問題に関する意識を把握し、市の人権施策推進のための基礎資料を得ることを目的として実施しました。

2　調査対象及び調査方法

調 査 地 域	桑名市全域
調査対象者	満 16 歳以上の市内居住者
標　本　数	3,000 人
抽 出 方 法	住民基本台帳より無作為抽出
調 査 期 間	令和６年９月～10 月
調 査 方 法	郵送配布、郵送回収・Web 回答

3　回収結果

配布数		回収		有効回収		無効	
		件	%	件	%	件	%
合計	3,000	1,069 (191)	35.6 (6.4)	1,067 (191)	35.6 (6.4)	2 (0)	0.1 (0)
標準	2,800	1,017 (172)	36.3 (6.1)	1,015 (172)	36.3 (6.1)	2 (0)	0.1 (0)
追加	200	52 (19)	26.0 (9.5)	52 (19)	26.0 (9.5)	0 (0)	0.0 (0)

（　）内はうち Web 回答

各年代について分析に必要な回収数を得るため、10 歳代の追加抽出と回収を行いました。

追加抽出分の有効回収票は、全体・性別及び設問間クロス集計においては集計の対象外とし、年齢別クロス集計に限り集計に含めています。通常の設問における全体の件数は、1,015 件となります。

４　報告書の見方

・ 各質問に対する回答者数は「件数」または「ｎ」と表記しています。

・ 比率はすべて百分率（％）で表し、小数点以下第２位を四捨五入して算出しています。このため、内訳の合計が 100.0％にならない場合があります。

・ 複数回答が可能な質問の場合、比率の合計が 100.0％を超える場合があります。

・ 本文において、割合（％）の大小については「高い、低い」で表現しています。

・ グラフ･表において､選択肢等の文字数が長い場合に表記を簡略化してある場合があります。また、本文において選択肢を「Ａ」等と記号のみで表記している場合は、グラフ・表における選択肢の記号に対応する語句を表しています。

・ 集計表のセル内の数値は、上段が件数、下段が割合（％）を示しています。また、回答がなかった部分は、件数・割合ともに「－」で示しています。

・ クロス集計（性別、年齢別等）については、各属性の横方向から選択肢を比較した横軸の分析を基本としています。また、縦方向に見て、各選択肢の全体（平均）と比べて検定（有意水準１％、両側検定）で「有意に高い」（統計的に意味がある）と判定された数値についてもコメントしています。

・ 年齢別クロス集計においては、追加抽出分の有効回収票も集計対象に含んでいるため、各年齢層の件数の合計は全体（追加分を含まない）と一致していません。

・ 国との比較の対象とした調査は、令和４年「人権擁護に関する世論調査」（内閣府）（18 歳以上の日本国籍を有する者、n=1,556）です。

・ 経年比較の対象とした調査は、平成 30 年「人権問題に関する意識調査」（桑名市）（16 歳以上、n=1,215）です。

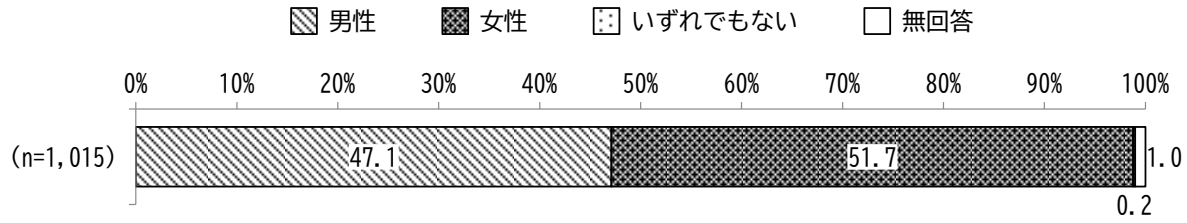
II. 調査結果

1　回答者の属性

1－1　性別

問Ⅰ－A　あなたの性別を選んでください。（あなたが自認されている性別をお答えください。）

図表 I-1 性別

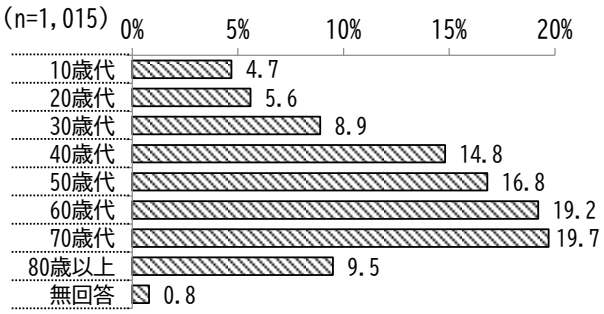


- 「女性」が 51.7%、「男性」が 47.1%、「いずれでもない」が 0.2%となっています。

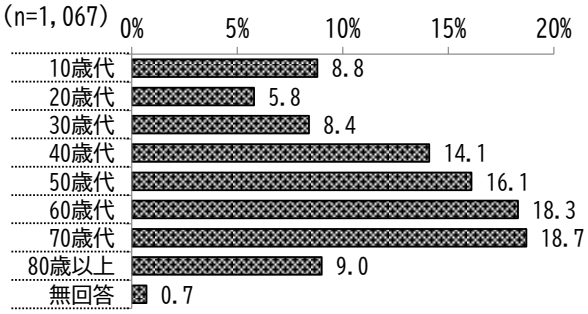
1－2　年齢

問Ⅰ－B　あなたの年齢を選んでください。

図表 I-2-1 年齢



図表 I-2-2 年齢（追加抽出を含む）



- 「70 歳代」が 19.7%で最も高く、次いで「60 歳代」が 19.2%となっています。
- 追加抽出を含む回答者の年齢は、「10 歳代」が 8.8%となっています。

1－3　居住地区

問Ⅰ－C　あなたのお住まいの小学校区を選んでください。

図表 I-3 居住地区

(%)

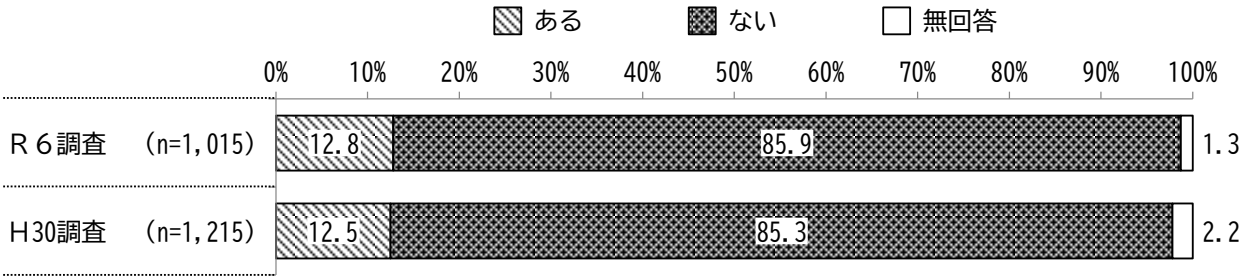
件数	日進小学校区	精義小学校区	立教小学校区	城東小学校区	益世小学校区	修徳小学校区	大成小学校区	大和小学校区	桑部小学校区	在良小学校区	七和小学校区	久米小学校区	深谷小学校区	城南小学校区	大山田東小学校区	大山田北小学校区	大山田西小学校区	大山田南小学校区	藤が丘小学校区	星見ヶ丘小学校区	多度中小学校区	多度東小学校区	多度北小学校区	多度青葉小学校区	長島北部小学校区	長島中部小学校区	伊曽島小学校区	わからない	無回答
1,015	3.4	4.3	2.5	1.1	6.1	4.1	7.3	1.1	3.6	5.2	3.9	5.1	2.0	4.1	8.4	3.6	1.7	3.3	4.5	5.1	3.2	1.2	2.0	1.4	2.8	3.9	1.9	2.1	1.0

２　人権意識全般について

２－１　人権侵害を受けた経験

問２　あなたは、この５年の間に自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。あてはまるものを１つだけ選んでください。

図表 2-1-1 人権侵害を受けた経験（経年比較）



- 人権侵害を受けた経験が「ある」人は 12.8%となっています。
- 前回調査と比べると、大きな変化はみられませんでした。

図表 2-1-2 人権侵害を受けた経験（性別・年齢別）

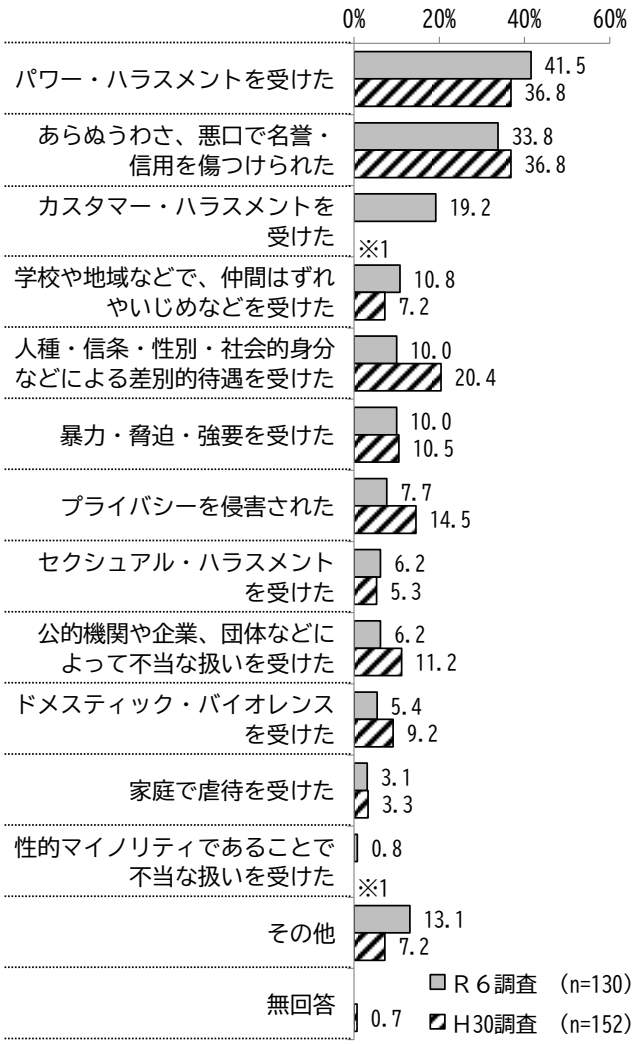
	件数	ある	ない	無回答
全　体	1,015	130	872	13
	100.0	12.8	85.9	1.3
性別				
男性	478	53	418	7
	100.0	11.1	87.4	1.5
女性	525	77	443	5
	100.0	14.7	84.4	1.0
年齢別				
10歳代	94	12	82	－
	100.0	12.8	87.2	－
20歳代	62	13	49	－
	100.0	21.0	79.0	－
30歳代	90	16	74	－
	100.0	17.8	82.2	－
40歳代	150	33	117	－
	100.0	22.0	78.0	－
50歳代	172	28	140	4
	100.0	16.3	81.4	2.3
60歳代	195	18	175	2
	100.0	9.2	89.7	1.0
70歳代	200	10	188	2
	100.0	5.0	94.0	1.0
80歳以上	96	5	88	3
	100.0	5.2	91.7	3.1

- 年齢別でみると、全体と比べて、「ある」は 40 歳代で、「ない」は 70 歳代でそれぞれ有意に高くなっています。

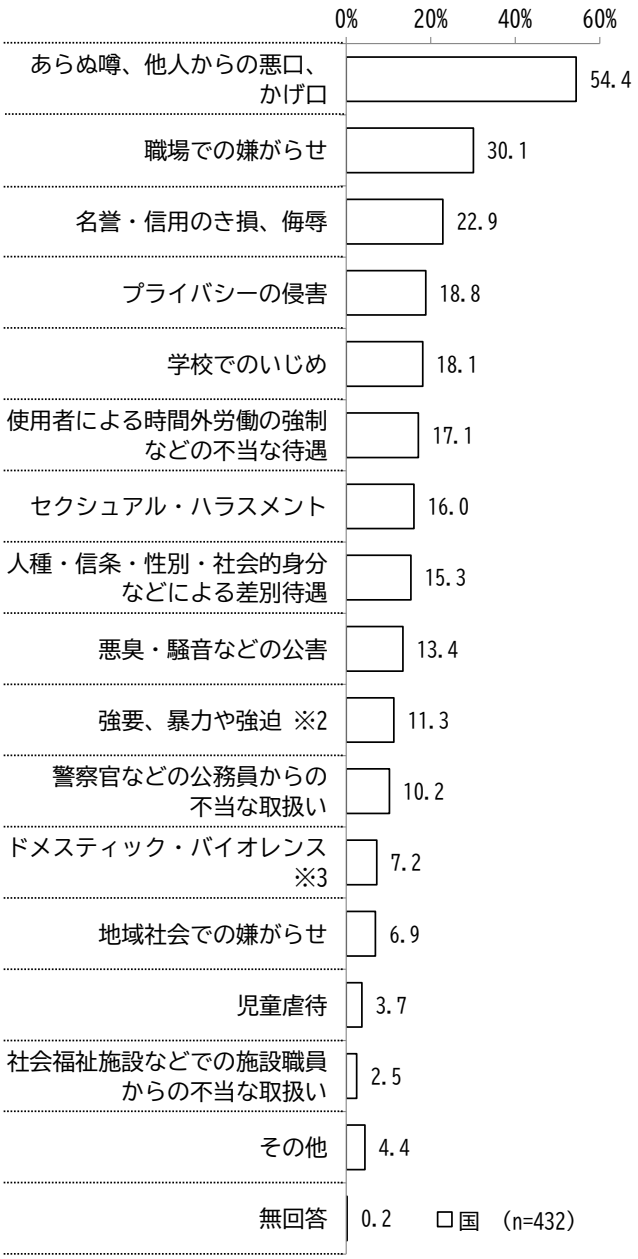
２－２　人権侵害の内容

問３　（問２で「ある」と答えた方にお聞きします。）ご自分の人権が侵害されたと思ったのは、どのような場合ですか。あてはまるものすべてを選んでください。

図表 2-2-1 人権侵害の内容（経年比較）



（参考:国調査）



※1「カスタマー・ハラスメントを受けた」「性的マイノリティであることで不当な扱いを受けた」はR6調査のみ。
※2「社会的地位、慣習などにより、本来義務のないことをやらされたり、権利の行使を妨害されたりしたなどの強要、暴力や強迫」
※3「配偶者やパートナーからの暴力などのドメスティック・バイオレンス」

- 「パワー・ハラスメントを受けた」が41.5%で最も高く、次いで「あらぬうわさ、悪口で名誉・信用を傷つけられた」が33.8%となっています。
- 前回調査と比べると、新規の選択肢である「カスタマー・ハラスメントを受けた」の回答率が第３位と高くなっているほか、「学校や地域などで、仲間はずれやいじめなどを受けた」が順位を上げています（第８位→第４位）。

図表 2-2-2 人権侵害の内容（性別･年齢別）

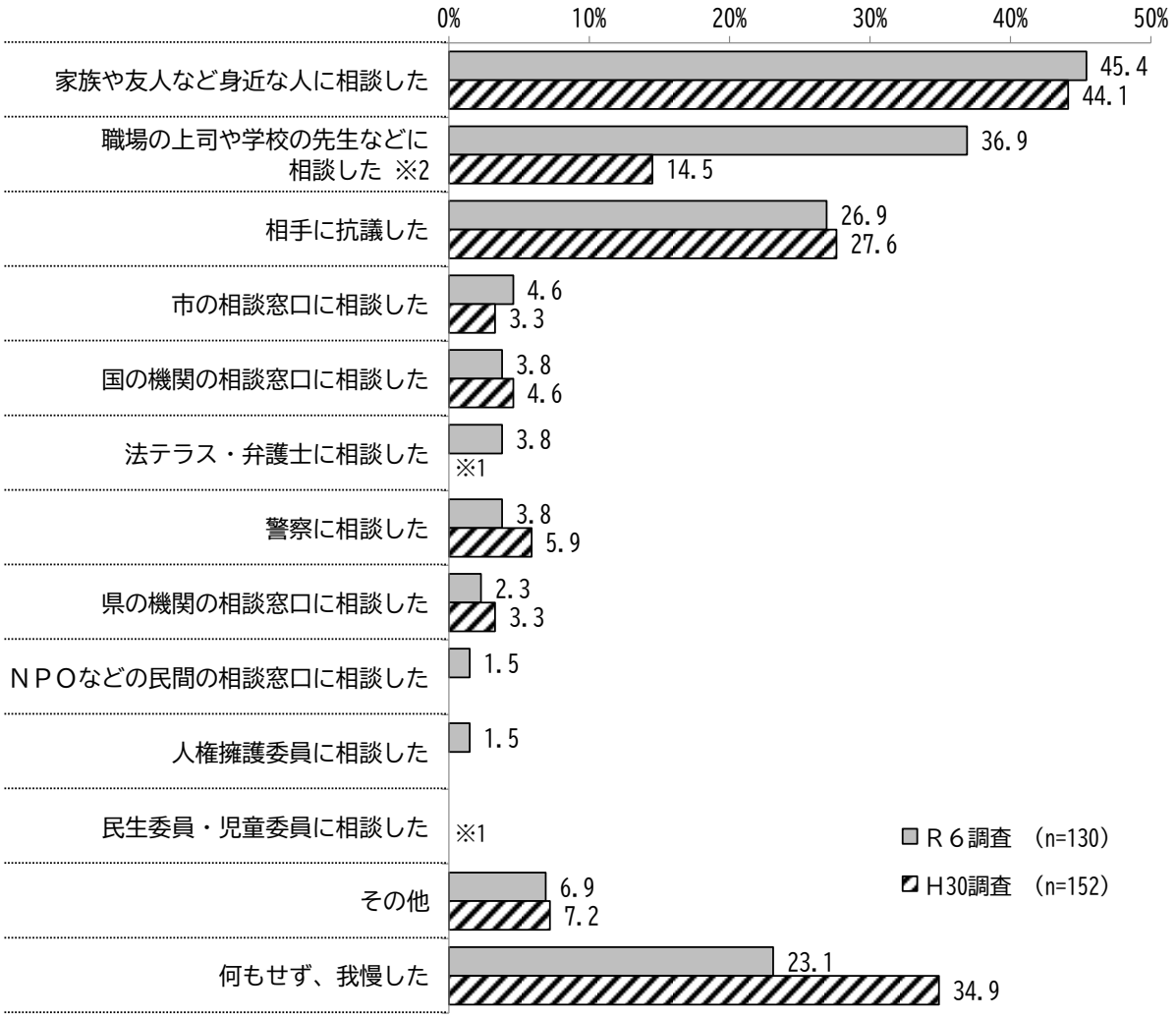
	件数	パワー・ハラスメントを受けた	あらぬうわさ、悪口で名誉・信用を傷つけられた	カスタマー・ハラスメントを受けた	学校や地域などで、仲間はずれやいじめなどを受けた	人種・信条・性別・社会的身分などによる差別的待遇を受けた	暴力・脅迫・強要を受けた	プライバシーを侵害された	セクシュアル・ハラスメントを受けた	公的機関や企業、団体などによって不当な扱いを受けた	ドメスティック・バイオレンスを受けた	家庭で虐待を受けた	性的マイノリティであることで不当な扱いを受けた	その他
全　体	130	54	44	25	14	13	13	10	8	8	7	4	1	17
	100.0	41.5	33.8	19.2	10.8	10.0	10.0	7.7	6.2	6.2	5.4	3.1	0.8	13.1
性別														
男性	53	25	16	12	10	7	4	4	2	5	2	2	1	7
	100.0	47.2	30.2	22.6	18.9	13.2	7.5	7.5	3.8	9.4	3.8	3.8	1.9	13.2
女性	77	29	28	13	4	6	9	6	6	3	5	2	－	10
	100.0	37.7	36.4	16.9	5.2	7.8	11.7	7.8	7.8	3.9	6.5	2.6	－	13.0
年齢別														
10歳代	12	2	4	1	7	1	2	－	－	－	－	1	－	1
	100.0	16.7	33.3	8.3	58.3	8.3	16.7	－	－	－	－	8.3	－	8.3
20歳代	13	3	8	2	5	2	2	1	2	1	1	1	－	－
	100.0	23.1	61.5	15.4	38.5	15.4	15.4	7.7	15.4	7.7	7.7	7.7	－	－
30歳代	16	10	4	7	3	2	－	1	1	1	1	1	－	－
	100.0	62.5	25.0	43.8	18.8	12.5	－	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	－	－
40歳代	33	17	11	7	1	3	4	4	2	2	3	－	－	4
	100.0	51.5	33.3	21.2	3.0	9.1	12.1	12.1	6.1	6.1	9.1	－	－	12.1
50歳代	28	13	6	6	1	3	2	2	3	2	1	－	1	5
	100.0	46.4	21.4	21.4	3.6	10.7	7.1	7.1	10.7	7.1	3.6	－	3.6	17.9
60歳代	18	8	3	1	－	2	－	1	－	1	－	1	－	6
	100.0	44.4	16.7	5.6	－	11.1	－	5.6	－	5.6	－	5.6	－	33.3
70歳代	10	2	5	1	－	－	1	－	－	1	1	1	－	1
	100.0	20.0	50.0	10.0	－	－	10.0	－	－	10.0	10.0	10.0	－	10.0
80歳以上	5	－	4	－	1	1	3	－	－	－	－	－	－	－
	100.0	－	80.0	－	20.0	20.0	60.0	－	－	－	－	－	－	－

- 性別でみると、女性では「暴力・脅迫・強要を受けた」が割合の高い順で第４位（「その他」の順位を除く）と高くなっています。
- 年齢別でみると、10 歳代では「学校や地域などで、仲間はずれやいじめなどを受けた」が、20 歳代・70 歳代以上では「あらぬうわさ、悪口で名誉・信用を傷つけられた」がそれぞれ最も高くなっています。また、全体と比べると、「カスタマー・ハラスメントを受けた」は 30 歳代で、「学校や地域などで、仲間はずれやいじめなどを受けた」は 20 歳代以下で、それぞれ有意に高くなっています。

２－３　人権侵害への対応

問４　（問２で「ある」と答えた方にお聞きします。）人権侵害を受けたとき、あなたはどのような対応をしましたか。あてはまるものすべてを選んでください。

図表 2-3-1 人権侵害への対応（経年比較）



※1「法テラス・弁護士に相談した」「民生委員・児童委員に相談した」は R6 調査のみ。
（H30 調査では「法テラスに相談した」が 0.7%、「弁護士に相談した」が 3.9%（計 4.6%）。）
※2 H30 調査では「会社の上司や学校の先生などに相談した」。

- 「家族や友人など身近な人に相談した」が 45.4%で最も高く、次いで「職場の上司や学校の先生などに相談した」が 36.9%、「相手に抗議した」が 26.9%となっています。また、「何もせず、我慢した」が 23.1%となっています。
- 前回調査と比べると、「何もせず、我慢した」が約 12 ポイント減少し、「職場（会社）の上司や学校の先生などに相談した」が 20 ポイント以上増加して順位を上げています。

図表 2-3-2 人権侵害への対応（性別・年齢別）

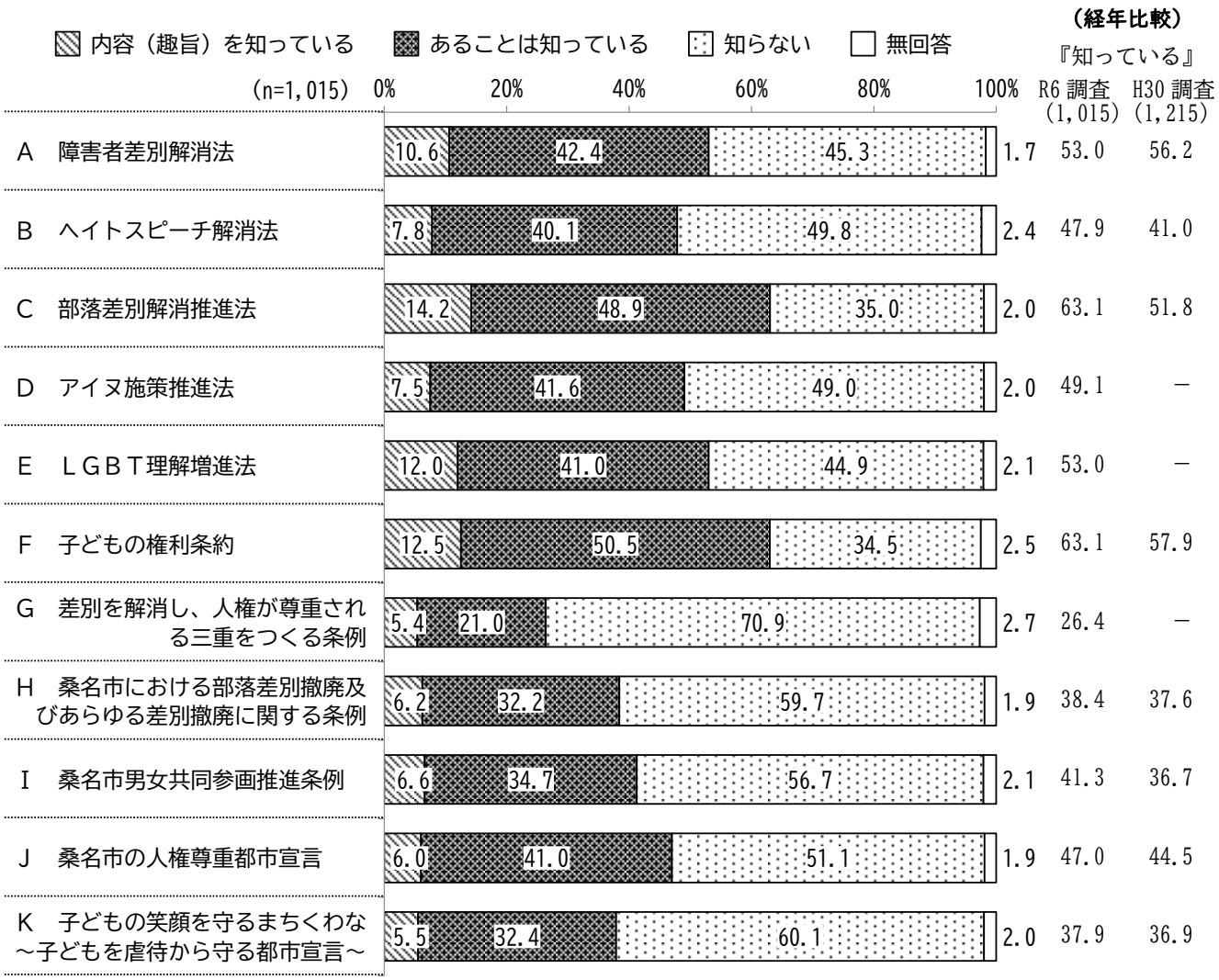
	件数	家族や友人など身近な人に相談した	職場の上司や学校の先生などに相談した	相手に抗議した	市の相談窓口に相談した	国の機関の相談窓口に相談した	法テラス・弁護士に相談した	警察に相談した	県の機関の相談窓口に相談した	NPOなどの民間の相談窓口に相談した	人権擁護委員に相談した	民生委員・児童委員に相談した	その他	何もせず、我慢した
全　体	130	59	48	35	6	5	5	5	3	2	2	－	9	30
	100.0	45.4	36.9	26.9	4.6	3.8	3.8	3.8	2.3	1.5	1.5	－	6.9	23.1
性別														
男性	53	21	21	16	4	4	2	3	1	1	1	－	3	11
	100.0	39.6	39.6	30.2	7.5	7.5	3.8	5.7	1.9	1.9	1.9	－	5.7	20.8
女性	77	38	27	19	2	1	3	2	2	1	1	－	6	19
	100.0	49.4	35.1	24.7	2.6	1.3	3.9	2.6	2.6	1.3	1.3	－	7.8	24.7
年齢別														
10歳代	12	7	7	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	4
	100.0	58.3	58.3	8.3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	33.3
20歳代	13	12	9	5	－	1	－	1	2	－	－	－	－	1
	100.0	92.3	69.2	38.5	－	7.7	－	7.7	15.4	－	－	－	－	7.7
30歳代	16	7	8	5	2	2	1	1	1	1	1	－	1	3
	100.0	43.8	50.0	31.3	12.5	12.5	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	－	6.3	18.8
40歳代	33	14	15	11	1	2	1	1	－	1	－	－	1	6
	100.0	42.4	45.5	33.3	3.0	6.1	3.0	3.0	－	3.0	－	－	3.0	18.2
50歳代	28	10	9	4	1	－	1	1	－	－	－	－	3	9
	100.0	35.7	32.1	14.3	3.6	－	3.6	3.6	－	－	－	－	10.7	32.1
60歳代	18	7	4	2	2	－	1	1	－	－	－	－	2	4
	100.0	38.9	22.2	11.1	11.1	－	5.6	5.6	－	－	－	－	11.1	22.2
70歳代	10	4	－	6	－	－	－	－	－	－	－	－	2	2
	100.0	40.0	－	60.0	－	－	－	－	－	－	－	－	20.0	20.0
80歳以上	5	3	1	2	－	－	1	－	－	－	1	－	－	1
	100.0	60.0	20.0	40.0	－	－	20.0	－	－	－	20.0	－	－	20.0

- 性別でみると、男性では「職場の上司や学校の先生などに相談した」が「家族や友人など身近な人に相談した」と同率で最も高くなっています。
- 年齢別でみると、10 歳代（同率）・30 歳代・40 歳代では「職場の上司や学校の先生などに相談した」が、70 歳代では「相手に抗議した」がそれぞれ最も高くなっています。また、全体と比べると、「家族や友人など身近な人に相談した」「県の機関の相談窓口に相談した」は 20 歳代で有意に高くなっています。

２－４　人権に関する法律・条例等の周知度

問５　あなたは、次のような人権に関する宣言・条約・法律・条例などを知っていますか。Ａ～Ｋのそれぞれについて、あてはまるものをＩつずつ選んでください。

図表 2-4-1 人権に関する法律･条例等の周知度



- 『知っている』は、「C」「F」がともに 63.1%で最も高く、次いで「A」「E」がともに 53.0%となっています。
- 前回調査と比べると、『知っている』は「C」が約 11 ポイント、「B」が約７ポイント、それぞれ増加しています。

※『知っている』は、「内容（趣旨）を知っている」「あることは知っている」の合計。

図表 2-4-2 人権に関する法律・条例等の周知度（性別・年齢別）

		A　障害者差別解消法					B　ヘイトスピーチ解消法					C　部落差別解消推進法				
	件数	内容（趣旨）を知っている	あることは知っている	知らない	無回答	『再掲』知っている	内容（趣旨）を知っている	あることは知っている	知らない	無回答	『再掲』知っている	内容（趣旨）を知っている	あることは知っている	知らない	無回答	『再掲』知っている
全　体	1,015	108	430	460	17	538	79	407	505	24	486	144	496	355	20	640
	100.0	10.6	42.4	45.3	1.7	53.0	7.8	40.1	49.8	2.4	47.9	14.2	48.9	35.0	2.0	63.1
性別																
男性	478	58	186	225	9	244	46	207	213	12	253	83	224	160	11	307
	100.0	12.1	38.9	47.1	1.9	51.0	9.6	43.3	44.6	2.5	52.9	17.4	46.9	33.5	2.3	64.2
女性	525	49	238	230	8	287	33	197	283	12	230	60	266	190	9	326
	100.0	9.3	45.3	43.8	1.5	54.7	6.3	37.5	53.9	2.3	43.8	11.4	50.7	36.2	1.7	62.1
年齢別																
10歳代	94	20	47	27	－	67	10	30	54	－	40	26	45	23	－	71
	100.0	21.3	50.0	28.7	－	71.3	10.6	31.9	57.4	－	42.6	27.7	47.9	24.5	－	75.5
20歳代	62	11	32	19	－	43	4	32	26	－	36	10	34	18	－	44
	100.0	17.7	51.6	30.6	－	69.4	6.5	51.6	41.9	－	58.1	16.1	54.8	29.0	－	71.0
30歳代	90	14	30	46	－	44	5	34	51	－	39	10	39	41	－	49
	100.0	15.6	33.3	51.1	－	48.9	5.6	37.8	56.7	－	43.3	11.1	43.3	45.6	－	54.4
40歳代	150	17	68	65	－	85	12	60	78	－	72	19	75	56	－	94
	100.0	11.3	45.3	43.3	－	56.7	8.0	40.0	52.0	－	48.0	12.7	50.0	37.3	－	62.7
50歳代	172	15	75	81	1	90	11	79	80	2	90	17	87	67	1	104
	100.0	8.7	43.6	47.1	0.6	52.3	6.4	45.9	46.5	1.2	52.3	9.9	50.6	39.0	0.6	60.5
60歳代	195	15	84	91	5	99	16	78	95	6	94	29	100	58	8	129
	100.0	7.7	43.1	46.7	2.6	50.8	8.2	40.0	48.7	3.1	48.2	14.9	51.3	29.7	4.1	66.2
70歳代	200	18	75	102	5	93	18	80	98	4	98	25	103	67	5	128
	100.0	9.0	37.5	51.0	2.5	46.5	9.0	40.0	49.0	2.0	49.0	12.5	51.5	33.5	2.5	64.0
80歳以上	96	9	44	37	6	53	9	30	45	12	39	18	40	32	6	58
	100.0	9.4	45.8	38.5	6.3	55.2	9.4	31.3	46.9	12.5	40.6	18.8	41.7	33.3	6.3	60.4

		D　アイヌ施策推進法					E　ＬＧＢＴ理解増進法					F　子どもの権利条約				
	件数	内容（趣旨）を知っている	あることは知っている	知らない	無回答	『再掲』知っている	内容（趣旨）を知っている	あることは知っている	知らない	無回答	『再掲』知っている	内容（趣旨）を知っている	あることは知っている	知らない	無回答	『再掲』知っている
全　体	1,015	76	422	497	20	498	122	416	456	21	538	127	513	350	25	640
	100.0	7.5	41.6	49.0	2.0	49.1	12.0	41.0	44.9	2.1	53.0	12.5	50.5	34.5	2.5	63.1
性別																
男性	478	40	204	224	10	244	67	201	199	11	268	59	231	176	12	290
	100.0	8.4	42.7	46.9	2.1	51.0	14.0	42.1	41.6	2.3	56.1	12.3	48.3	36.8	2.5	60.7
女性	525	36	213	266	10	249	53	212	250	10	265	68	276	168	13	344
	100.0	6.9	40.6	50.7	1.9	47.4	10.1	40.4	47.6	1.9	50.5	13.0	52.6	32.0	2.5	65.5
年齢別																
10歳代	94	19	43	32	－	62	20	39	35	－	59	28	43	22	1	71
	100.0	20.2	45.7	34.0	－	66.0	21.3	41.5	37.2	－	62.8	29.8	45.7	23.4	1.1	75.5
20歳代	62	3	30	29	－	33	15	30	17	－	45	9	36	17	－	45
	100.0	4.8	48.4	46.8	－	53.2	24.2	48.4	27.4	－	72.6	14.5	58.1	27.4	－	72.6
30歳代	90	7	35	48	－	42	22	34	34	－	56	14	47	29	－	61
	100.0	7.8	38.9	53.3	－	46.7	24.4	37.8	37.8	－	62.2	15.6	52.2	32.2	－	67.8
40歳代	150	7	61	82	－	68	18	67	65	－	85	31	82	36	1	113
	100.0	4.7	40.7	54.7	－	45.3	12.0	44.7	43.3	－	56.7	20.7	54.7	24.0	0.7	75.3
50歳代	172	11	72	88	1	83	13	79	79	1	92	13	90	68	1	103
	100.0	6.4	41.9	51.2	0.6	48.3	7.6	45.9	45.9	0.6	53.5	7.6	52.3	39.5	0.6	59.9
60歳代	195	14	84	91	6	98	20	85	82	8	105	21	100	68	6	121
	100.0	7.2	43.1	46.7	3.1	50.3	10.3	43.6	42.1	4.1	53.8	10.8	51.3	34.9	3.1	62.1
70歳代	200	12	94	90	4	106	17	74	105	4	91	14	98	80	8	112
	100.0	6.0	47.0	45.0	2.0	53.0	8.5	37.0	52.5	2.0	45.5	7.0	49.0	40.0	4.0	56.0
80歳以上	96	10	29	48	9	39	9	27	52	8	36	10	41	37	8	51
	100.0	10.4	30.2	50.0	9.4	40.6	9.4	28.1	54.2	8.3	37.5	10.4	42.7	38.5	8.3	53.1

		G　差別を解消し、人権が尊重される三重をつくる条例					H　桑名市における部落差別撤廃及びあらゆる差別撤廃に関する条例					I　桑名市男女共同参画推進条例				
	件数	内容（趣旨）を知っている	あることは知っている	知らない	無回答	『【再掲】知っている』	内容（趣旨）を知っている	あることは知っている	知らない	無回答	『【再掲】知っている』	内容（趣旨）を知っている	あることは知っている	知らない	無回答	『【再掲】知っている』
全　体	1,015	55	213	720	27	268	63	327	606	19	390	67	352	575	21	419
	100.0	5.4	21.0	70.9	2.7	26.4	6.2	32.2	59.7	1.9	38.4	6.6	34.7	56.7	2.1	41.3
性別																
男性	478	29	94	342	13	123	29	157	280	12	186	27	167	272	12	194
	100.0	6.1	19.7	71.5	2.7	25.7	6.1	32.8	58.6	2.5	38.9	5.6	34.9	56.9	2.5	40.6
女性	525	26	117	368	14	143	34	166	318	7	200	39	181	296	9	220
	100.0	5.0	22.3	70.1	2.7	27.2	6.5	31.6	60.6	1.3	38.1	7.4	34.5	56.4	1.7	41.9
年齢別																
10歳代	94	7	20	66	1	27	8	19	66	1	27	9	25	59	1	34
	100.0	7.4	21.3	70.2	1.1	28.7	8.5	20.2	70.2	1.1	28.7	9.6	26.6	62.8	1.1	36.2
20歳代	62	4	13	44	1	17	7	19	36	－	26	2	25	35	－	27
	100.0	6.5	21.0	71.0	1.6	27.4	11.3	30.6	58.1	－	41.9	3.2	40.3	56.5	－	43.5
30歳代	90	4	18	68	－	22	5	15	70	－	20	8	26	56	－	34
	100.0	4.4	20.0	75.6	－	24.4	5.6	16.7	77.8	－	22.2	8.9	28.9	62.2	－	37.8
40歳代	150	11	32	107	－	43	13	46	91	－	59	13	50	87	－	63
	100.0	7.3	21.3	71.3	－	28.7	8.7	30.7	60.7	－	39.3	8.7	33.3	58.0	－	42.0
50歳代	172	3	37	131	1	40	6	51	114	1	57	7	62	102	1	69
	100.0	1.7	21.5	76.2	0.6	23.3	3.5	29.7	66.3	0.6	33.1	4.1	36.0	59.3	0.6	40.1
60歳代	195	9	43	137	6	52	14	69	109	3	83	12	65	112	6	77
	100.0	4.6	22.1	70.3	3.1	26.7	7.2	35.4	55.9	1.5	42.6	6.2	33.3	57.4	3.1	39.5
70歳代	200	11	35	144	10	46	9	71	112	8	80	9	78	106	7	87
	100.0	5.5	17.5	72.0	5.0	23.0	4.5	35.5	56.0	4.0	40.0	4.5	39.0	53.0	3.5	43.5
80歳以上	96	9	27	52	8	36	6	45	39	6	51	10	36	44	6	46
	100.0	9.4	28.1	54.2	8.3	37.5	6.3	46.9	40.6	6.3	53.1	10.4	37.5	45.8	6.3	47.9

		J　桑名市の人権尊重都市宣言					K　子どもの笑顔を守るまちくわな～子どもを虐待から守る都市宣言～				
	件数	内容（趣旨）を知っている	あることは知っている	知らない	無回答	『【再掲】知っている』	内容（趣旨）を知っている	あることは知っている	知らない	無回答	『【再掲】知っている』
全　体	1,015	61	416	519	19	477	56	329	610	20	385
	100.0	6.0	41.0	51.1	1.9	47.0	5.5	32.4	60.1	2.0	37.9
性別											
男性	478	32	206	230	10	238	19	145	302	12	164
	100.0	6.7	43.1	48.1	2.1	49.8	4.0	30.3	63.2	2.5	34.3
女性	525	29	206	281	9	235	35	181	301	8	216
	100.0	5.5	39.2	53.5	1.7	44.8	6.7	34.5	57.3	1.5	41.1
年齢別											
10歳代	94	5	32	56	1	37	5	24	64	1	29
	100.0	5.3	34.0	59.6	1.1	39.4	5.3	25.5	68.1	1.1	30.9
20歳代	62	2	26	34	－	28	4	19	39	－	23
	100.0	3.2	41.9	54.8	－	45.2	6.5	30.6	62.9	－	37.1
30歳代	90	3	31	56	－	34	5	27	58	－	32
	100.0	3.3	34.4	62.2	－	37.8	5.6	30.0	64.4	－	35.6
40歳代	150	11	64	75	－	75	11	63	76	－	74
	100.0	7.3	42.7	50.0	－	50.0	7.3	42.0	50.7	－	49.3
50歳代	172	6	71	94	1	77	6	56	108	2	62
	100.0	3.5	41.3	54.7	0.6	44.8	3.5	32.6	62.8	1.2	36.0
60歳代	195	14	83	92	6	97	9	65	115	6	74
	100.0	7.2	42.6	47.2	3.1	49.7	4.6	33.3	59.0	3.1	37.9
70歳代	200	10	83	102	5	93	9	58	128	5	67
	100.0	5.0	41.5	51.0	2.5	46.5	4.5	29.0	64.0	2.5	33.5
80歳以上	96	11	46	33	6	57	9	33	48	6	42
	100.0	11.5	47.9	34.4	6.3	59.4	9.4	34.4	50.0	6.3	43.8

- 年齢別でみると、全体と比べて、『知っている』は「A」「D」では 10 歳代で、「E」では 20 歳代で、「F」「K」では 40 歳代で、「H」では 80 歳以上で、それぞれ有意に高くなっています。

図表 2-4-3 人権に関する法律・条例等の周知度（講演会等参加状況別）

		A　障害者差別解消法			B　ヘイトスピーチ解消法			C　部落差別解消推進法		
	件数	『知っている』	知らない	無回答	『知っている』	知らない	無回答	『知っている』	知らない	無回答
全　体	1,015	538	460	17	486	505	24	640	355	20
	100.0	53.0	45.3	1.7	47.9	49.8	2.4	63.1	35.0	2.0
問24　人権に関する講演会等への参加状況										
参加したことがある	168	126	39	3	111	52	5	133	32	3
	100.0	75.0	23.2	1.8	66.1	31.0	3.0	79.2	19.0	1.8
参加したことはない	815	395	410	10	367	435	13	488	315	12
	100.0	48.5	50.3	1.2	45.0	53.4	1.6	59.9	38.7	1.5

		D　アイヌ施策推進法			E　ＬＧＢＴ理解増進法			F　子どもの権利条約		
	件数	『知っている』	知らない	無回答	『知っている』	知らない	無回答	『知っている』	知らない	無回答
全　体	1,015	498	497	20	538	456	21	640	350	25
	100.0	49.1	49.0	2.0	53.0	44.9	2.1	63.1	34.5	2.5
問24　人権に関する講演会等への参加状況										
参加したことがある	168	107	57	4	110	54	4	135	30	3
	100.0	63.7	33.9	2.4	65.5	32.1	2.4	80.4	17.9	1.8
参加したことはない	815	379	425	11	421	382	12	491	309	15
	100.0	46.5	52.1	1.3	51.7	46.9	1.5	60.2	37.9	1.8

		G　差別を解消し、人権が尊重される三重をつくる条例			H　桑名市における部落差別撤廃及びあらゆる差別撤廃に関する条例			I　桑名市男女共同参画推進条例		
	件数	『知っている』	知らない	無回答	『知っている』	知らない	無回答	『知っている』	知らない	無回答
全　体	1,015	268	720	27	390	606	19	419	575	21
	100.0	26.4	70.9	2.7	38.4	59.7	1.9	41.3	56.7	2.1
問24　人権に関する講演会等への参加状況										
参加したことがある	168	80	84	4	99	67	2	107	58	3
	100.0	47.6	50.0	2.4	58.9	39.9	1.2	63.7	34.5	1.8
参加したことはない	815	176	621	18	273	528	14	297	505	13
	100.0	21.6	76.2	2.2	33.5	64.8	1.7	36.4	62.0	1.6

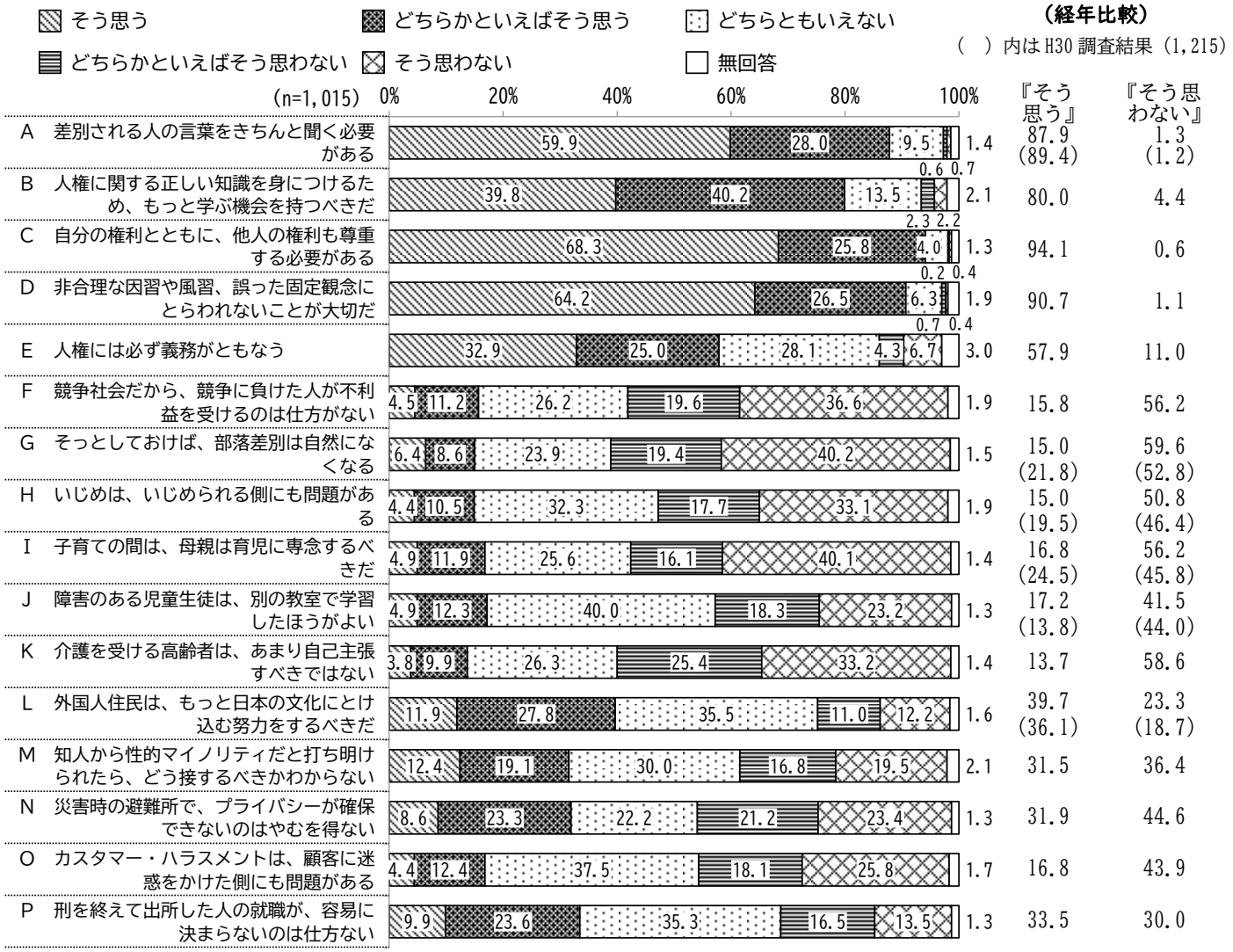
		J　桑名市の人権尊重都市宣言			K　子どもの笑顔を守るまちくわな～子どもを虐待から守る都市宣言～		
	件数	『知っている』	知らない	無回答	『知っている』	知らない	無回答
全　体	1,015	477	519	19	385	610	20
	100.0	47.0	51.1	1.9	37.9	60.1	2.0
問24　人権に関する講演会等への参加状況							
参加したことがある	168	115	50	3	90	75	3
	100.0	68.5	29.8	1.8	53.6	44.6	1.8
参加したことはない	815	347	457	11	279	523	13
	100.0	42.6	56.1	1.3	34.2	64.2	1.6

- 人権に関する講演会等への参加状況（問 24）別でみると、『知っている』はすべての法律・条例等において参加経験者で有意に高くなっています。

２－５　人権や差別をめぐる考え方についての意識

問６　人権や差別をめぐる以下の考え方について、あなたはどのようにお考えですか。Ａ～Ｐのそれぞれについて、あてはまるものを１つずつ選んでください。

図表 2-5-1 人権や差別をめぐる考え方についての意識



- 「A」～「D」では、『そう思わない』はいずれも５％未満と低くなっています。
- 「E」～「P」では、『そう思う』は「E」で 57.9%、「L」で 39.7%、「P」で 33.5%となっており、この３項目では『そう思う』が『そう思わない』を上回っています。
- 前回調査と比べると、「I」では『そう思わない』が 10 ポイント以上増加していますが、「J」「L」では『そう思う』がともに約４ポイント増加しています。

※『そう思う』は、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計。
『そう思わない』は、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計。

図表 2-5-2 人権や差別をめぐる考え方についての意識（性別・年齢別）

		A　差別される人の言葉をきちんと聞く必要がある								B　人権に関する正しい知識を身につけるため、もっと学ぶ機会を持つべきだ							
	件数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	【再掲】『そう思う』	【再掲】『そう思わない』	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	【再掲】『そう思う』	【再掲】『そう思わない』
全　体	1,015	608	284	96	6	7	14	892	13	404	408	137	23	22	21	812	45
	100.0	59.9	28.0	9.5	0.6	0.7	1.4	87.9	1.3	39.8	40.2	13.5	2.3	2.2	2.1	80.0	4.4
性別																	
男性	478	279	130	57	4	5	3	409	9	180	188	79	8	16	7	368	24
	100.0	58.4	27.2	11.9	0.8	1.0	0.6	85.6	1.9	37.7	39.3	16.5	1.7	3.3	1.5	77.0	5.0
女性	525	320	153	39	1	1	11	473	2	219	216	57	14	5	14	435	19
	100.0	61.0	29.1	7.4	0.2	0.2	2.1	90.1	0.4	41.7	41.1	10.9	2.7	1.0	2.7	82.9	3.6
年齢別																	
10歳代	94	68	21	2	－	1	2	89	1	55	28	2	4	4	1	83	8
	100.0	72.3	22.3	2.1	－	1.1	2.1	94.7	1.1	58.5	29.8	2.1	4.3	4.3	1.1	88.3	8.5
20歳代	62	44	16	1	－	1	－	60	1	33	21	7	1	－	－	54	1
	100.0	71.0	25.8	1.6	－	1.6	－	96.8	1.6	53.2	33.9	11.3	1.6	－	－	87.1	1.6
30歳代	90	54	26	9	－	1	－	80	1	47	32	9	－	2	－	79	2
	100.0	60.0	28.9	10.0	－	1.1	－	88.9	1.1	52.2	35.6	10.0	－	2.2	－	87.8	2.2
40歳代	150	87	44	16	1	1	1	131	2	69	53	22	2	3	1	122	5
	100.0	58.0	29.3	10.7	0.7	0.7	0.7	87.3	1.3	46.0	35.3	14.7	1.3	2.0	0.7	81.3	3.3
50歳代	172	104	48	20	－	－	－	152	0	76	67	23	4	2	－	143	6
	100.0	60.5	27.9	11.6	－	－	－	88.4	0.0	44.2	39.0	13.4	2.3	1.2	－	83.1	3.5
60歳代	195	109	55	24	2	2	3	164	4	68	83	32	5	3	4	151	8
	100.0	55.9	28.2	12.3	1.0	1.0	1.5	84.1	2.1	34.9	42.6	16.4	2.6	1.5	2.1	77.4	4.1
70歳代	200	120	54	17	2	2	5	174	4	55	90	32	5	9	9	145	14
	100.0	60.0	27.0	8.5	1.0	1.0	2.5	87.0	2.0	27.5	45.0	16.0	2.5	4.5	4.5	72.5	7.0
80歳以上	96	57	28	8	－	－	3	85	0	31	44	11	4	－	6	75	4
	100.0	59.4	29.2	8.3	－	－	3.1	88.5	0.0	32.3	45.8	11.5	4.2	－	6.3	78.1	4.2

		C　自分の権利とともに、他人の権利も尊重する必要がある								D　非合理な因習や風習、誤った固定観念にとらわれないことが大切だ							
	件数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	【再掲】『そう思う』	【再掲】『そう思わない』	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	【再掲】『そう思う』	【再掲】『そう思わない』
全　体	1,015	693	262	41	2	4	13	955	6	652	269	64	7	4	19	921	11
	100.0	68.3	25.8	4.0	0.2	0.4	1.3	94.1	0.6	64.2	26.5	6.3	0.7	0.4	1.9	90.7	1.1
性別																	
男性	478	328	125	18	2	2	3	453	4	295	138	31	5	2	7	433	7
	100.0	68.6	26.2	3.8	0.4	0.4	0.6	94.8	0.8	61.7	28.9	6.5	1.0	0.4	1.5	90.6	1.5
女性	525	358	133	23	－	1	10	491	1	349	129	32	2	1	12	478	3
	100.0	68.2	25.3	4.4	－	0.2	1.9	93.5	0.2	66.5	24.6	6.1	0.4	0.2	2.3	91.0	0.6
年齢別																	
10歳代	94	74	19	－	－	－	1	93	0	66	20	6	1	－	1	86	1
	100.0	78.7	20.2	－	－	－	1.1	98.9	0.0	70.2	21.3	6.4	1.1	－	1.1	91.5	1.1
20歳代	62	50	11	1	－	－	－	61	0	47	11	3	－	－	1	58	0
	100.0	80.6	17.7	1.6	－	－	－	98.4	0.0	75.8	17.7	4.8	－	－	1.6	93.5	0.0
30歳代	90	61	22	4	1	2	－	83	3	60	21	7	1	1	－	81	2
	100.0	67.8	24.4	4.4	1.1	2.2	－	92.2	3.3	66.7	23.3	7.8	1.1	1.1	－	90.0	2.2
40歳代	150	96	46	6	－	1	1	142	1	90	45	14	－	－	1	135	0
	100.0	64.0	30.7	4.0	－	0.7	0.7	94.7	0.7	60.0	30.0	9.3	－	－	0.7	90.0	0.0
50歳代	172	121	38	12	1	－	－	159	1	114	46	11	1	－	－	160	1
	100.0	70.3	22.1	7.0	0.6	－	－	92.4	0.6	66.3	26.7	6.4	0.6	－	－	93.0	0.6
60歳代	195	123	62	7	－	－	3	185	0	125	54	9	3	－	4	179	3
	100.0	63.1	31.8	3.6	－	－	1.5	94.9	0.0	64.1	27.7	4.6	1.5	－	2.1	91.8	1.5
70歳代	200	138	47	9	－	1	5	185	1	122	54	12	1	3	8	176	4
	100.0	69.0	23.5	4.5	－	0.5	2.5	92.5	0.5	61.0	27.0	6.0	0.5	1.5	4.0	88.0	2.0
80歳以上	96	67	24	2	－	－	3	91	0	58	28	5	1	－	4	86	1
	100.0	69.8	25.0	2.1	－	－	3.1	94.8	0.0	60.4	29.2	5.2	1.0	－	4.2	89.6	1.0

		E　人権には必ず義務がともなう								F　競争社会だから、競争に負けた人が不利益を受けるのは仕方がない							
	件数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	再掲『そう思う』	再掲『そう思わない』	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	再掲『そう思う』	再掲『そう思わない』
全　体	1,015	334	254	285	44	68	30	588	112	46	114	266	199	371	19	160	570
	100.0	32.9	25.0	28.1	4.3	6.7	3.0	57.9	11.0	4.5	11.2	26.2	19.6	36.6	1.9	15.8	56.2
性別																	
男性	478	171	117	119	24	37	10	288	61	28	71	127	94	151	7	99	245
	100.0	35.8	24.5	24.9	5.0	7.7	2.1	60.3	12.8	5.9	14.9	26.6	19.7	31.6	1.5	20.7	51.3
女性	525	159	133	164	19	30	20	292	49	17	43	135	102	216	12	60	318
	100.0	30.3	25.3	31.2	3.6	5.7	3.8	55.6	9.3	3.2	8.2	25.7	19.4	41.1	2.3	11.4	60.6
年齢別																	
10歳代	94	35	18	29	4	7	1	53	11	14	20	17	20	22	1	34	42
	100.0	37.2	19.1	30.9	4.3	7.4	1.1	56.4	11.7	14.9	21.3	18.1	21.3	23.4	1.1	36.2	44.7
20歳代	62	15	15	18	7	7	－	30	14	4	8	16	15	19	－	12	34
	100.0	24.2	24.2	29.0	11.3	11.3	－	48.4	22.6	6.5	12.9	25.8	24.2	30.6	－	19.4	54.8
30歳代	90	24	18	31	7	10	－	42	17	7	17	21	20	25	－	24	45
	100.0	26.7	20.0	34.4	7.8	11.1	－	46.7	18.9	7.8	18.9	23.3	22.2	27.8	－	26.7	50.0
40歳代	150	32	56	44	6	11	1	88	17	5	21	44	40	39	1	26	79
	100.0	21.3	37.3	29.3	4.0	7.3	0.7	58.7	11.3	3.3	14.0	29.3	26.7	26.0	0.7	17.3	52.7
50歳代	172	56	43	47	13	12	1	99	25	6	19	50	28	67	2	25	95
	100.0	32.6	25.0	27.3	7.6	7.0	0.6	57.6	14.5	3.5	11.0	29.1	16.3	39.0	1.2	14.5	55.2
60歳代	195	67	41	61	4	16	6	108	20	8	17	50	31	85	4	25	116
	100.0	34.4	21.0	31.3	2.1	8.2	3.1	55.4	10.3	4.1	8.7	25.6	15.9	43.6	2.1	12.8	59.5
70歳代	200	80	47	49	5	7	12	127	12	2	17	53	34	86	8	19	120
	100.0	40.0	23.5	24.5	2.5	3.5	6.0	63.5	6.0	1.0	8.5	26.5	17.0	43.0	4.0	9.5	60.0
80歳以上	96	41	23	20	1	2	9	64	3	4	8	26	18	37	3	12	55
	100.0	42.7	24.0	20.8	1.0	2.1	9.4	66.7	3.1	4.2	8.3	27.1	18.8	38.5	3.1	12.5	57.3

		G　そっとしておけば、部落差別は自然になくなる								H　いじめは、いじめられる側にも問題がある							
	件数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	再掲『そう思う』	再掲『そう思わない』	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	再掲『そう思う』	再掲『そう思わない』
全　体	1,015	65	87	243	197	408	15	152	605	45	107	328	180	336	19	152	516
	100.0	6.4	8.6	23.9	19.4	40.2	1.5	15.0	59.6	4.4	10.5	32.3	17.7	33.1	1.9	15.0	50.8
性別																	
男性	478	38	43	122	86	184	5	81	270	27	55	162	81	146	7	82	227
	100.0	7.9	9.0	25.5	18.0	38.5	1.0	16.9	56.5	5.6	11.5	33.9	16.9	30.5	1.5	17.2	47.5
女性	525	27	43	117	108	220	10	70	328	18	51	162	96	186	12	69	282
	100.0	5.1	8.2	22.3	20.6	41.9	1.9	13.3	62.5	3.4	9.7	30.9	18.3	35.4	2.3	13.1	53.7
年齢別																	
10歳代	94	7	6	6	26	48	1	13	74	6	9	28	21	30	－	15	51
	100.0	7.4	6.4	6.4	27.7	51.1	1.1	13.8	78.7	6.4	9.6	29.8	22.3	31.9	－	16.0	54.3
20歳代	62	5	5	13	12	27	－	10	39	1	5	19	11	26	－	6	37
	100.0	8.1	8.1	21.0	19.4	43.5	－	16.1	62.9	1.6	8.1	30.6	17.7	41.9	－	9.7	59.7
30歳代	90	2	5	19	20	44	－	7	64	5	8	22	17	38	－	13	55
	100.0	2.2	5.6	21.1	22.2	48.9	－	7.8	71.1	5.6	8.9	24.4	18.9	42.2	－	14.4	61.1
40歳代	150	7	13	32	35	62	1	20	97	6	11	61	31	40	1	17	71
	100.0	4.7	8.7	21.3	23.3	41.3	0.7	13.3	64.7	4.0	7.3	40.7	20.7	26.7	0.7	11.3	47.3
50歳代	172	8	5	57	34	68	－	13	102	4	21	50	34	63	－	25	97
	100.0	4.7	2.9	33.1	19.8	39.5	－	7.6	59.3	2.3	12.2	29.1	19.8	36.6	－	14.5	56.4
60歳代	195	7	17	50	38	79	4	24	117	5	19	59	41	66	5	24	107
	100.0	3.6	8.7	25.6	19.5	40.5	2.1	12.3	60.0	2.6	9.7	30.3	21.0	33.8	2.6	12.3	54.9
70歳代	200	20	29	43	33	69	6	49	102	16	23	70	22	62	7	39	84
	100.0	10.0	14.5	21.5	16.5	34.5	3.0	24.5	51.0	8.0	11.5	35.0	11.0	31.0	3.5	19.5	42.0
80歳以上	96	13	10	24	13	33	3	23	46	4	16	34	11	25	6	20	36
	100.0	13.5	10.4	25.0	13.5	34.4	3.1	24.0	47.9	4.2	16.7	35.4	11.5	26.0	6.3	20.8	37.5

		I　子育ての間は、母親は育児に専念するべきだ								J　障害のある児童生徒は、別の教室で学習したほうがよい							
	件数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	【再掲】『そう思う』	【再掲】『そう思わない』	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	【再掲】『そう思う』	【再掲】『そう思わない』
全　体	1,015	50	121	260	163	407	14	171	570	50	125	406	186	235	13	175	421
	100.0	4.9	11.9	25.6	16.1	40.1	1.4	16.8	56.2	4.9	12.3	40.0	18.3	23.2	1.3	17.2	41.5
性別																	
男性	478	28	56	134	75	179	6	84	254	29	65	188	94	97	5	94	191
	100.0	5.9	11.7	28.0	15.7	37.4	1.3	17.6	53.1	6.1	13.6	39.3	19.7	20.3	1.0	19.7	40.0
女性	525	20	64	124	86	223	8	84	309	21	59	211	90	136	8	80	226
	100.0	3.8	12.2	23.6	16.4	42.5	1.5	16.0	58.9	4.0	11.2	40.2	17.1	25.9	1.5	15.2	43.0
年齢別																	
10歳代	94	3	13	25	22	29	2	16	51	4	15	30	21	22	2	19	43
	100.0	3.2	13.8	26.6	23.4	30.9	2.1	17.0	54.3	4.3	16.0	31.9	22.3	23.4	2.1	20.2	45.7
20歳代	62	1	4	12	21	24	－	5	45	4	8	22	12	16	－	12	28
	100.0	1.6	6.5	19.4	33.9	38.7	－	8.1	72.6	6.5	12.9	35.5	19.4	25.8	－	19.4	45.2
30歳代	90	4	4	19	15	48	－	8	63	7	16	36	18	13	－	23	31
	100.0	4.4	4.4	21.1	16.7	53.3	－	8.9	70.0	7.8	17.8	40.0	20.0	14.4	－	25.6	34.4
40歳代	150	4	15	35	28	67	1	19	95	11	22	67	26	23	1	33	49
	100.0	2.7	10.0	23.3	18.7	44.7	0.7	12.7	63.3	7.3	14.7	44.7	17.3	15.3	0.7	22.0	32.7
50歳代	172	6	16	47	24	79	－	22	103	4	22	78	34	34	－	26	68
	100.0	3.5	9.3	27.3	14.0	45.9	－	12.8	59.9	2.3	12.8	45.3	19.8	19.8	－	15.1	39.5
60歳代	195	5	21	56	28	81	4	26	109	8	24	70	38	51	4	32	89
	100.0	2.6	10.8	28.7	14.4	41.5	2.1	13.3	55.9	4.1	12.3	35.9	19.5	26.2	2.1	16.4	45.6
70歳代	200	15	37	51	27	66	4	52	93	11	15	79	31	61	3	26	92
	100.0	7.5	18.5	25.5	13.5	33.0	2.0	26.0	46.5	5.5	7.5	39.5	15.5	30.5	1.5	13.0	46.0
80歳以上	96	13	16	25	8	31	3	29	39	3	11	35	14	30	3	14	44
	100.0	13.5	16.7	26.0	8.3	32.3	3.1	30.2	40.6	3.1	11.5	36.5	14.6	31.3	3.1	14.6	45.8

		K　介護を受ける高齢者は、あまり自己主張すべきではない								L　外国人住民は、もっと日本の文化にとけ込む努力をするべきだ							
	件数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	【再掲】『そう思う』	【再掲】『そう思わない』	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	【再掲】『そう思う』	【再掲】『そう思わない』
全　体	1,015	39	100	267	258	337	14	139	595	121	282	360	112	124	16	403	236
	100.0	3.8	9.9	26.3	25.4	33.2	1.4	13.7	58.6	11.9	27.8	35.5	11.0	12.2	1.6	39.7	23.3
性別																	
男性	478	22	51	143	115	141	6	73	256	75	139	162	47	49	6	214	96
	100.0	4.6	10.7	29.9	24.1	29.5	1.3	15.3	53.6	15.7	29.1	33.9	9.8	10.3	1.3	44.8	20.1
女性	525	17	46	123	140	191	8	63	331	45	139	196	62	73	10	184	135
	100.0	3.2	8.8	23.4	26.7	36.4	1.5	12.0	63.0	8.6	26.5	37.3	11.8	13.9	1.9	35.0	25.7
年齢別																	
10歳代	94	1	10	21	28	33	1	11	61	5	22	23	25	17	2	27	42
	100.0	1.1	10.6	22.3	29.8	35.1	1.1	11.7	64.9	5.3	23.4	24.5	26.6	18.1	2.1	28.7	44.7
20歳代	62	3	5	14	22	18	－	8	40	4	16	20	12	10	－	20	22
	100.0	4.8	8.1	22.6	35.5	29.0	－	12.9	64.5	6.5	25.8	32.3	19.4	16.1	－	32.3	35.5
30歳代	90	4	6	25	28	27	－	10	55	12	19	29	13	17	－	31	30
	100.0	4.4	6.7	27.8	31.1	30.0	－	11.1	61.1	13.3	21.1	32.2	14.4	18.9	－	34.4	33.3
40歳代	150	7	14	45	38	45	1	21	83	17	36	62	17	17	1	53	34
	100.0	4.7	9.3	30.0	25.3	30.0	0.7	14.0	55.3	11.3	24.0	41.3	11.3	11.3	0.7	35.3	22.7
50歳代	172	1	19	39	41	72	－	20	113	19	47	66	17	22	1	66	39
	100.0	0.6	11.0	22.7	23.8	41.9	－	11.6	65.7	11.0	27.3	38.4	9.9	12.8	0.6	38.4	22.7
60歳代	195	5	8	51	55	71	5	13	126	23	56	65	21	25	5	79	46
	100.0	2.6	4.1	26.2	28.2	36.4	2.6	6.7	64.6	11.8	28.7	33.3	10.8	12.8	2.6	40.5	23.6
70歳代	200	9	27	52	41	68	3	36	109	29	50	80	18	20	3	79	38
	100.0	4.5	13.5	26.0	20.5	34.0	1.5	18.0	54.5	14.5	25.0	40.0	9.0	10.0	1.5	39.5	19.0
80歳以上	96	10	13	31	15	23	4	23	38	12	44	26	4	6	4	56	10
	100.0	10.4	13.5	32.3	15.6	24.0	4.2	24.0	39.6	12.5	45.8	27.1	4.2	6.3	4.2	58.3	10.4

	件数	M　知人から性的マイノリティだと打ち明けられたら、どう接するべきかわからない								N　災害時の避難所で、プライバシーが確保できないのはやむを得ない							
		そう思う	どちらかといえばそう思う	いどちらともいえな	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	【再掲】『そう思う』	【再掲】『そう思わない』	そう思う	どちらかといえばそう思う	いどちらともいえな	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	【再掲】『そう思う』	【再掲】『そう思わない』
全　体	1,015	126	194	305	171	198	21	320	369	87	237	225	215	238	13	324	453
	100.0	12.4	19.1	30.0	16.8	19.5	2.1	31.5	36.4	8.6	23.3	22.2	21.2	23.4	1.3	31.9	44.6
性別																	
男性	478	67	106	138	71	87	9	173	158	52	131	109	97	85	4	183	182
	100.0	14.0	22.2	28.9	14.9	18.2	1.9	36.2	33.1	10.9	27.4	22.8	20.3	17.8	0.8	38.3	38.1
女性	525	56	87	164	98	108	12	143	206	34	100	114	117	151	9	134	268
	100.0	10.7	16.6	31.2	18.7	20.6	2.3	27.2	39.2	6.5	19.0	21.7	22.3	28.8	1.7	25.5	51.0
年齢別																	
10歳代	94	11	19	25	9	29	1	30	38	11	28	12	20	22	1	39	42
	100.0	11.7	20.2	26.6	9.6	30.9	1.1	31.9	40.4	11.7	29.8	12.8	21.3	23.4	1.1	41.5	44.7
20歳代	62	4	14	13	14	17	－	18	31	6	16	11	14	15	－	22	29
	100.0	6.5	22.6	21.0	22.6	27.4	－	29.0	50.0	9.7	25.8	17.7	22.6	24.2	－	35.5	46.8
30歳代	90	7	15	25	22	21	－	22	43	7	20	20	22	21	－	27	43
	100.0	7.8	16.7	27.8	24.4	23.3	－	24.4	47.8	7.8	22.2	22.2	24.4	23.3	－	30.0	47.8
40歳代	150	11	23	38	46	31	1	34	77	10	32	39	40	28	1	42	68
	100.0	7.3	15.3	25.3	30.7	20.7	0.7	22.7	51.3	6.7	21.3	26.0	26.7	18.7	0.7	28.0	45.3
50歳代	172	11	31	53	34	42	1	42	76	10	34	45	30	53	－	44	83
	100.0	6.4	18.0	30.8	19.8	24.4	0.6	24.4	44.2	5.8	19.8	26.2	17.4	30.8	－	25.6	48.3
60歳代	195	18	37	69	26	41	4	55	67	8	38	47	48	50	4	46	98
	100.0	9.2	19.0	35.4	13.3	21.0	2.1	28.2	34.4	4.1	19.5	24.1	24.6	25.6	2.1	23.6	50.3
70歳代	200	42	40	69	17	25	7	82	42	24	48	38	37	50	3	72	87
	100.0	21.0	20.0	34.5	8.5	12.5	3.5	41.0	21.0	12.0	24.0	19.0	18.5	25.0	1.5	36.0	43.5
80歳以上	96	26	23	27	8	5	7	49	13	17	33	17	12	13	4	50	25
	100.0	27.1	24.0	28.1	8.3	5.2	7.3	51.0	13.5	17.7	34.4	17.7	12.5	13.5	4.2	52.1	26.0

	件数	O　カスタマー・ハラスメントは、顧客に迷惑をかけた側にも問題がある								P　刑を終えて出所した人の就職が、容易に決まらないのは仕方ない							
		そう思う	どちらかといえばそう思う	いどちらともいえな	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	【再掲】『そう思う』	【再掲】『そう思わない』	そう思う	どちらかといえばそう思う	いどちらともいえな	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	【再掲】『そう思う』	【再掲】『そう思わない』
全　体	1,015	45	126	381	184	262	17	171	446	100	240	358	167	137	13	340	304
	100.0	4.4	12.4	37.5	18.1	25.8	1.7	16.8	43.9	9.9	23.6	35.3	16.5	13.5	1.3	33.5	30.0
性別																	
男性	478	27	71	180	84	110	6	98	194	51	110	173	81	59	4	161	140
	100.0	5.6	14.9	37.7	17.6	23.0	1.3	20.5	40.6	10.7	23.0	36.2	16.9	12.3	0.8	33.7	29.3
女性	525	18	53	198	97	148	11	71	245	48	128	179	85	76	9	176	161
	100.0	3.4	10.1	37.7	18.5	28.2	2.1	13.5	46.7	9.1	24.4	34.1	16.2	14.5	1.7	33.5	30.7
年齢別																	
10歳代	94	2	8	36	17	29	2	10	46	20	30	19	17	7	1	50	24
	100.0	2.1	8.5	38.3	18.1	30.9	2.1	10.6	48.9	21.3	31.9	20.2	18.1	7.4	1.1	53.2	25.5
20歳代	62	－	5	25	13	19	－	5	32	8	21	18	10	5	－	29	15
	100.0	－	8.1	40.3	21.0	30.6	－	8.1	51.6	12.9	33.9	29.0	16.1	8.1	－	46.8	24.2
30歳代	90	3	12	28	17	30	－	15	47	17	28	28	7	10	－	45	17
	100.0	3.3	13.3	31.1	18.9	33.3	－	16.7	52.2	18.9	31.1	31.1	7.8	11.1	－	50.0	18.9
40歳代	150	7	17	51	33	41	1	24	74	21	49	54	20	5	1	70	25
	100.0	4.7	11.3	34.0	22.0	27.3	0.7	16.0	49.3	14.0	32.7	36.0	13.3	3.3	0.7	46.7	16.7
50歳代	172	5	17	59	34	57	－	22	91	13	38	75	24	22	－	51	46
	100.0	2.9	9.9	34.3	19.8	33.1	－	12.8	52.9	7.6	22.1	43.6	14.0	12.8	－	29.7	26.7
60歳代	195	4	17	80	37	53	4	21	90	14	39	70	38	30	4	53	68
	100.0	2.1	8.7	41.0	19.0	27.2	2.1	10.8	46.2	7.2	20.0	35.9	19.5	15.4	2.1	27.2	34.9
70歳代	200	16	30	79	30	40	5	46	70	8	31	71	42	45	3	39	87
	100.0	8.0	15.0	39.5	15.0	20.0	2.5	23.0	35.0	4.0	15.5	35.5	21.0	22.5	1.5	19.5	43.5
80歳以上	96	9	22	43	8	9	5	31	17	9	17	31	18	17	4	26	35
	100.0	9.4	22.9	44.8	8.3	9.4	5.2	32.3	17.7	9.4	17.7	32.3	18.8	17.7	4.2	27.1	36.5

- 性別でみると、「M」「N」では全体で『そう思わない』が『そう思う』より高くなっていますが、男性では『そう思う』が『そう思わない』より高くなっています。また、全体と比べると、「N」では「そう思わない」は女性で有意に高くなっています。
- 年齢別でみると、「A」～「D」のうち、『そう思わない』は、「C」では 30 歳代で有意に高くなっています。
- 「E」～「P」のうち、『そう思う』は、「F」では 10 歳代で、「G」では 70 歳代で、「Ｉ」「M」では 70 歳代以上で、「K」「L」「N」「O」では 80 歳以上で、「P」では 10 歳代・30 歳代・40 歳代で、それぞれ有意に高くなっています。

図表 2-5-3 人権や差別をめぐる考え方についての意識（講演会等参加状況別）

	件数	A 差別される人の言葉をきちんと聞く必要がある				B 人権に関する正しい知識を身につけるため、もっと学ぶ機会を持つべきだ				C 自分の権利とともに、他人の権利も尊重する必要がある				D 非合理な因習や風習、誤った固定観念にとらわれないことが大切だ			
		『そう思う』	どちらともいえない	『そう思わない』	無回答	『そう思う』	どちらともいえない	『そう思わない』	無回答	『そう思う』	どちらともいえない	『そう思わない』	無回答	『そう思う』	どちらともいえない	『そう思わない』	無回答
全体	1,015	892	96	13	14	812	137	45	21	955	41	6	13	921	64	11	19
	100.0	87.9	9.5	1.3	1.4	80.0	13.5	4.4	2.1	94.1	4.0	0.6	1.3	90.7	6.3	1.1	1.9
問24 人権に関する講演会等への参加状況																	
参加したことがある	168	150	14	4	-	149	11	8	-	165	3	-	-	163	5	-	-
	100.0	89.3	8.3	2.4	-	88.7	6.5	4.8	-	98.2	1.8	-	-	97.0	3.0	-	-
参加したことはない	815	719	78	9	9	645	120	35	15	767	34	6	8	737	55	10	13
	100.0	88.2	9.6	1.1	1.1	79.1	14.7	4.3	1.8	94.1	4.2	0.7	1.0	90.4	6.7	1.2	1.6

	件数	E 人権には必ず義務がともなう				F 競争社会だから、競争に負けた人が不利益を受けるのは仕方がない				G そっとしておけば、部落差別は自然になくなる				H いじめは、いじめられる側にも問題がある			
		『そう思う』	どちらともいえない	『そう思わない』	無回答	『そう思う』	どちらともいえない	『そう思わない』	無回答	『そう思う』	どちらともいえない	『そう思わない』	無回答	『そう思う』	どちらともいえない	『そう思わない』	無回答
全体	1,015	588	285	112	30	160	266	570	19	152	243	605	15	152	328	516	19
	100.0	57.9	28.1	11.0	3.0	15.8	26.2	56.2	1.9	15.0	23.9	59.6	1.5	15.0	32.3	50.8	1.9
問24 人権に関する講演会等への参加状況																	
参加したことがある	168	89	46	31	2	18	41	109	-	23	30	115	-	15	44	109	-
	100.0	53.0	27.4	18.5	1.2	10.7	24.4	64.9	-	13.7	17.9	68.5	-	8.9	26.2	64.9	-
参加したことはない	815	481	232	81	21	137	219	447	12	122	203	481	9	128	278	397	12
	100.0	59.0	28.5	9.9	2.6	16.8	26.9	54.8	1.5	15.0	24.9	59.0	1.1	15.7	34.1	48.7	1.5

	件数	I 子育ての間は、母親は育児に専念するべきだ				J 障害のある児童生徒は、別の教室で学習したほうがよい				K 介護を受ける高齢者は、あまり自己主張すべきではない				L 外国人住民は、もっと日本の文化にとけ込む努力をするべきだ			
		『そう思う』	どちらともいえない	『そう思わない』	無回答	『そう思う』	どちらともいえない	『そう思わない』	無回答	『そう思う』	どちらともいえない	『そう思わない』	無回答	『そう思う』	どちらともいえない	『そう思わない』	無回答
全体	1,015	171	260	570	14	175	406	421	13	139	267	595	14	403	360	236	16
	100.0	16.8	25.6	56.2	1.4	17.2	40.0	41.5	1.3	13.7	26.3	58.6	1.4	39.7	35.5	23.3	1.6
問24 人権に関する講演会等への参加状況																	
参加したことがある	168	25	35	108	-	23	62	83	-	16	33	119	-	67	54	47	-
	100.0	14.9	20.8	64.3	-	13.7	36.9	49.4	-	9.5	19.6	70.8	-	39.9	32.1	28.0	-
参加したことはない	815	137	219	450	9	149	333	325	8	118	223	466	8	321	301	184	9
	100.0	16.8	26.9	55.2	1.1	18.3	40.9	39.9	1.0	14.5	27.4	57.2	1.0	39.4	36.9	22.6	1.1

	件数	M 知人から性的マイノリティだと打ち明けられたら、どう接するべきかわからない				N 災害時の避難所で、プライバシーが確保できないのはやむを得ない				O カスタマー・ハラスメントは、顧客に迷惑をかけた側にも問題がある				P 刑を終えて出所した人の就職が、容易に決まらないのは仕方ない			
		『そう思う』	どちらともいえない	『そう思わない』	無回答	『そう思う』	どちらともいえない	『そう思わない』	無回答	『そう思う』	どちらともいえない	『そう思わない』	無回答	『そう思う』	どちらともいえない	『そう思わない』	無回答
全体	1,015	320	305	369	21	324	225	453	13	171	381	446	17	340	358	304	13
	100.0	31.5	30.0	36.4	2.1	31.9	22.2	44.6	1.3	16.8	37.5	43.9	1.7	33.5	35.3	30.0	1.3
問24 人権に関する講演会等への参加状況																	
参加したことがある	168	52	51	65	-	45	42	81	-	20	57	90	1	50	46	72	-
	100.0	31.0	30.4	38.7	-	26.8	25.0	48.2	-	11.9	33.9	53.6	0.6	29.8	27.4	42.9	-
参加したことはない	815	258	243	299	15	265	176	366	8	140	313	351	11	286	301	220	8
	100.0	31.7	29.8	36.7	1.8	32.5	21.6	44.9	1.0	17.2	38.4	43.1	1.3	35.1	36.9	27.0	1.0

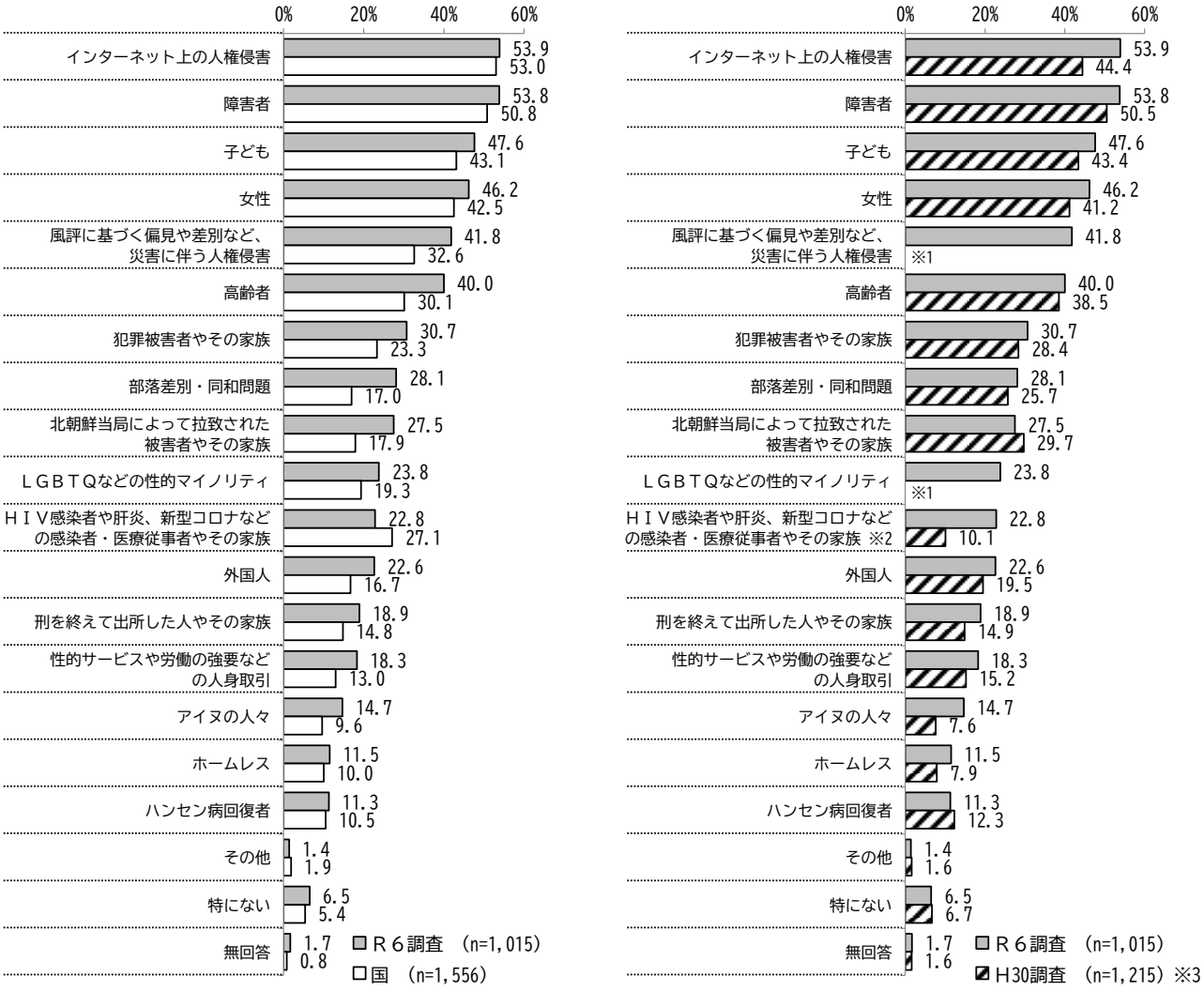
- 人権に関する講演会等への参加状況（問 24）別でみると、「A」～「D」で『そう思う』は参加経験者で概ね高く、特に「B」「D」では有意に高くなっています。一方、「E」～「P」で『そう思わない』は参加経験者で概ね高く、特に「E」「H」「K」「P」では有意に高くなっています。

3　個別の人権問題に関する意識について

3－1　人権問題への関心

問7　日本における人権問題について、あなたの関心があるものはどれですか。あてはまるものすべてを選んでください。

図表 3-1-1 人権問題への関心（国との比較・経年比較）



※1「風評に基づく偏見や差別など、災害に伴う人権侵害」「ＬＧＢＴＱなどの性的マイノリティ」は R6 調査のみ。
※2 H30 調査では「エイズ患者・HIV 感染者」。
※3 H30 調査ではこの他に「東日本大震災に伴う人権問題」が 24.5%、「性的指向」が 14.3%、「性同一性障害者」が 17.5%。

- 「インターネット上の人権侵害」が 53.9%で最も高く、次いで「障害者」が 53.8%、「子ども」が 47.6%、「女性」が 46.2%となっています。
- 国の調査と比べると、「部落差別・同和問題」は市で割合が高い順で第８位、国で第 11 位と、市での順位が上になっています。
- 前回調査と比べると、「インターネット上の人権侵害」が約 10 ポイント増加して順位を上げ（第２位→第１位）、「ハンセン病回復者」が順位を下げています。

図表 3-1-2 人権問題への関心（性別・年齢別）

	件数	インターネット上の人権侵害	障害者	子ども	女性	風評や差別など、災害に伴う人権侵害	高齢者	犯罪被害者やその家族	部落差別・同和問題	北朝鮮当局によって拉致された被害者やその家族	LGBTQなどの性的マイノリティ
全　体	1,015	547	546	483	469	424	406	312	285	279	242
	100.0	53.9	53.8	47.6	46.2	41.8	40.0	30.7	28.1	27.5	23.8
性別											
男性	478	265	245	194	161	200	181	146	154	139	108
	100.0	55.4	51.3	40.6	33.7	41.8	37.9	30.5	32.2	29.1	22.6
女性	525	274	292	282	302	218	217	163	127	132	132
	100.0	52.2	55.6	53.7	57.5	41.5	41.3	31.0	24.2	25.1	25.1
年齢別											
10歳代	94	52	43	36	50	32	20	28	34	14	40
	100.0	55.3	45.7	38.3	53.2	34.0	21.3	29.8	36.2	14.9	42.6
20歳代	62	32	32	32	32	23	19	14	14	11	24
	100.0	51.6	51.6	51.6	51.6	37.1	30.6	22.6	22.6	17.7	38.7
30歳代	90	45	43	60	55	27	29	22	17	13	26
	100.0	50.0	47.8	66.7	61.1	30.0	32.2	24.4	18.9	14.4	28.9
40歳代	150	76	79	94	81	62	47	54	31	26	39
	100.0	50.7	52.7	62.7	54.0	41.3	31.3	36.0	20.7	17.3	26.0
50歳代	172	98	87	84	93	78	68	62	50	47	48
	100.0	57.0	50.6	48.8	54.1	45.3	39.5	36.0	29.1	27.3	27.9
60歳代	195	120	115	92	83	88	86	58	60	52	40
	100.0	61.5	59.0	47.2	42.6	45.1	44.1	29.7	30.8	26.7	20.5
70歳代	200	101	112	70	70	96	95	59	63	80	32
	100.0	50.5	56.0	35.0	35.0	48.0	47.5	29.5	31.5	40.0	16.0
80歳以上	96	43	50	30	27	32	48	27	33	43	11
	100.0	44.8	52.1	31.3	28.1	33.3	50.0	28.1	34.4	44.8	11.5

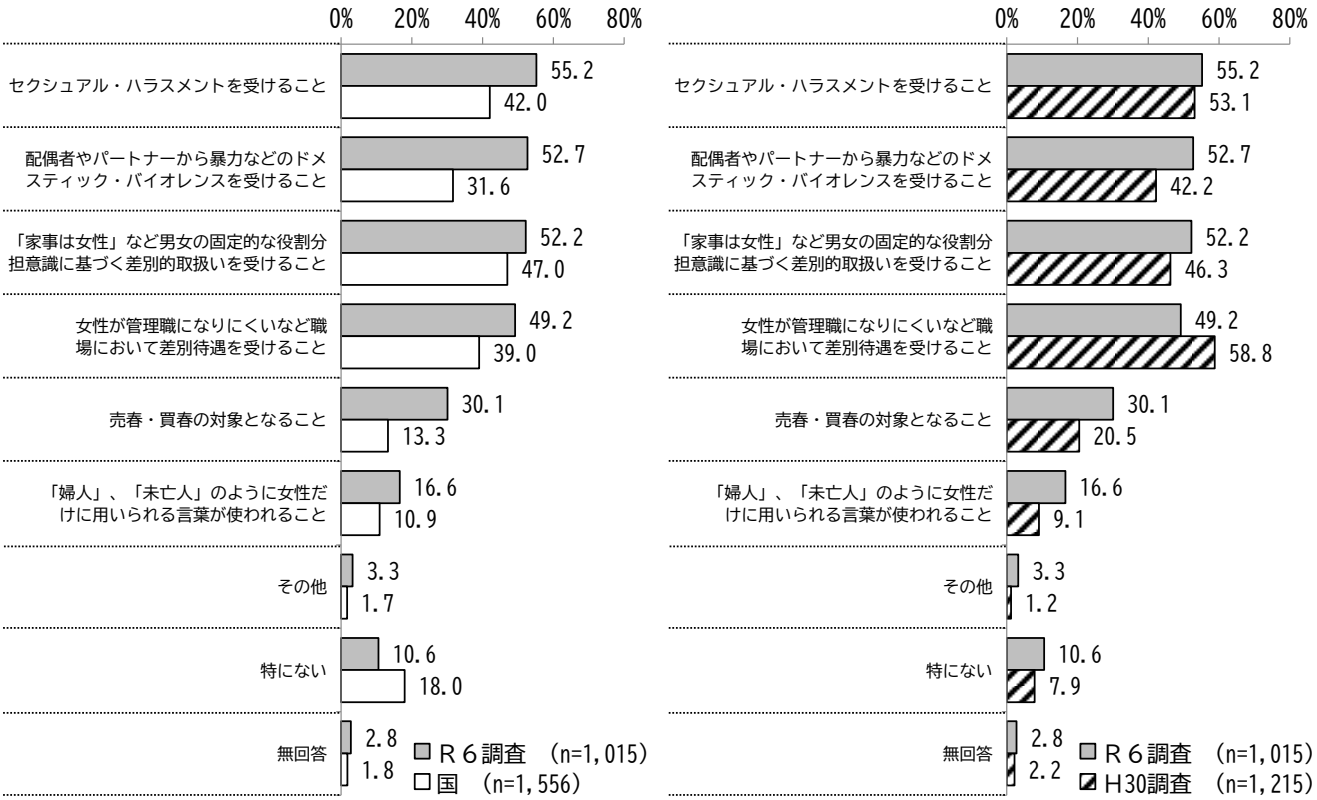
	件数	HIV感染者や肝炎、新型コロナなどの感染者・医療従事者やその家族	外国人	刑を終えて出所した人やその家族	性的サービスや労働の強要などの人身取引	アイヌの人々	ホームレス	ハンセン病回復者	その他	特にない	無回答
全　体	1,015	231	229	192	186	149	117	115	14	66	17
	100.0	22.8	22.6	18.9	18.3	14.7	11.5	11.3	1.4	6.5	1.7
性別											
男性	478	97	119	92	91	72	50	54	9	34	7
	100.0	20.3	24.9	19.2	19.0	15.1	10.5	11.3	1.9	7.1	1.5
女性	525	130	106	99	91	74	65	59	5	31	10
	100.0	24.8	20.2	18.9	17.3	14.1	12.4	11.2	1.0	5.9	1.9
年齢別											
10歳代	94	22	36	23	15	12	16	7	－	8	－
	100.0	23.4	38.3	24.5	16.0	12.8	17.0	7.4	－	8.5	－
20歳代	62	16	15	9	8	7	5	5	2	4	－
	100.0	25.8	24.2	14.5	12.9	11.3	8.1	8.1	3.2	6.5	－
30歳代	90	19	26	15	15	7	11	5	－	6	－
	100.0	21.1	28.9	16.7	16.7	7.8	12.2	5.6	－	6.7	－
40歳代	150	31	34	22	18	14	11	10	3	7	2
	100.0	20.7	22.7	14.7	12.0	9.3	7.3	6.7	2.0	4.7	1.3
50歳代	172	37	37	40	37	29	22	26	3	12	1
	100.0	21.5	21.5	23.3	21.5	16.9	12.8	15.1	1.7	7.0	0.6
60歳代	195	50	34	34	36	36	21	30	2	13	3
	100.0	25.6	17.4	17.4	18.5	18.5	10.8	15.4	1.0	6.7	1.5
70歳代	200	43	36	36	39	36	28	25	2	14	6
	100.0	21.5	18.0	18.0	19.5	18.0	14.0	12.5	1.0	7.0	3.0
80歳以上	96	22	24	25	25	13	10	11	2	6	5
	100.0	22.9	25.0	26.0	26.0	13.5	10.4	11.5	2.1	6.3	5.2

- 性別でみると、女性では「女性」が最も高くなっています。また、全体と比べると、「子ども」「女性」は女性で有意に高くなっています。
- 年齢別でみると、20 歳代では「インターネット上の人権侵害」「障害者」「子ども」「女性」が同率で、30 歳代・40 歳代では「子ども」が、70 歳代以上では「障害者」が、それぞれ最も高くなっています。また、全体と比べると、「子ども」は 30 歳代・40 歳代で、「女性」は 30 歳代で、「北朝鮮当局によって拉致された被害者やその家族」は 70 歳代以上で、「LGBTQ などの性的マイノリティ」は 20 歳代以下で、「外国人」は 10 歳代で、それぞれ有意に高くなっています。

３－２　女性に関する人権問題

問８　あなたは、女性に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。あてはまるものすべてを選んでください。

図表 3-2-1 女性に関する人権問題（国との比較･経年比較）



- 「セクシュアル・ハラスメントを受けること」が 55.2%で最も高く、次いで「配偶者やパートナーから暴力などのドメスティック・バイオレンスを受けること」が 52.7%となっています。
- 国の調査と比べると、「配偶者やパートナーから暴力などのドメスティック・バイオレンスを受けること」は市で第２位、国で第４位と、市での順位が上になっています。
- 前回調査と比べると、「配偶者やパートナーから暴力などのドメスティック・バイオレンスを受けること」が順位を上げ（第４位→第２位）、「女性が管理職になりにくいなど職場において差別待遇を受けること」が順位を下げています（第１位→第４位）。

図表 3-2-2 女性に関する人権問題（性別・年齢別）

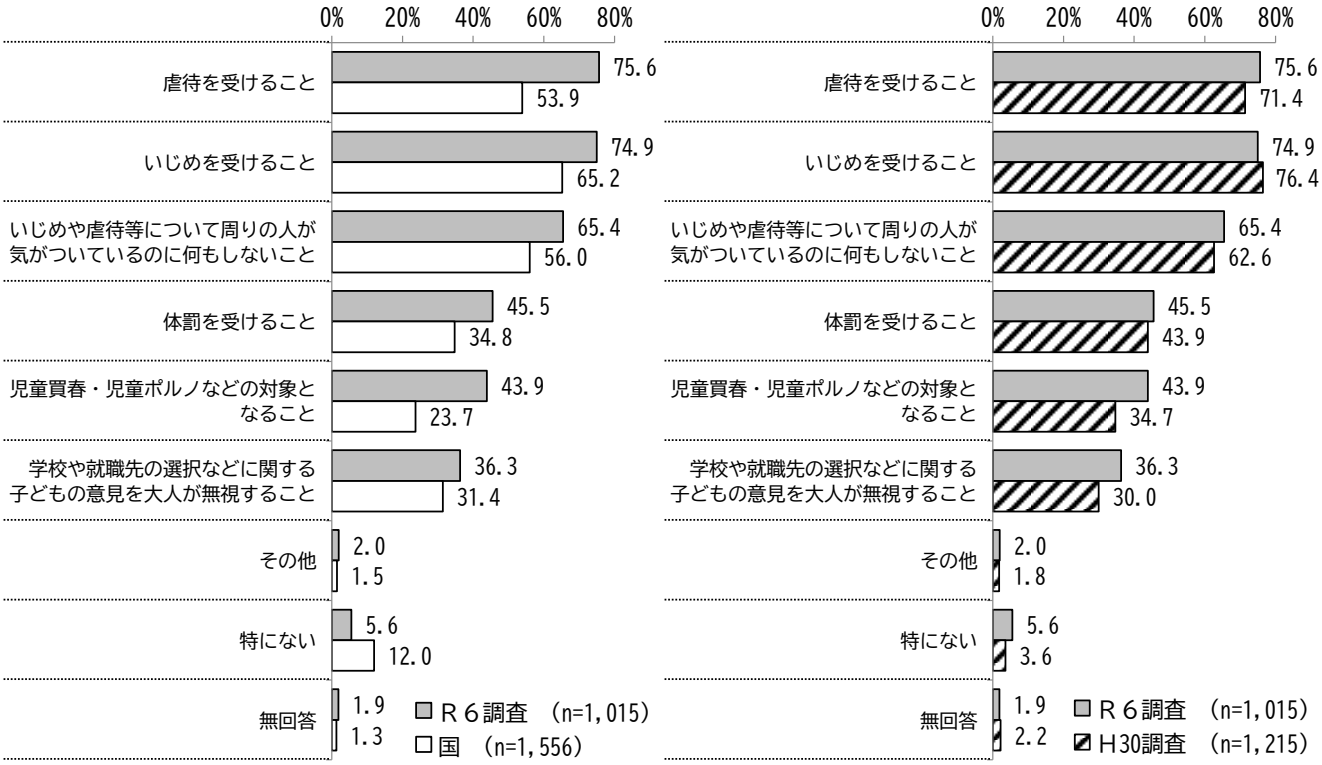
	件数	セクシュアル・ハラスメントを受けること	配偶者やパートナーから暴力などのドメスティック・バイオレンスを受けること	「家事は女性」など男女の固定的な役割分担意識に基づく差別的取扱いを受けること	女性が管理職になりにくいなど職場において差別待遇を受けること	売春・買春の対象となること	「婦人」、「未亡人」のように女性だけに用いられる言葉が使われること	その他	特にない	無回答
全　体	1,015	560	535	530	499	306	168	34	108	28
	100.0	55.2	52.7	52.2	49.2	30.1	16.6	3.3	10.6	2.8
性別										
男性	478	252	237	204	212	126	70	17	56	14
	100.0	52.7	49.6	42.7	44.4	26.4	14.6	3.6	11.7	2.9
女性	525	301	291	319	283	172	95	17	52	14
	100.0	57.3	55.4	60.8	53.9	32.8	18.1	3.2	9.9	2.7
年齢別										
10歳代	94	62	48	61	48	31	19	－	5	－
	100.0	66.0	51.1	64.9	51.1	33.0	20.2	－	5.3	－
20歳代	62	44	29	32	29	23	11	2	4	－
	100.0	71.0	46.8	51.6	46.8	37.1	17.7	3.2	6.5	－
30歳代	90	56	46	49	43	23	22	7	15	－
	100.0	62.2	51.1	54.4	47.8	25.6	24.4	7.8	16.7	－
40歳代	150	82	77	89	74	40	28	3	11	4
	100.0	54.7	51.3	59.3	49.3	26.7	18.7	2.0	7.3	2.7
50歳代	172	101	100	101	91	60	30	7	15	1
	100.0	58.7	58.1	58.7	52.9	34.9	17.4	4.1	8.7	0.6
60歳代	195	116	110	97	95	54	28	8	21	4
	100.0	59.5	56.4	49.7	48.7	27.7	14.4	4.1	10.8	2.1
70歳代	200	96	104	97	100	60	28	3	22	9
	100.0	48.0	52.0	48.5	50.0	30.0	14.0	1.5	11.0	4.5
80歳以上	96	33	45	35	42	31	14	4	15	10
	100.0	34.4	46.9	36.5	43.8	32.3	14.6	4.2	15.6	10.4

- 性別でみると、「「家事は女性」など男女の固定的な役割分担意識に基づく差別的取扱いを受けること」は女性で最も高く、全体と比べても女性で有意に高くなっています。
- 年齢別でみると、40 歳代・50 歳代（同率）では「「家事は女性」など男女の固定的な役割分担意識に基づく差別的取扱いを受けること」が、70 歳代以上では「配偶者やパートナーから暴力などのドメスティック・バイオレンスを受けること」がそれぞれ最も高くなっています。

３－３　子どもに関する人権問題

問９　あなたは、子どもに関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。あてはまるものすべてを選んでください。

図表 3-3-1 子どもに関する人権問題（国との比較・経年比較）



- 「虐待を受けること」が75.6%で最も高く、次いで「いじめを受けること」が74.9%となっています。
- 国の調査と比べると、「虐待を受けること」は市で第１位、国で第３位と、市での順位が上になっています。
- 前回調査と比べると、「虐待を受けること」が順位を上げています（第２位→第１位）。

図表 3-3-2 子どもに関する人権問題（性別・年齢別）

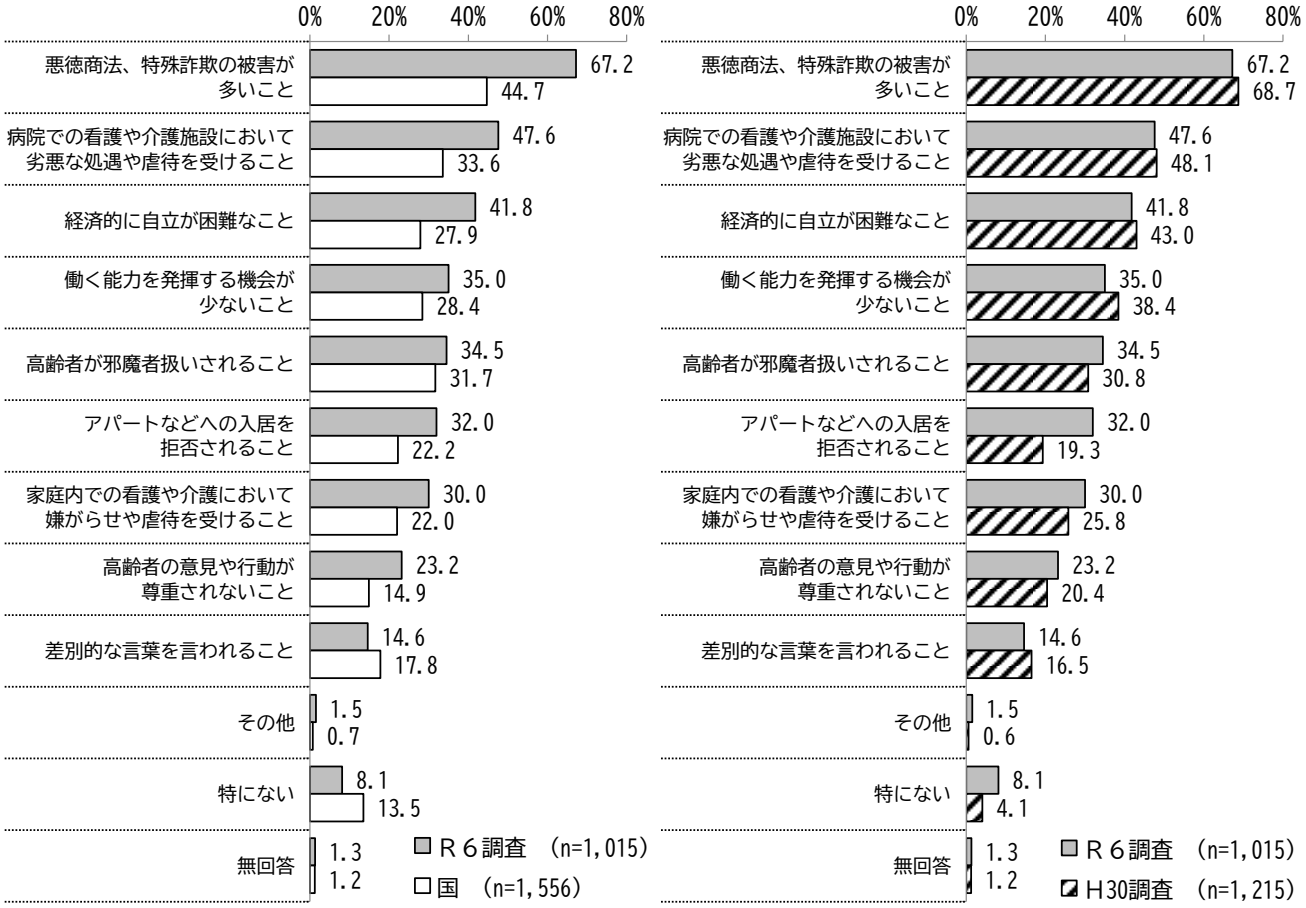
	件数	虐待を受けること	いじめを受けること	いじめ、体罰や虐待について、周りの人が気がついているのに何もしないこと	体罰を受けること	児童買春・児童ポルノなどの対象となること	学校や就職先の選択などに関する子どもの意見について、大人がその意見を無視すること	その他	特にない	無回答
全　体	1,015	767	760	664	462	446	368	20	57	19
	100.0	75.6	74.9	65.4	45.5	43.9	36.3	2.0	5.6	1.9
性別										
男性	478	341	347	296	196	188	154	7	33	10
	100.0	71.3	72.6	61.9	41.0	39.3	32.2	1.5	6.9	2.1
女性	525	417	402	360	260	252	209	13	23	9
	100.0	79.4	76.6	68.6	49.5	48.0	39.8	2.5	4.4	1.7
年齢別										
10歳代	94	74	65	58	48	28	51	－	6	－
	100.0	78.7	69.1	61.7	51.1	29.8	54.3	－	6.4	－
20歳代	62	48	50	44	22	23	25	2	1	－
	100.0	77.4	80.6	71.0	35.5	37.1	40.3	3.2	1.6	－
30歳代	90	66	73	68	45	42	35	3	6	－
	100.0	73.3	81.1	75.6	50.0	46.7	38.9	3.3	6.7	－
40歳代	150	117	106	104	75	77	58	2	5	4
	100.0	78.0	70.7	69.3	50.0	51.3	38.7	1.3	3.3	2.7
50歳代	172	135	132	119	80	82	77	3	9	2
	100.0	78.5	76.7	69.2	46.5	47.7	44.8	1.7	5.2	1.2
60歳代	195	157	151	122	87	80	64	5	9	3
	100.0	80.5	77.4	62.6	44.6	41.0	32.8	2.6	4.6	1.5
70歳代	200	142	149	125	95	82	59	2	11	6
	100.0	71.0	74.5	62.5	47.5	41.0	29.5	1.0	5.5	3.0
80歳以上	96	65	65	53	33	44	26	4	9	4
	100.0	67.7	67.7	55.2	34.4	45.8	27.1	4.2	9.4	4.2

- 性別でみると、男性では「いじめを受けること」が最も高くなっています。
- 年齢別でみると、20 歳代・30 歳代・70 歳代・80 歳以上（同率）では「いじめを受けること」が最も高くなっています。また、全体と比べると、「学校や就職先の選択などに関する子どもの意見について、大人がその意見を無視すること」は 10 歳代で有意に高くなっています。

３－４　高齢者に関する人権問題

問 10　あなたは、高齢者に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。あてはまるものすべてを選んでください。

図表 3-4-1 高齢者に関する人権問題（国との比較･経年比較）



- 「悪徳商法、特殊詐欺の被害が多いこと」が 67.2%で最も高く、次いで「病院での看護や介護施設において劣悪な処遇や虐待を受けること」が 47.6%となっています。
- 国の調査と比べると、「経済的に自立が困難なこと」は市で第３位、国で第５位と、市での順位が上になっています。
- 前回調査と比べると、「アパートなどへの入居を拒否されること」が順位を上げています（第８位→第６位）。

図表 3-4-2 高齢者に関する人権問題（性別・年齢別）

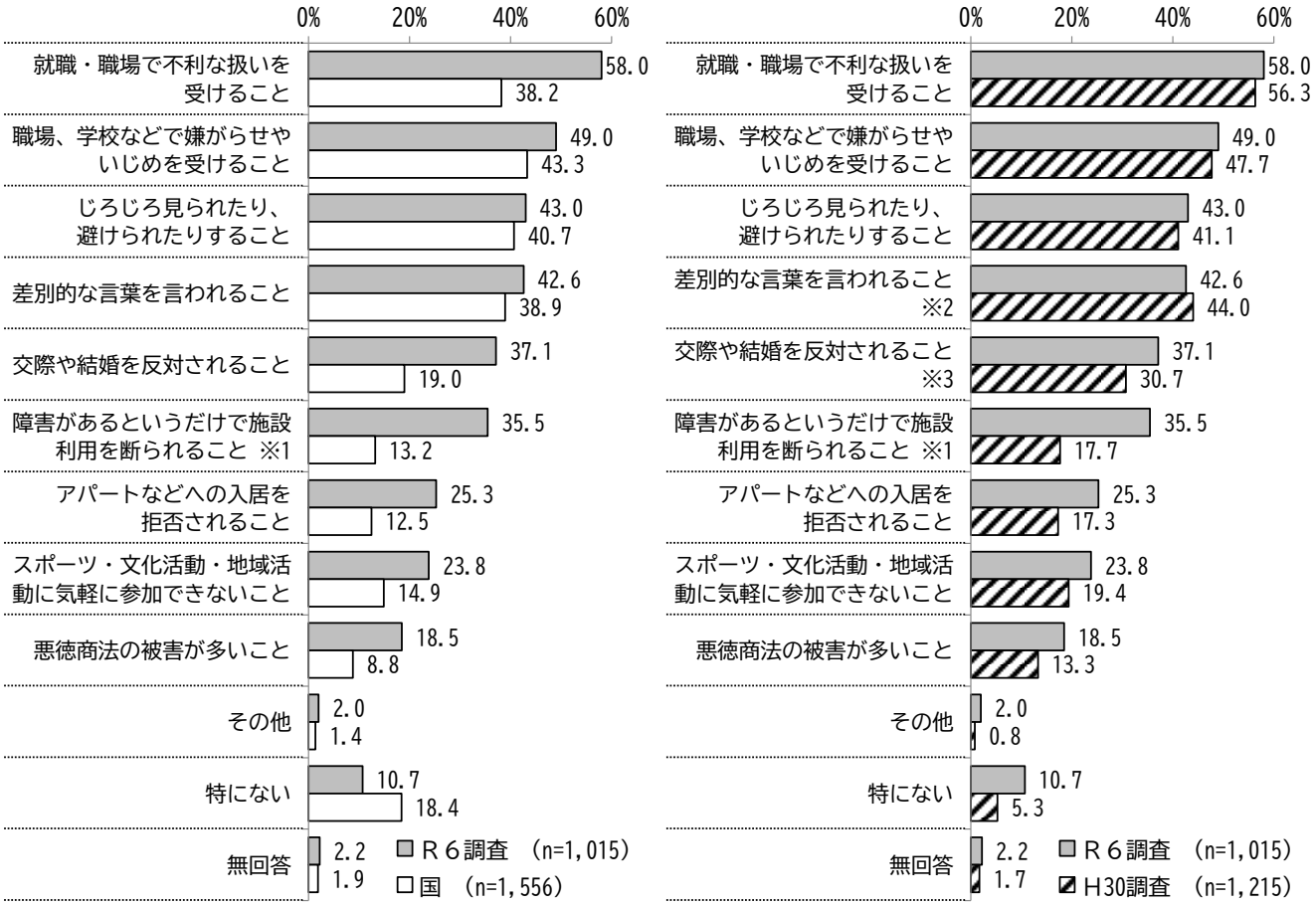
	件数	悪徳商法、特殊詐欺の被害が多いこと	病院での看護や介護施設において劣悪な処遇や虐待を受けること	経済的に自立が困難なこと	働く能力を発揮する機会が少ないこと	高齢者が邪魔者扱いされること	アパートなどへの入居を拒否されること	家庭内での看護や介護において嫌がらせや虐待を受けること	高齢者の意見や行動が尊重されないこと	差別的な言葉を言われること	その他	特にない	無回答
全　体	1,015	682	483	424	355	350	325	304	235	148	15	82	13
	100.0	67.2	47.6	41.8	35.0	34.5	32.0	30.0	23.2	14.6	1.5	8.1	1.3
性別													
男性	478	294	191	181	158	163	133	117	96	60	8	50	5
	100.0	61.5	40.0	37.9	33.1	34.1	27.8	24.5	20.1	12.6	1.7	10.5	1.0
女性	525	379	284	236	192	182	188	180	135	86	7	31	7
	100.0	72.2	54.1	45.0	36.6	34.7	35.8	34.3	25.7	16.4	1.3	5.9	1.3
年齢別													
10歳代	94	54	49	28	22	42	17	39	24	27	－	8	－
	100.0	57.4	52.1	29.8	23.4	44.7	18.1	41.5	25.5	28.7	－	8.5	－
20歳代	62	38	25	23	15	20	15	18	8	12	1	7	－
	100.0	61.3	40.3	37.1	24.2	32.3	24.2	29.0	12.9	19.4	1.6	11.3	－
30歳代	90	50	46	33	29	33	28	35	18	14	1	10	1
	100.0	55.6	51.1	36.7	32.2	36.7	31.1	38.9	20.0	15.6	1.1	11.1	1.1
40歳代	150	101	73	56	54	46	48	47	24	21	1	14	－
	100.0	67.3	48.7	37.3	36.0	30.7	32.0	31.3	16.0	14.0	0.7	9.3	－
50歳代	172	131	94	85	74	71	71	57	42	24	4	6	1
	100.0	76.2	54.7	49.4	43.0	41.3	41.3	33.1	24.4	14.0	2.3	3.5	0.6
60歳代	195	133	92	91	86	66	73	59	52	27	3	14	1
	100.0	68.2	47.2	46.7	44.1	33.8	37.4	30.3	26.7	13.8	1.5	7.2	0.5
70歳代	200	137	85	80	64	69	62	44	55	25	2	16	6
	100.0	68.5	42.5	40.0	32.0	34.5	31.0	22.0	27.5	12.5	1.0	8.0	3.0
80歳以上	96	62	43	42	25	25	21	21	21	13	3	11	3
	100.0	64.6	44.8	43.8	26.0	26.0	21.9	21.9	21.9	13.5	3.1	11.5	3.1

- 性別でみると、「病院での看護や介護施設において劣悪な処遇や虐待を受けること」は女性で有意に高くなっています。
- 年齢別でみると、全体と比べて「悪徳商法、特殊詐欺の被害が多いこと」「アパートなどへの入居を拒否されること」は 50 歳代で、「働く能力を発揮する機会が少ないこと」は 60 歳代で、「差別的な言葉を言われること」は 10 歳代で、それぞれ有意に高くなっています。

３－５　障害者に関する人権問題

問 11　あなたは、障害者に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。あてはまるものすべてを選んでください。

図表 3-5-1 障害者に関する人権問題（国との比較･経年比較）



※1 国調査及び H30 調査では「宿泊施設や公共交通機関の利用、店舗等への入店を拒否されること」。
※2 H30 調査では「差別的な言動をされること」。
※3 H30 調査では「結婚問題で周囲の反対を受けること」。

- 「就職・職場で不利な扱いを受けること」が 58.0%で最も高く、次いで「職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること」が 49.0%となっています。
- 国の調査と比べると、「就職・職場で不利な扱いを受けること」は市で第１位、国で第４位と、市での順位が上になっています。
- 前回調査と比べると、「スポーツ・文化活動・地域活動に気軽に参加できないこと」が順位を下げています（第６位→第８位）。

図表 3-5-2 障害者に関する人権問題（性別・年齢別）

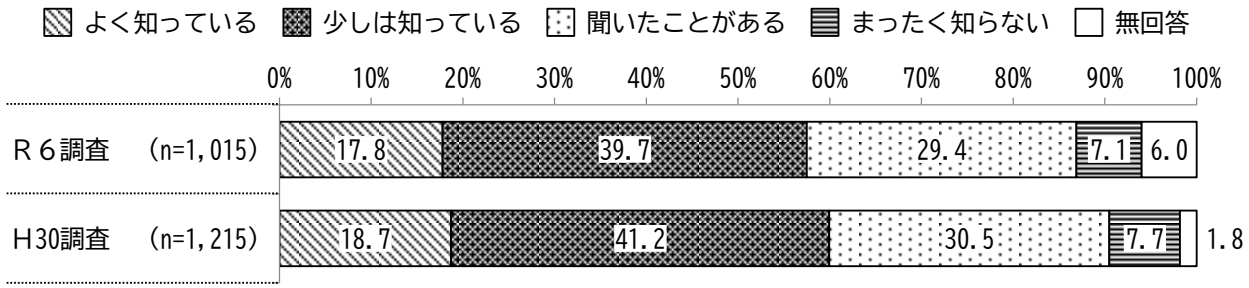
	件数	就職・職場で不利な扱いを受けること	職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること	じろじろ見られたり、避けられたりすること	差別的な言葉を言われること	交際や結婚を反対されること	障害の種類や程度等について考慮されず、障害があるというだけで施設利用を断られること	アパートなどへの入居を拒否されること	スポーツ・文化活動・地域活動に気軽に参加できないこと	悪徳商法の被害が多いこと	その他	特にない	無回答
全　体	1,015	589	497	436	432	377	360	257	242	188	20	109	22
	100.0	58.0	49.0	43.0	42.6	37.1	35.5	25.3	23.8	18.5	2.0	10.7	2.2
性別													
男性	478	271	218	173	183	164	169	103	107	88	6	66	8
	100.0	56.7	45.6	36.2	38.3	34.3	35.4	21.5	22.4	18.4	1.3	13.8	1.7
女性	525	313	274	259	244	209	188	150	131	98	13	42	14
	100.0	59.6	52.2	49.3	46.5	39.8	35.8	28.6	25.0	18.7	2.5	8.0	2.7
年齢別													
10歳代	94	52	58	53	57	32	33	18	27	8	1	11	－
	100.0	55.3	61.7	56.4	60.6	34.0	35.1	19.1	28.7	8.5	1.1	11.7	－
20歳代	62	30	33	32	29	26	21	16	15	12	－	6	－
	100.0	48.4	53.2	51.6	46.8	41.9	33.9	25.8	24.2	19.4	－	9.7	－
30歳代	90	58	53	50	50	36	31	19	18	12	3	6	－
	100.0	64.4	58.9	55.6	55.6	40.0	34.4	21.1	20.0	13.3	3.3	6.7	－
40歳代	150	85	79	71	68	54	43	30	36	28	4	18	－
	100.0	56.7	52.7	47.3	45.3	36.0	28.7	20.0	24.0	18.7	2.7	12.0	－
50歳代	172	105	93	81	70	66	77	60	45	47	3	10	1
	100.0	61.0	54.1	47.1	40.7	38.4	44.8	34.9	26.2	27.3	1.7	5.8	0.6
60歳代	195	115	91	84	82	81	78	53	51	30	3	23	3
	100.0	59.0	46.7	43.1	42.1	41.5	40.0	27.2	26.2	15.4	1.5	11.8	1.5
70歳代	200	119	83	61	69	72	70	48	45	32	3	23	10
	100.0	59.5	41.5	30.5	34.5	36.0	35.0	24.0	22.5	16.0	1.5	11.5	5.0
80歳以上	96	51	34	28	33	26	24	23	17	23	3	17	8
	100.0	53.1	35.4	29.2	34.4	27.1	25.0	24.0	17.7	24.0	3.1	17.7	8.3

- 性別でみると、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」は女性で有意に高くなっています。
- 年齢別でみると、20 歳代以下では「職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること」が最も高くなっています。また、全体と比べると、「差別的な言葉を言われること」は 10 歳代で、「アパートなどへの入居を拒否されること」「悪徳商法の被害が多いこと」は 50 歳代で、それぞれ有意に高くなっています。

３－６　同和問題に関する人権問題

問 12　あなたは、日本の社会に「同和地区」とか「被差別部落」とよばれるところがあり、そこの出身であるとか、そこに住んでいるというだけの理由で差別される社会問題を知っていますか。あてはまるものを１つだけ選んでください。

図表 3-6-1 同和問題の周知度（経年比較）



- 同和問題の周知度は、『知っている』が 86.9%となっています。
- 前回調査と比べると、『知っている』は約４ポイント減少しています。

※『知っている』は、「よく知っている」「少しは知っている」「聞いたことがある」の合計。

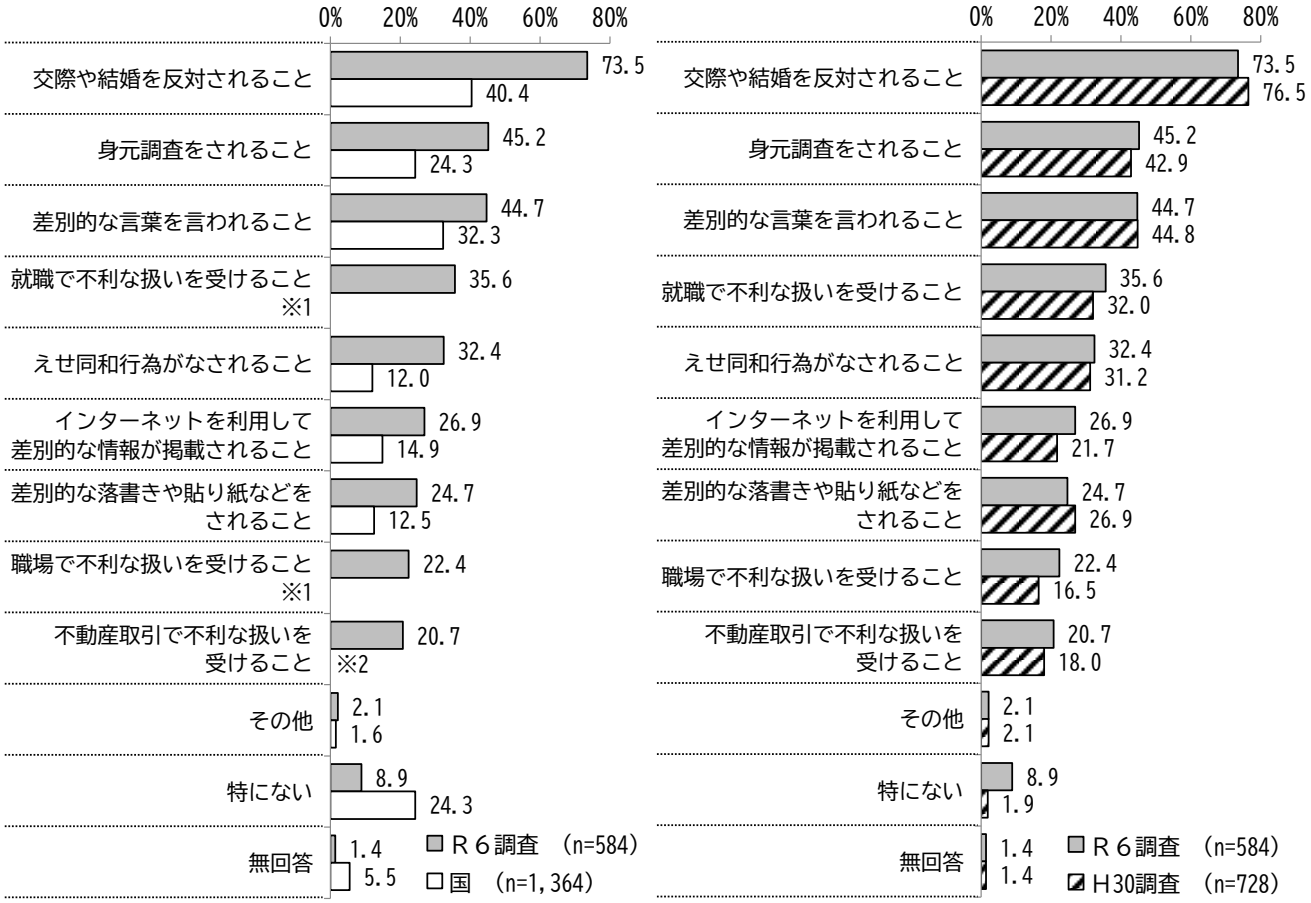
図表 3-6-2 同和問題の周知度（性別・年齢別）

	件数	よく知っている	少しは知っている	聞いたことがある	まったく知らない	無回答
全　体	1,015	181	403	298	72	61
	100.0	17.8	39.7	29.4	7.1	6.0
性別						
男性	478	103	184	125	38	28
	100.0	21.5	38.5	26.2	7.9	5.9
女性	525	78	213	168	33	33
	100.0	14.9	40.6	32.0	6.3	6.3
年齢別						
10歳代	94	13	50	23	6	2
	100.0	13.8	53.2	24.5	6.4	2.1
20歳代	62	7	22	24	6	3
	100.0	11.3	35.5	38.7	9.7	4.8
30歳代	90	9	28	27	18	8
	100.0	10.0	31.1	30.0	20.0	8.9
40歳代	150	23	59	51	8	9
	100.0	15.3	39.3	34.0	5.3	6.0
50歳代	172	34	70	50	8	10
	100.0	19.8	40.7	29.1	4.7	5.8
60歳代	195	47	86	51	5	6
	100.0	24.1	44.1	26.2	2.6	3.1
70歳代	200	33	78	55	17	17
	100.0	16.5	39.0	27.5	8.5	8.5
80歳以上	96	19	34	28	8	7
	100.0	19.8	35.4	29.2	8.3	7.3

- 年齢別でみると、20 歳代では「聞いたことがある」が最も高くなっています。また、全体と比べると、「まったく知らない」は 30 歳代で有意に高くなっています。

問 12－１　あなたは、部落差別・同和問題に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。あてはまるものすべてを選んでください。

図表 3-6-3 同和問題に関する人権問題（国との比較･経年比較）



※1「就職で不利な扱いを受けること」「職場で不利な扱いを受けること」は、国調査では「就職・職場で不利な扱いを受けること」(27.5%)。
※2「不動産取引で不利な扱いを受けること」は市調査のみ。

- 同和問題に関する人権問題は、「交際や結婚を反対されること」が 73.5%で最も高く、次いで「身元調査をされること」が 45.2%となっています。
- 国の調査と比べると、「身元調査をされること」は市で第２位、国で第４位と、市での順位が上になっています。また、「特にない」が国より約 15 ポイント低く、「特にない」を除くすべての項目で市の回答率が国より高くなっています。
- 前回調査と比べると、「インターネットを利用して差別的な情報が掲載されること」「職場で不利な扱いを受けること」がともに５ポイント以上増加し、それぞれ順位を上げています。

図表 3-6-4 同和問題に関する人権問題（性別・年齢別）

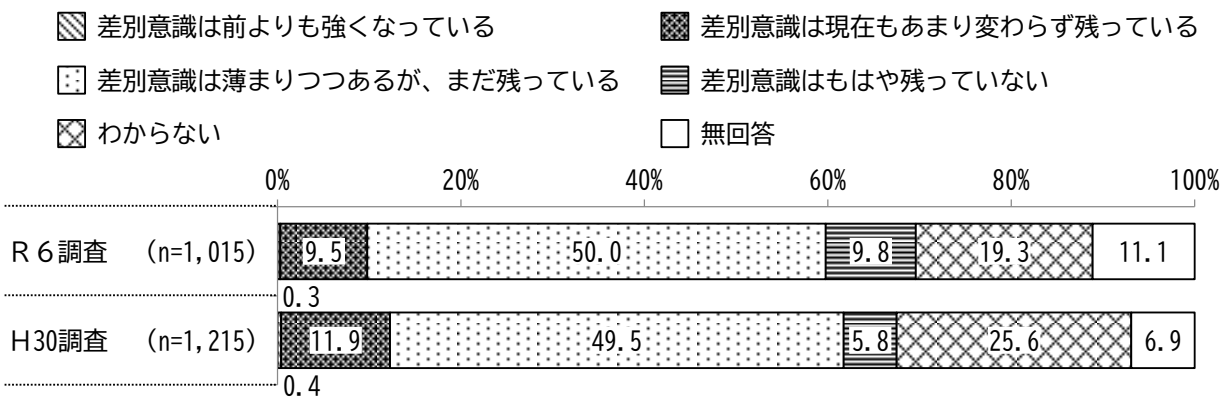
	件数	交際や結婚を反対されること	身元調査をされること	差別的な言葉を言われること	就職で不利な扱いを受けること	えせ同和行為がなされること	インターネットを利用して差別的な情報が掲載されること	差別的な落書きや貼り紙などをされること	職場で不利な扱いを受けること	不動産取引で不利な扱いを受けること	その他	特にない	無回答
全　体	584	429	264	261	208	189	157	144	131	121	12	52	8
	100.0	73.5	45.2	44.7	35.6	32.4	26.9	24.7	22.4	20.7	2.1	8.9	1.4
性別													
男性	287	206	121	133	98	105	79	59	54	50	5	23	3
	100.0	71.8	42.2	46.3	34.1	36.6	27.5	20.6	18.8	17.4	1.7	8.0	1.0
女性	291	219	140	126	108	82	77	84	77	71	6	28	5
	100.0	75.3	48.1	43.3	37.1	28.2	26.5	28.9	26.5	24.4	2.1	9.6	1.7
年齢別													
10歳代	63	48	20	39	28	7	24	21	22	14	－	7	－
	100.0	76.2	31.7	61.9	44.4	11.1	38.1	33.3	34.9	22.2	－	11.1	－
20歳代	29	20	11	12	8	8	10	8	6	6	1	4	－
	100.0	69.0	37.9	41.4	27.6	27.6	34.5	27.6	20.7	20.7	3.4	13.8	－
30歳代	37	31	17	22	15	7	12	14	9	9	1	2	－
	100.0	83.8	45.9	59.5	40.5	18.9	32.4	37.8	24.3	24.3	2.7	5.4	－
40歳代	82	58	36	37	31	29	27	21	18	25	1	10	－
	100.0	70.7	43.9	45.1	37.8	35.4	32.9	25.6	22.0	30.5	1.2	12.2	－
50歳代	104	79	43	43	38	41	36	30	26	23	4	6	1
	100.0	76.0	41.3	41.3	36.5	39.4	34.6	28.8	25.0	22.1	3.8	5.8	1.0
60歳代	133	93	68	62	50	45	38	31	31	29	3	12	3
	100.0	69.9	51.1	46.6	37.6	33.8	28.6	23.3	23.3	21.8	2.3	9.0	2.3
70歳代	111	85	56	39	35	39	13	16	23	17	1	6	3
	100.0	76.6	50.5	35.1	31.5	35.1	11.7	14.4	20.7	15.3	0.9	5.4	2.7
80歳以上	53	36	18	23	15	18	7	10	7	6	1	9	1
	100.0	67.9	34.0	43.4	28.3	34.0	13.2	18.9	13.2	11.3	1.9	17.0	1.9

- 年齢別でみると、「差別的な言葉を言われること」は 10 歳代で有意に高くなっています。

３－７　同和問題に関する差別意識の現状

問 13　あなたは、同和地区や同和地区の人に対する差別意識が、現状はどのようになっていると思いますか。あてはまるものを１つだけ選んでください。

図表 3-7-1 同和問題に関する差別意識の現状（経年比較）



- 「差別意識は薄まりつつあるが、まだ残っている」が 50.0%で最も高く、次いで「わからない」が 19.3%、「差別意識はもはや残っていない」が 9.8%となっています。
- 前回調査と比べると、「わからない」が約６ポイント減少し、「差別意識はもはや残っていない」が４ポイント増加しています。

図表 3-7-2 同和問題に関する差別意識の現状（性別・年齢別）

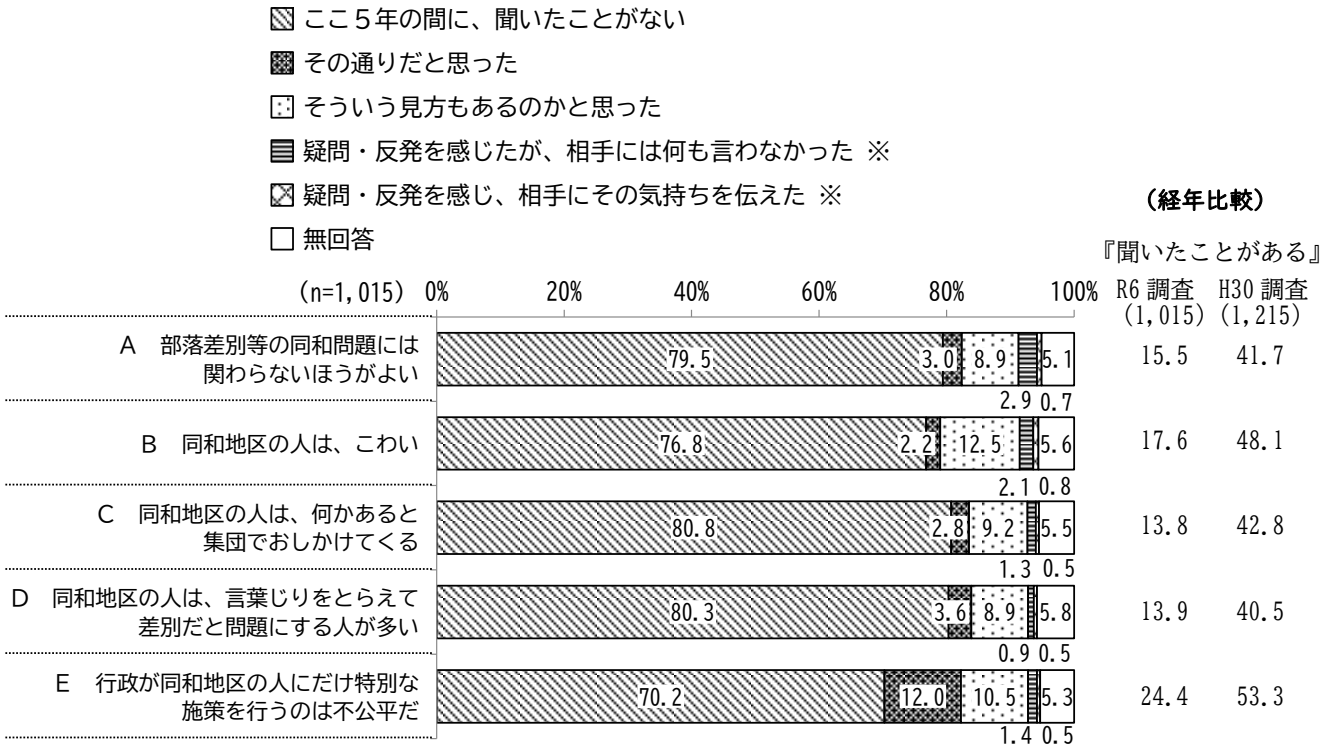
	件数	差別意識は前よりも強くなっている	差別意識は現在もあまり変わらず残っている	差別意識は薄まりつつあるが、まだ残っている	差別意識はもはや残っていない	わからない	無回答
全　体	1,015	3	96	508	99	196	113
	100.0	0.3	9.5	50.0	9.8	19.3	11.1
性別							
男性	478	2	48	241	51	80	56
	100.0	0.4	10.0	50.4	10.7	16.7	11.7
女性	525	1	47	265	46	111	55
	100.0	0.2	9.0	50.5	8.8	21.1	10.5
年齢別							
10歳代	94	－	11	40	14	18	11
	100.0	－	11.7	42.6	14.9	19.1	11.7
20歳代	62	1	7	29	11	9	5
	100.0	1.6	11.3	46.8	17.7	14.5	8.1
30歳代	90	－	12	42	5	23	8
	100.0	－	13.3	46.7	5.6	25.6	8.9
40歳代	150	－	17	70	22	28	13
	100.0	－	11.3	46.7	14.7	18.7	8.7
50歳代	172	2	22	91	14	32	11
	100.0	1.2	12.8	52.9	8.1	18.6	6.4
60歳代	195	－	19	108	13	31	24
	100.0	－	9.7	55.4	6.7	15.9	12.3
70歳代	200	－	13	98	17	38	34
	100.0	－	6.5	49.0	8.5	19.0	17.0
80歳以上	96	－	3	49	10	21	13
	100.0	－	3.1	51.0	10.4	21.9	13.5

- 年齢別でみると、「差別意識はもはや残っていない」は 20 歳代で、「わからない」は 30 歳代でそれぞれ若干高くなっています。

３－８　同和問題について聞いた内容と聞いた時の対応

問 14　あなたは、ここ５年の間に、日常生活の中で部落差別等の同和問題について、次のようなことを聞いたことがありますか。そのときに、あなたはどのように思いましたか。また、どうしましたか。Ａ～Ｅのそれぞれについて、あてはまるものを１つずつ選んでください。

図表 3-8-1 同和問題について聞いた内容と聞いた時の対応



※H30 調査では「疑問に思った」「反発を感じた」の２項目。

- ここ５年の間に『聞いたことがある』は、「Ｅ」で 24.4%と最も高く、次いで「Ｂ」で 17.6%となっています。また、「その通りだと思った」は「Ｅ」で 12.0%と最も高くなっています。
- 前回調査と比べると、『聞いたことがある』はすべての項目で減少しています。

※『聞いたことがある』は、「その通りだと思った」「そういう見方もあるのかと思った」「疑問・反発を感じたが、相手には何も言わなかった」「疑問・反発を感じ、相手にその気持ちを伝えた」の合計。

図表 3-8-2 同和問題について聞いた内容と聞いた時の対応（性別・年齢別）

		A　部落差別等の同和問題には関わらないほうがよい						B　同和地区の人は、こわい					
	件数	ここ5年の間に、聞いたことがない	その通りだと思った	そういう見方もあるのかと思った	疑問・反発を感じたが、相手には何も言わなかった	疑問・反発を感じ、相手にその気持ちを伝えた	無回答	ここ5年の間に、聞いたことがない	その通りだと思った	そういう見方もあるのかと思った	疑問・反発を感じたが、相手には何も言わなかった	疑問・反発を感じ、相手にその気持ちを伝えた	無回答
全　体	1,015	807	30	90	29	7	52	780	22	127	21	8	57
	100.0	79.5	3.0	8.9	2.9	0.7	5.1	76.8	2.2	12.5	2.1	0.8	5.6
【性別】													
男性	478	381	16	44	14	4	19	369	10	62	13	5	19
	100.0	79.7	3.3	9.2	2.9	0.8	4.0	77.2	2.1	13.0	2.7	1.0	4.0
女性	525	416	14	45	15	3	32	403	12	63	8	3	36
	100.0	79.2	2.7	8.6	2.9	0.6	6.1	76.8	2.3	12.0	1.5	0.6	6.9
【年齢別】													
10歳代	94	80	－	9	4	－	1	91	－	1	－	1	1
	100.0	85.1	－	9.6	4.3	－	1.1	96.8	－	1.1	－	1.1	1.1
20歳代	62	55	3	1	2	1	－	52	2	4	3	1	－
	100.0	88.7	4.8	1.6	3.2	1.6	－	83.9	3.2	6.5	4.8	1.6	－
30歳代	90	74	1	11	3	1	－	78	－	10	2	－	－
	100.0	82.2	1.1	12.2	3.3	1.1	－	86.7	－	11.1	2.2	－	－
40歳代	150	129	5	11	3	2	－	120	5	16	4	3	2
	100.0	86.0	3.3	7.3	2.0	1.3	－	80.0	3.3	10.7	2.7	2.0	1.3
50歳代	172	146	6	14	2	1	3	135	5	26	3	－	3
	100.0	84.9	3.5	8.1	1.2	0.6	1.7	78.5	2.9	15.1	1.7	－	1.7
60歳代	195	153	7	18	7	1	9	150	6	23	6	3	7
	100.0	78.5	3.6	9.2	3.6	0.5	4.6	76.9	3.1	11.8	3.1	1.5	3.6
70歳代	200	149	5	20	5	1	20	141	3	29	2	－	25
	100.0	74.5	2.5	10.0	2.5	0.5	10.0	70.5	1.5	14.5	1.0	－	12.5
80歳以上	96	61	3	10	4	－	18	58	1	18	1	－	18
	100.0	63.5	3.1	10.4	4.2	－	18.8	60.4	1.0	18.8	1.0	－	18.8

		C　同和地区の人は、何かあると集団でおしかけてくる						D　同和地区の人は、言葉じりをとらえて差別だと問題にする人が多い					
	件数	ここ5年の間に、聞いたことがない	その通りだと思った	そういう見方もあるのかと思った	疑問・反発を感じたが、相手には何も言わなかった	疑問・反発を感じ、相手にその気持ちを伝えた	無回答	ここ5年の間に、聞いたことがない	その通りだと思った	そういう見方もあるのかと思った	疑問・反発を感じたが、相手には何も言わなかった	疑問・反発を感じ、相手にその気持ちを伝えた	無回答
全　体	1,015	820	28	93	13	5	56	815	37	90	9	5	59
	100.0	80.8	2.8	9.2	1.3	0.5	5.5	80.3	3.6	8.9	0.9	0.5	5.8
【性別】													
男性	478	387	14	45	7	3	22	382	24	41	5	4	22
	100.0	81.0	2.9	9.4	1.5	0.6	4.6	79.9	5.0	8.6	1.0	0.8	4.6
女性	525	424	14	47	6	2	32	424	13	48	4	1	35
	100.0	80.8	2.7	9.0	1.1	0.4	6.1	80.8	2.5	9.1	0.8	0.2	6.7
【年齢別】													
10歳代	94	90	－	3	－	－	1	88	1	4	－	－	1
	100.0	95.7	－	3.2	－	－	1.1	93.6	1.1	4.3	－	－	1.1
20歳代	62	56	1	2	2	1	－	56	2	2	1	1	－
	100.0	90.3	1.6	3.2	3.2	1.6	－	90.3	3.2	3.2	1.6	1.6	－
30歳代	90	81	1	8	－	－	－	82	1	6	1	－	－
	100.0	90.0	1.1	8.9	－	－	－	91.1	1.1	6.7	1.1	－	－
40歳代	150	127	5	12	2	3	1	126	6	16	－	1	1
	100.0	84.7	3.3	8.0	1.3	2.0	0.7	84.0	4.0	10.7	－	0.7	0.7
50歳代	172	145	4	19	1	－	3	145	11	13	－	－	3
	100.0	84.3	2.3	11.0	0.6	－	1.7	84.3	6.4	7.6	－	－	1.7
60歳代	195	161	4	18	4	1	7	154	10	17	4	3	7
	100.0	82.6	2.1	9.2	2.1	0.5	3.6	79.0	5.1	8.7	2.1	1.5	3.6
70歳代	200	150	7	19	1	－	23	146	8	22	1	－	23
	100.0	75.0	3.5	9.5	0.5	－	11.5	73.0	4.0	11.0	0.5	－	11.5
80歳以上	96	55	6	12	3	－	20	59	－	12	2	－	23
	100.0	57.3	6.3	12.5	3.1	－	20.8	61.5	－	12.5	2.1	－	24.0

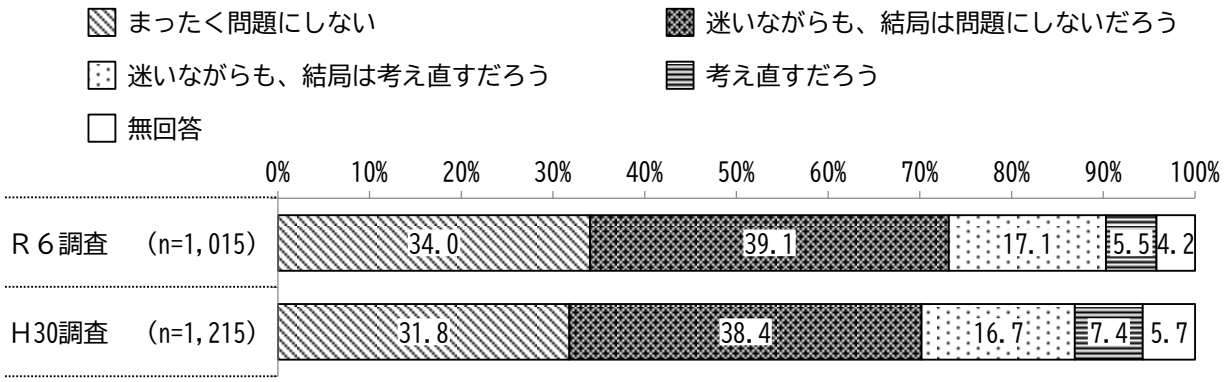
		E　行政が同和地区の人にだけ特別な施策を行うのは不公平だ					
	件数	ここ５年の間に、聞いたことがない	その通りだと思った	そういう見方もあるのかと思った	疑問・反発を感じたが、相手には何も言わなかった	疑問・反発を感じ、相手にその気持ちを伝えた	無回答
全　体	1,015	713	122	107	14	5	54
	100.0	70.2	12.0	10.5	1.4	0.5	5.3
【性別】							
男性	478	325	68	55	7	4	19
	100.0	68.0	14.2	11.5	1.5	0.8	4.0
女性	525	380	52	51	7	1	34
	100.0	72.4	9.9	9.7	1.3	0.2	6.5
【年齢別】							
10歳代	94	88	2	2	1	－	1
	100.0	93.6	2.1	2.1	1.1	－	1.1
20歳代	62	54	3	3	1	1	－
	100.0	87.1	4.8	4.8	1.6	1.6	－
30歳代	90	78	5	6	1	－	－
	100.0	86.7	5.6	6.7	1.1	－	－
40歳代	150	113	20	14	1	1	1
	100.0	75.3	13.3	9.3	0.7	0.7	0.7
50歳代	172	124	17	26	2	－	3
	100.0	72.1	9.9	15.1	1.2	－	1.7
60歳代	195	134	25	18	7	3	8
	100.0	68.7	12.8	9.2	3.6	1.5	4.1
70歳代	200	123	29	27	－	－	21
	100.0	61.5	14.5	13.5	－	－	10.5
80歳以上	96	43	20	12	1	－	20
	100.0	44.8	20.8	12.5	1.0	－	20.8

- 年齢別でみると、すべての項目で「ここ５年の間に、聞いたことがない」は 30 歳代以下で概ね高く、70 歳代以上で概ね低くなっています。また、「ここ５年の間に、聞いたことがない」は「Ｂ」「Ｃ」「Ｄ」では 10 歳代で、「Ｅ」では 30 歳代以下で、「その通りだと思った」は「Ｅ」では 80 歳以上で、「疑問・反発を感じたが、相手には何も言わなかった」は「Ｅ」では 60 歳代で、「疑問・反発を感じ、相手にその気持ちを伝えた」は「Ｃ」では 40 歳代で、それぞれ有意に高くなっています。

３－９　結婚希望相手が同和地区出身者だとわかった場合の対応

問 15　あなたは、恋愛をし結婚したいと思っている相手が同和地区の人だとわかった場合、あなたはどんな態度をとると思いますか。あてはまるものを１つだけ選んでください。

図表 3-9-1 結婚希望相手が同和地区出身者だとわかった場合の対応（経年比較）



- 「迷いながらも、結局は問題にしないだろう」が 39.1%で最も高く、次いで「まったく問題にしない」が 34.0%となっています。
- 前回調査と比べると、「まったく問題にしない」が 2.2 ポイント増加し、「考え直すだろう」が 1.9 ポイント減少しています。

図表 3-9-2 結婚希望相手が同和地区出身者だとわかった場合の対応（性別・年齢別）

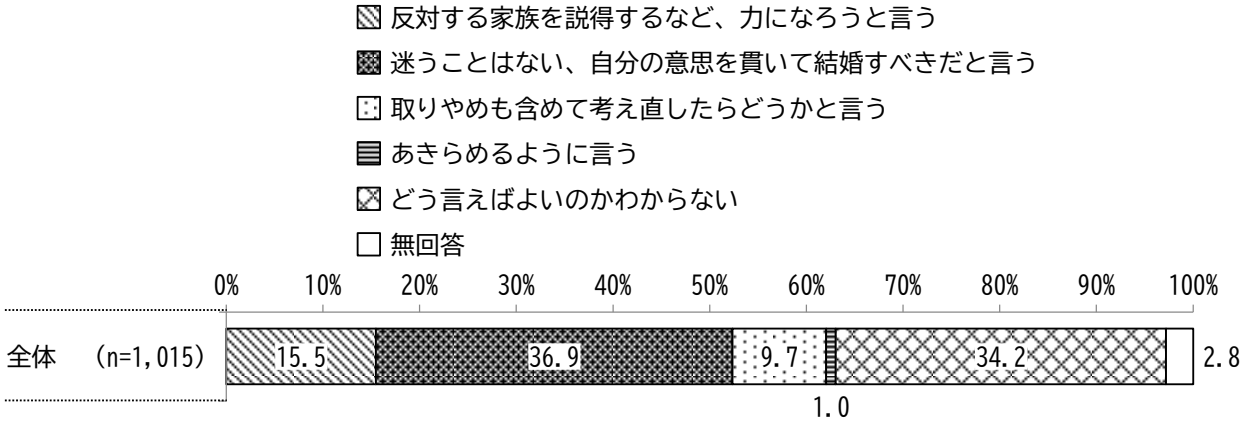
	件数	まったく問題にしないだろう	迷いながらも、結局は問題にしないだろう	迷いながらも、結局は考え直すだろう	考え直すだろう	無回答
全　体	1,015	345	397	174	56	43
	100.0	34.0	39.1	17.1	5.5	4.2
性別						
男性	478	183	177	74	27	17
	100.0	38.3	37.0	15.5	5.6	3.6
女性	525	160	213	99	28	25
	100.0	30.5	40.6	18.9	5.3	4.8
年齢別						
10歳代	94	73	18	2	－	1
	100.0	77.7	19.1	2.1	－	1.1
20歳代	62	38	19	4	1	－
	100.0	61.3	30.6	6.5	1.6	－
30歳代	90	41	30	15	3	1
	100.0	45.6	33.3	16.7	3.3	1.1
40歳代	150	56	57	32	5	－
	100.0	37.3	38.0	21.3	3.3	－
50歳代	172	53	72	31	9	7
	100.0	30.8	41.9	18.0	5.2	4.1
60歳代	195	55	83	38	12	7
	100.0	28.2	42.6	19.5	6.2	3.6
70歳代	200	45	95	32	17	11
	100.0	22.5	47.5	16.0	8.5	5.5
80歳以上	96	23	28	21	9	15
	100.0	24.0	29.2	21.9	9.4	15.6

- 性別でみると、男性では「まったく問題にしない」が最も高くなっています。
- 年齢別でみると、30 歳代以下では「まったく問題にしない」が最も高くなっています。また、全体と比べると、「まったく問題にしない」は 20 歳代以下で、「迷いながらも、結局は問題にしないだろう」は 70 歳代でそれぞれ有意に高く、「まったく問題にしない」は年齢が高いほど割合が概ね低くなっています。

３－10　親戚から同和地区出身者との結婚について相談を受けた場合の対応 ・・・・・・・・・・・・

問 16　相手が同和地区の人であるということを理由に、家族から結婚を反対されている親戚がいるとします。あなたがその方から相談を受けた場合、どのような態度をとると思いますか。最も考えに近い番号を１つだけ選んでください。

図表 3-10-1 親戚から同和地区出身者との結婚について相談を受けた場合の対応



- 「迷うことはない、自分の意思を貫いて結婚すべきだと言う」が 36.9%で最も高く、次いで「どう言えばよいのかわからない」が 34.2%、「反対する家族を説得するなど、力になろうと言う」が 15.5%となっています。

図表 3-10-2 親戚から同和地区出身者との結婚について相談を受けた場合の対応（性別・年齢別）

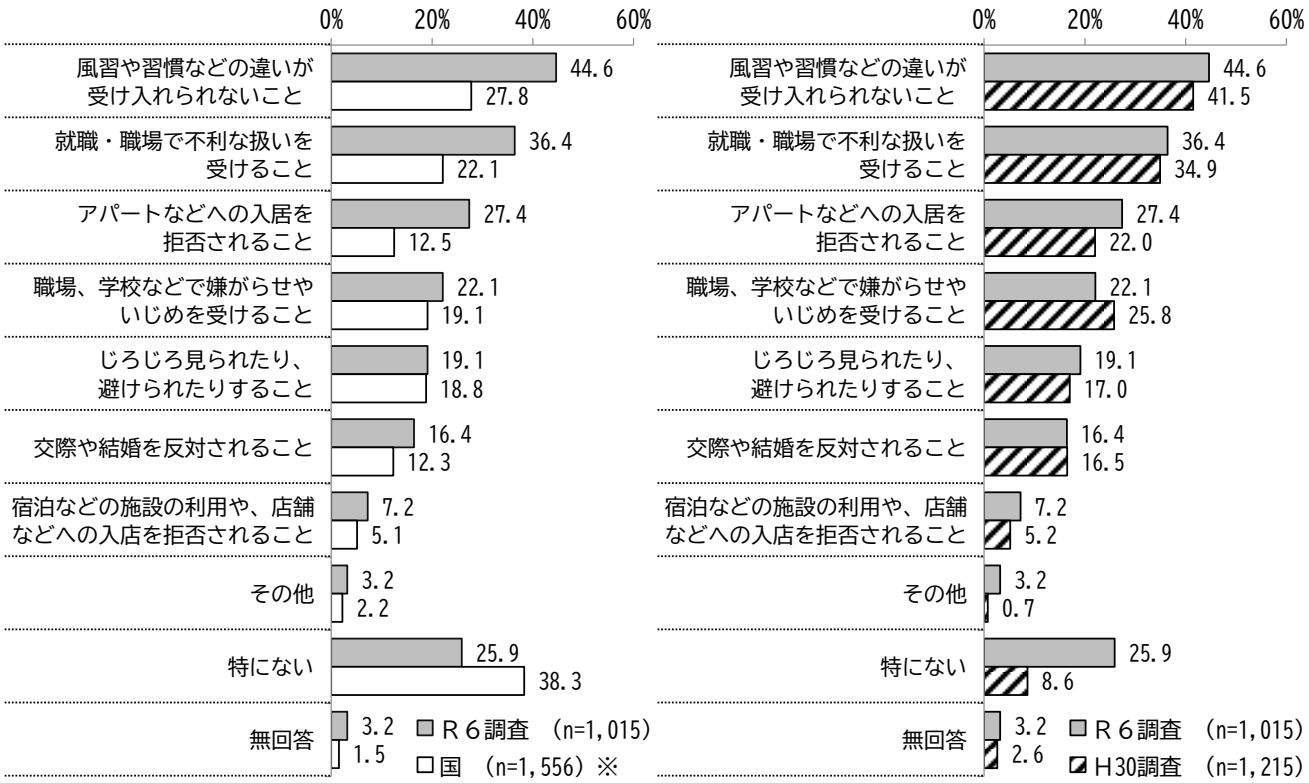
	件数	反対する家族を説得するなど、力になろうと言う	迷うことはない、自分の意思を貫いて結婚すべきだと言う	取りやめも含めて考え直したらどうかと言う	あきらめるように言う	どう言えばよいのかわからない	無回答
全　体	1,015	157	375	98	10	347	28
	100.0	15.5	36.9	9.7	1.0	34.2	2.8
性別							
男性	478	81	201	51	6	122	17
	100.0	16.9	42.1	10.7	1.3	25.5	3.6
女性	525	75	169	47	4	219	11
	100.0	14.3	32.2	9.0	0.8	41.7	2.1
年齢別							
10歳代	94	29	49	1	1	14	－
	100.0	30.9	52.1	1.1	1.1	14.9	－
20歳代	62	20	32	3	－	7	－
	100.0	32.3	51.6	4.8	－	11.3	－
30歳代	90	21	27	7	－	34	1
	100.0	23.3	30.0	7.8	－	37.8	1.1
40歳代	150	32	48	13	3	53	1
	100.0	21.3	32.0	8.7	2.0	35.3	0.7
50歳代	172	24	59	18	1	67	3
	100.0	14.0	34.3	10.5	0.6	39.0	1.7
60歳代	195	21	75	25	1	69	4
	100.0	10.8	38.5	12.8	0.5	35.4	2.1
70歳代	200	20	77	16	3	75	9
	100.0	10.0	38.5	8.0	1.5	37.5	4.5
80歳以上	96	7	30	15	2	32	10
	100.0	7.3	31.3	15.6	2.1	33.3	10.4

- 性別でみると、「どう言えばよいのかわからない」は女性で最も高く、全体と比べても女性で有意に高くなっています。
- 年齢別でみると、30 歳代～50 歳代及び 80 歳以上では「どう言えばよいのかわからない」が最も高くなっています。また、全体と比べると、「反対する家族を説得するなど、力になろうと言う」は 20 歳代以下で、「迷うことはない、自分の意思を貫いて結婚すべきだと言う」は 10 歳代で、それぞれ有意に高くなっています。

３－11　外国人に関する人権問題

問 17　あなたは、日本に居住している外国人に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。あてはまるものすべてを選んでください。

図表 3-11-1 外国人に関する人権問題（国との比較･経年比較）



※国調査ではこの他に「差別的な言葉を言われること」が 19.5%（第３位）。

- 「風習や習慣などの違いが受け入れられないこと」が 44.6%で最も高く、次いで「就職・職場で不利な扱いを受けること」が 36.4%、「アパートなどへの入居を拒否されること」が 27.4%となっています。
- 国の調査と比べると､「アパートなどへの入居を拒否されること」は市で第３位､国で第６位と、市での順位が上になっています。
- 前回調査と比べると､「アパートなどへの入居を拒否されること」が約５ポイント増加し順位を上げています。また､「特にない」が約 17 ポイント増加しています。

図表 3-11-2 外国人に関する人権問題（性別・年齢別）

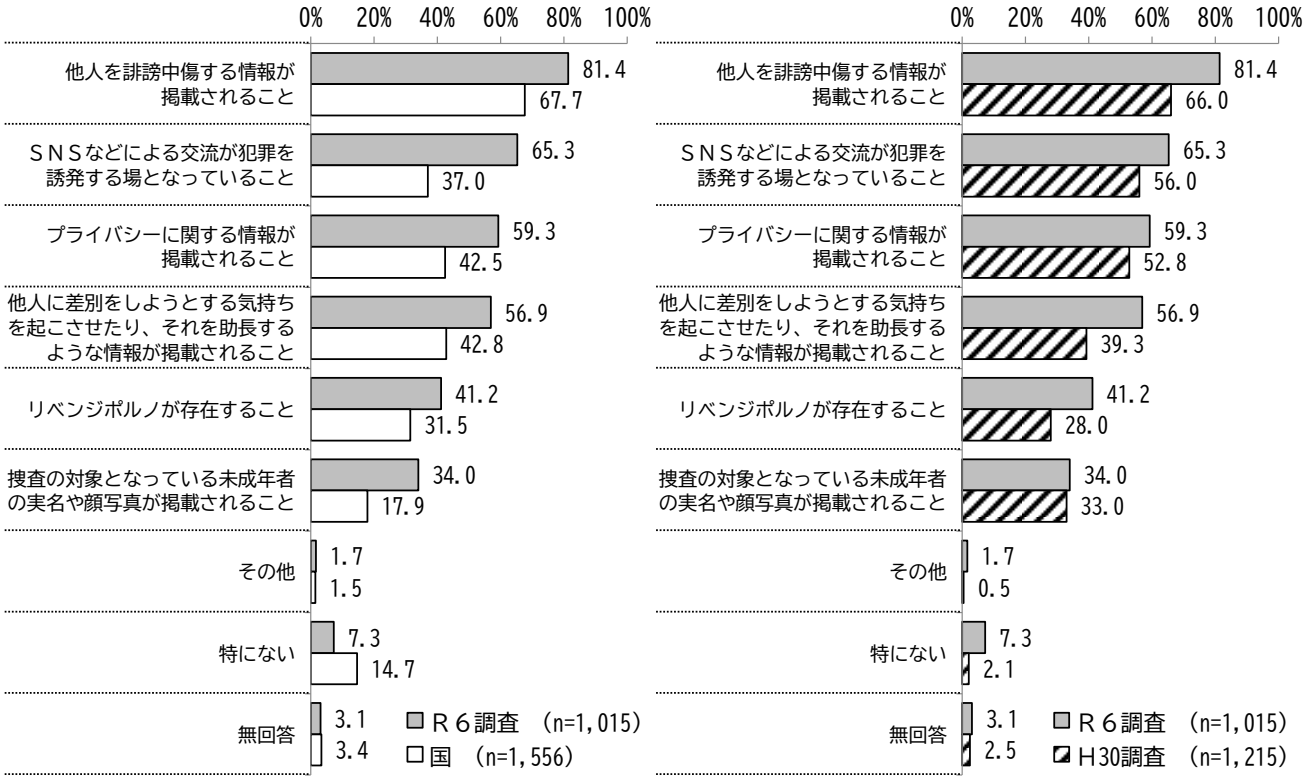
	件数	風習や習慣などの違いが受け入れられないこと	就職・職場で不利な扱いを受けること	アパートなどへの入居を拒否されること	職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること	じろじろ見られたり、避けられたりすること	交際や結婚を反対されること	宿泊などの施設の利用や、店舗などへの入店を拒否されること	その他	特にない	無回答
全　体	1,015	453	369	278	224	194	166	73	32	263	32
	100.0	44.6	36.4	27.4	22.1	19.1	16.4	7.2	3.2	25.9	3.2
性別											
男性	478	206	164	122	98	91	74	37	15	130	16
	100.0	43.1	34.3	25.5	20.5	19.0	15.5	7.7	3.1	27.2	3.3
女性	525	242	200	153	124	101	90	34	15	129	16
	100.0	46.1	38.1	29.1	23.6	19.2	17.1	6.5	2.9	24.6	3.0
10歳代	94	50	42	19	22	32	19	13	1	19	－
	100.0	53.2	44.7	20.2	23.4	34.0	20.2	13.8	1.1	20.2	－
20歳代	62	25	22	11	22	17	7	4	1	17	－
	100.0	40.3	35.5	17.7	35.5	27.4	11.3	6.5	1.6	27.4	－
30歳代	90	46	34	23	16	19	12	8	4	25	－
	100.0	51.1	37.8	25.6	17.8	21.1	13.3	8.9	4.4	27.8	－
40歳代	150	80	52	49	43	35	27	15	3	30	－
	100.0	53.3	34.7	32.7	28.7	23.3	18.0	10.0	2.0	20.0	－
50歳代	172	83	67	58	48	36	32	13	7	37	4
	100.0	48.3	39.0	33.7	27.9	20.9	18.6	7.6	4.1	21.5	2.3
60歳代	195	88	72	59	38	32	31	11	6	48	7
	100.0	45.1	36.9	30.3	19.5	16.4	15.9	5.6	3.1	24.6	3.6
70歳代	200	75	71	43	33	22	32	7	6	61	9
	100.0	37.5	35.5	21.5	16.5	11.0	16.0	3.5	3.0	30.5	4.5
80歳以上	96	26	28	24	16	15	15	9	5	34	12
	100.0	27.1	29.2	25.0	16.7	15.6	15.6	9.4	5.2	35.4	12.5

- 年齢別でみると、80 歳以上では「特にない」が最も高くなっています。また、全体と比べると、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」は 10 歳代で有意に高くなっています。

３－12　インターネットによる人権侵害に関する人権問題

問 18　あなたは、インターネットによる人権侵害に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。あてはまるものすべてを選んでください。

図表 3-12-1 インターネットによる人権侵害に関する人権問題（国との比較・経年比較）



- 「他人を誹謗中傷する情報が掲載されること」が 81.4%で最も高く、次いで「ＳＮＳなどによる交流が犯罪を誘発する場となっていること」が 65.3%となっています。
- 国の調査と比べると、「ＳＮＳなどによる交流が犯罪を誘発する場となっていること」は市で第２位、国で第４位と、市での順位が上になっています。
- 前回調査と比べると、すべての項目で回答率が増加しており、特に「他人を誹謗中傷する情報が掲載されること」「他人に差別をしようとする気持ちを起こさせたり、それを助長するような情報が掲載されること」「リベンジポルノが存在すること」はいずれも 10 ポイント以上増加しています。

図表 3-12-2 インターネットによる人権侵害に関する人権問題（性別・年齢別）

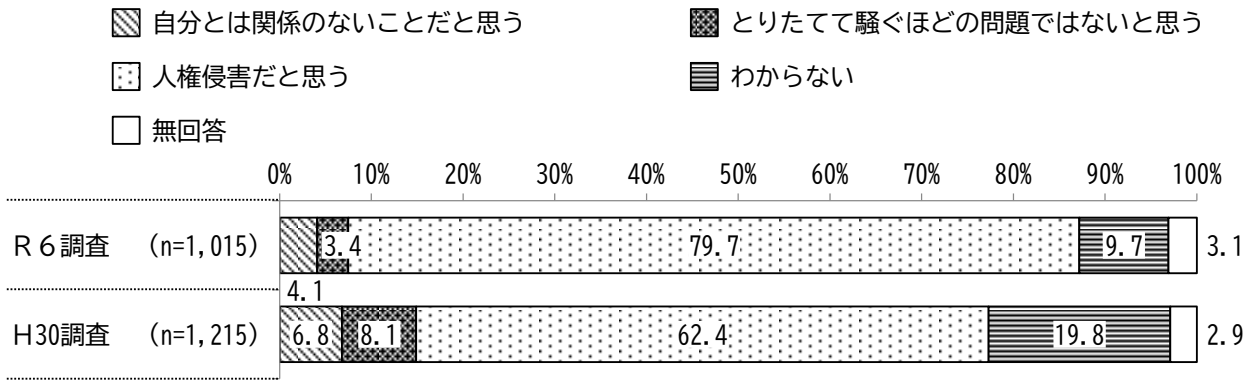
	件数	他人を誹謗中傷する情報が掲載されること	ＳＮＳなどによる交流が犯罪を誘発する場となっていること	プライバシーに関する情報が掲載されること	他人に差別をしようとする気持ちを起こさせたり、それを助長するような情報が掲載されること	リベンジポルノが存在すること	捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真が掲載されること	その他	特にない	無回答
全　体	1,015	826	663	602	578	418	345	17	74	31
	100.0	81.4	65.3	59.3	56.9	41.2	34.0	1.7	7.3	3.1
性別										
男性	478	385	297	271	260	180	141	6	38	12
	100.0	80.5	62.1	56.7	54.4	37.7	29.5	1.3	7.9	2.5
女性	525	431	358	322	309	232	196	11	35	18
	100.0	82.1	68.2	61.3	58.9	44.2	37.3	2.1	6.7	3.4
年齢別										
10歳代	94	85	62	66	56	37	35	1	－	3
	100.0	90.4	66.0	70.2	59.6	39.4	37.2	1.1	－	3.2
20歳代	62	58	37	45	42	31	23	3	1	－
	100.0	93.5	59.7	72.6	67.7	50.0	37.1	4.8	1.6	－
30歳代	90	75	63	57	60	42	32	3	8	1
	100.0	83.3	70.0	63.3	66.7	46.7	35.6	3.3	8.9	1.1
40歳代	150	132	115	105	101	77	62	1	5	－
	100.0	88.0	76.7	70.0	67.3	51.3	41.3	0.7	3.3	－
50歳代	172	155	121	118	121	91	73	2	6	1
	100.0	90.1	70.3	68.6	70.3	52.9	42.4	1.2	3.5	0.6
60歳代	195	163	128	108	108	75	68	2	13	6
	100.0	83.6	65.6	55.4	55.4	38.5	34.9	1.0	6.7	3.1
70歳代	200	141	114	85	84	55	47	7	20	12
	100.0	70.5	57.0	42.5	42.0	27.5	23.5	3.5	10.0	6.0
80歳以上	96	57	48	45	32	25	19	－	20	9
	100.0	59.4	50.0	46.9	33.3	26.0	19.8	－	20.8	9.4

- 年齢別でみると、全体と比べて、「他人を誹謗中傷する情報が掲載されること」「他人に差別をしようとする気持ちを起こさせたり、それを助長するような情報が掲載されること」「リベンジポルノが存在すること」は 50 歳代で、「ＳＮＳなどによる交流が犯罪を誘発する場となっていること」「プライバシーに関する情報が掲載されること」は 40 歳代で、「特にない」は 80 歳以上で、それぞれ有意に高くなっています。

３－13　インターネット上の誹謗中傷等について

問 19　インターネット上で、他人を誹謗中傷する表現や差別を助長する表現などの情報が掲載されることがあります。このようなことについて、あなたはどう思いますか。あてはまるものを１つだけ選んでください。

図表 3-13-1 インターネット上の誹謗中傷等について（経年比較）



- 「人権侵害だと思う」が 79.7%で最も高く、次いで「わからない」が 9.7%となっています。
- 前回調査と比べると、「人権侵害だと思う」が約 17 ポイント増加し、「わからない」が約 10 ポイント減少しています。

図表 3-13-2 インターネット上の誹謗中傷等について（性別・年齢別）

	件数	自分とは関係のないことだと思う	とりたてて騒ぐほどの問題ではないと思う	人権侵害だと思う	わからない	無回答
全　体	1,015	42	35	809	98	31
	100.0	4.1	3.4	79.7	9.7	3.1
性別						
男性	478	22	21	372	48	15
	100.0	4.6	4.4	77.8	10.0	3.1
女性	525	20	14	429	47	15
	100.0	3.8	2.7	81.7	9.0	2.9
年齢別						
10歳代	94	3	3	80	6	2
	100.0	3.2	3.2	85.1	6.4	2.1
20歳代	62	4	2	54	2	－
	100.0	6.5	3.2	87.1	3.2	－
30歳代	90	4	4	72	10	－
	100.0	4.4	4.4	80.0	11.1	－
40歳代	150	6	12	123	7	2
	100.0	4.0	8.0	82.0	4.7	1.3
50歳代	172	4	4	154	8	2
	100.0	2.3	2.3	89.5	4.7	1.2
60歳代	195	5	5	163	16	6
	100.0	2.6	2.6	83.6	8.2	3.1
70歳代	200	11	3	141	34	11
	100.0	5.5	1.5	70.5	17.0	5.5
80歳以上	96	7	3	61	16	9
	100.0	7.3	3.1	63.5	16.7	9.4

- 年齢別でみると、全体と比べて、「とりたてて騒ぐほどの問題ではないと思う」は 40 歳代で、「人権侵害だと思う」は 50 歳代で、「わからない」は 70 歳代で、それぞれ有意に高くなっています。

図表 3-13-3 インターネット上の誹謗中傷等について（法律等の周知度別）

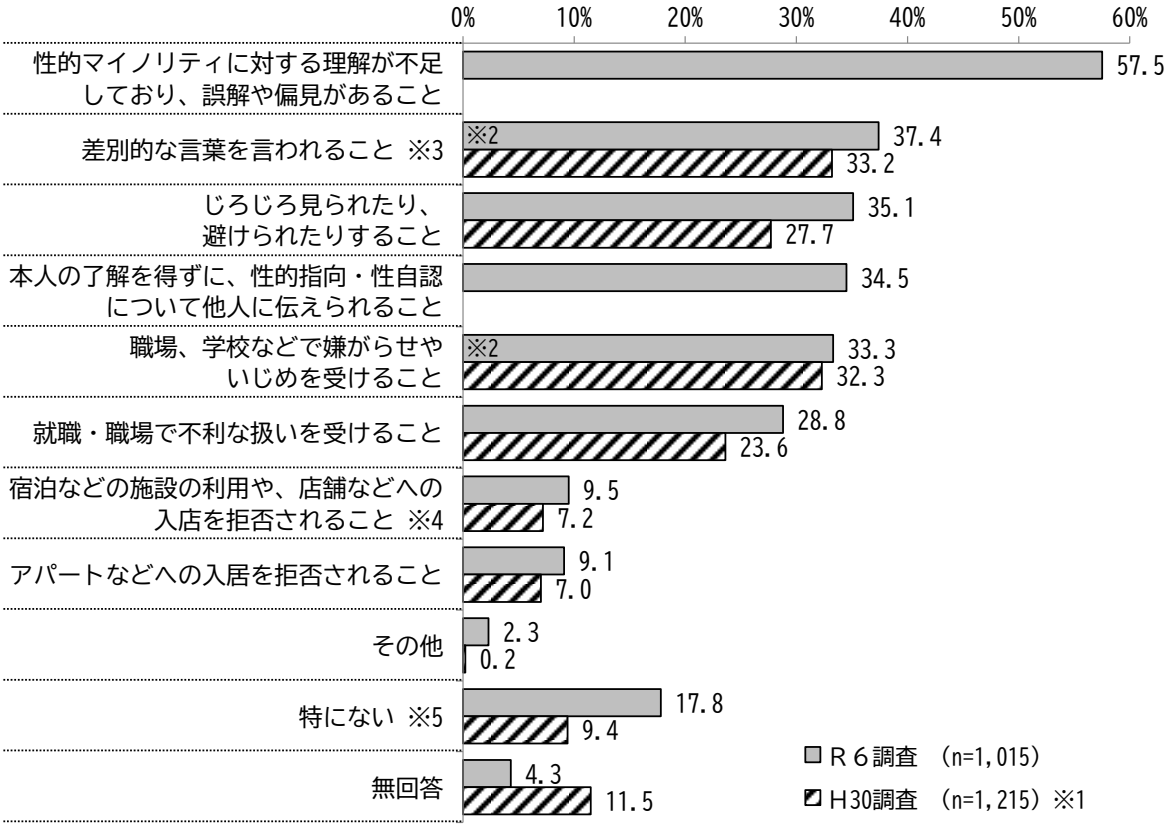
	件数	自分とは関係のないことだと思う	とりたてて騒ぐほどの問題ではないと思う	人権侵害だと思う	わからない	無回答
全　体	1,015	42	35	809	98	31
	100.0	4.1	3.4	79.7	9.7	3.1
問５　人権に関する法律・条例等の周知度						
Ａ　障害者差別解消法						
『知っている』	538	16	14	459	37	12
	100.0	3.0	2.6	85.3	6.9	2.2
知らない	460	26	20	342	57	15
	100.0	5.7	4.3	74.3	12.4	3.3
Ｂ　ヘイトスピーチ解消法						
『知っている』	486	19	16	409	34	8
	100.0	3.9	3.3	84.2	7.0	1.6
知らない	505	23	17	387	60	18
	100.0	4.6	3.4	76.6	11.9	3.6
Ｃ　部落差別解消推進法						
『知っている』	640	24	21	530	47	18
	100.0	3.8	3.3	82.8	7.3	2.8
知らない	355	17	12	271	47	8
	100.0	4.8	3.4	76.3	13.2	2.3
Ｄ　アイヌ施策推進法						
『知っている』	498	17	18	413	38	12
	100.0	3.4	3.6	82.9	7.6	2.4
知らない	497	25	15	387	56	14
	100.0	5.0	3.0	77.9	11.3	2.8
Ｅ　ＬＧＢＴ理解増進法						
『知っている』	538	16	19	454	35	14
	100.0	3.0	3.5	84.4	6.5	2.6
知らない	456	26	14	344	60	12
	100.0	5.7	3.1	75.4	13.2	2.6
Ｆ　子どもの権利条約						
『知っている』	640	20	13	557	37	13
	100.0	3.1	2.0	87.0	5.8	2.0
知らない	350	21	20	242	56	11
	100.0	6.0	5.7	69.1	16.0	3.1
Ｇ　差別を解消し、人権が尊重される三重をつくる条例						
『知っている』	268	10	5	229	16	8
	100.0	3.7	1.9	85.4	6.0	3.0
知らない	720	31	29	567	75	18
	100.0	4.3	4.0	78.8	10.4	2.5
Ｈ　桑名市における部落差別撤廃及びあらゆる差別撤廃に関する条例						
『知っている』	390	13	13	329	25	10
	100.0	3.3	3.3	84.4	6.4	2.6
知らない	606	29	21	471	68	17
	100.0	4.8	3.5	77.7	11.2	2.8
Ｉ　桑名市男女共同参画推進条例						
『知っている』	419	16	12	347	34	10
	100.0	3.8	2.9	82.8	8.1	2.4
知らない	575	26	22	453	59	15
	100.0	4.5	3.8	78.8	10.3	2.6
Ｊ　桑名市の人権尊重都市宣言						
『知っている』	477	19	13	393	41	11
	100.0	4.0	2.7	82.4	8.6	2.3
知らない	519	23	21	408	52	15
	100.0	4.4	4.0	78.6	10.0	2.9
Ｋ　くわな～子どもを虐待から守る都市宣言～						
『知っている』	385	14	13	323	25	10
	100.0	3.6	3.4	83.9	6.5	2.6
知らない	610	28	21	478	68	15
	100.0	4.6	3.4	78.4	11.1	2.5

- 人権に関する法律・条例等の周知度（問５）別でみると、「人権侵害だと思う」はすべての法律・条例等において『知っている』人で高く、特に「Ａ　障害者差別解消法」「Ｅ　ＬＧＢＴ理解増進法」「Ｆ　子どもの権利条約」では『知っている』人で有意に高くなっています。また、「Ｆ　子どもの権利条約」では「わからない」は「知らない」人で有意に高くなっています。

３－14　性的マイノリティに関する人権問題

問 20　あなたは、性的マイノリティ（LGBTQ 等）に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。あてはまるものすべてを選んでください。

図表 3-14-1 性的マイノリティに関する人権問題（経年比較）



※1 H30 調査の設問文は「あなたは、性同一性障害者や、例えば同性愛といった性的指向に関し、現在、どのような問題が起きていると思いますか」。また、H30 調査では「わからない」が 33.8%。
※2「性的マイノリティに対する理解が不足しており、誤解や偏見があること」「本人の了解を得ずに、性的指向・性自認について他人に伝えられること」は R6 調査のみ。
※3 H30 調査では「差別的な言動をされること」。
※4 H30 調査では「宿泊施設、店舗等への入店や施設の利用を拒否されること」。
※5 H30 調査では「特に問題と思うことはない」。

- 「性的マイノリティに対する理解が不足しており、誤解や偏見があること」が 57.5%で最も高く、次いで「差別的な言葉を言われること」が 37.4%、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」が 35.1%となっています。また、「特にない」は 17.8%となっています。
- 前回調査と比べると、新規の選択肢である「性的マイノリティに対する理解が不足しており、誤解や偏見があること」「本人の了解を得ずに、性的指向・性自認について他人に伝えられること」の回答率がそれぞれ第１位・第４位と高くなっています。

図表 3-14-2 性的マイノリティに関する人権問題（性別・年齢別）

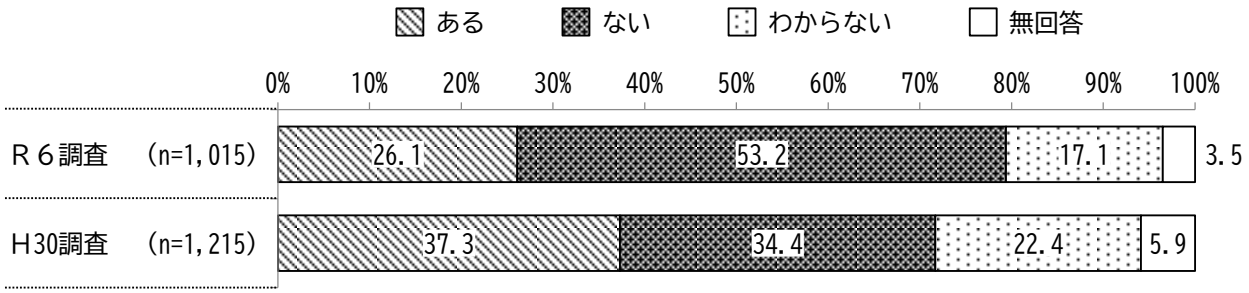
	件数	性的マイノリティに対する理解が不足しており、誤解や偏見があること	差別的な言葉を言われること	じろじろ見られたり、避けられたりすること	本人の了解を得ずに、性的指向・性自認について他人に伝えられること	職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること	就職・職場で不利な扱いを受けること	宿泊などの施設の利用や、店舗などへの入店を拒否されること	アパートなどへの入居を拒否されること	その他	特にない	無回答
全　体	1,015	584	380	356	350	338	292	96	92	23	181	44
	100.0	57.5	37.4	35.1	34.5	33.3	28.8	9.5	9.1	2.3	17.8	4.3
性別												
男性	478	257	164	162	142	151	127	41	41	8	100	20
	100.0	53.8	34.3	33.9	29.7	31.6	26.6	8.6	8.6	1.7	20.9	4.2
女性	525	323	213	193	206	185	162	54	49	15	77	23
	100.0	61.5	40.6	36.8	39.2	35.2	30.9	10.3	9.3	2.9	14.7	4.4
年齢別												
10歳代	94	60	50	37	40	45	22	10	7	1	14	2
	100.0	63.8	53.2	39.4	42.6	47.9	23.4	10.6	7.4	1.1	14.9	2.1
20歳代	62	40	28	19	27	28	15	6	6	2	8	－
	100.0	64.5	45.2	30.6	43.5	45.2	24.2	9.7	9.7	3.2	12.9	－
30歳代	90	60	41	34	36	32	22	10	6	2	12	－
	100.0	66.7	45.6	37.8	40.0	35.6	24.4	11.1	6.7	2.2	13.3	－
40歳代	150	85	61	60	65	56	41	14	8	3	26	－
	100.0	56.7	40.7	40.0	43.3	37.3	27.3	9.3	5.3	2.0	17.3	－
50歳代	172	114	75	78	73	64	56	22	23	6	24	2
	100.0	66.3	43.6	45.3	42.4	37.2	32.6	12.8	13.4	3.5	14.0	1.2
60歳代	195	117	66	73	66	60	72	15	15	2	28	9
	100.0	60.0	33.8	37.4	33.8	30.8	36.9	7.7	7.7	1.0	14.4	4.6
70歳代	200	94	57	52	40	49	51	12	16	7	46	19
	100.0	47.0	28.5	26.0	20.0	24.5	25.5	6.0	8.0	3.5	23.0	9.5
80歳以上	96	38	23	25	17	24	20	10	12	2	33	13
	100.0	39.6	24.0	26.0	17.7	25.0	20.8	10.4	12.5	2.1	34.4	13.5

- 年齢別でみると、「差別的な言葉を言われること」「職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること」は 10 歳代で、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」は 50 歳代で、「就職・職場で不利な扱いを受けること」は 60 歳代で、「特にない」は 80 歳以上で、それぞれ有意に高くなっています。

３－15　ヘイトスピーチを伴うデモ・集会等について

問 21　あなたは、ここ５年の間にヘイトスピーチを伴うデモ、集会、街宣活動等を見たり聞いたりしたことがありますか（テレビ等で見たことも含む）。あてはまるものを１つだけ選んでください。

図表 3-15-1 ヘイトスピーチを伴うデモ・集会等を見聞きした経験（経年比較）



- ヘイトスピーチを伴うデモ・集会等を見聞きした経験は、「ある」が 26.1%となっています。
- 前回調査と比べると、「ある」は約 11 ポイント減少し、「ない」は約 19 ポイント増加しています。

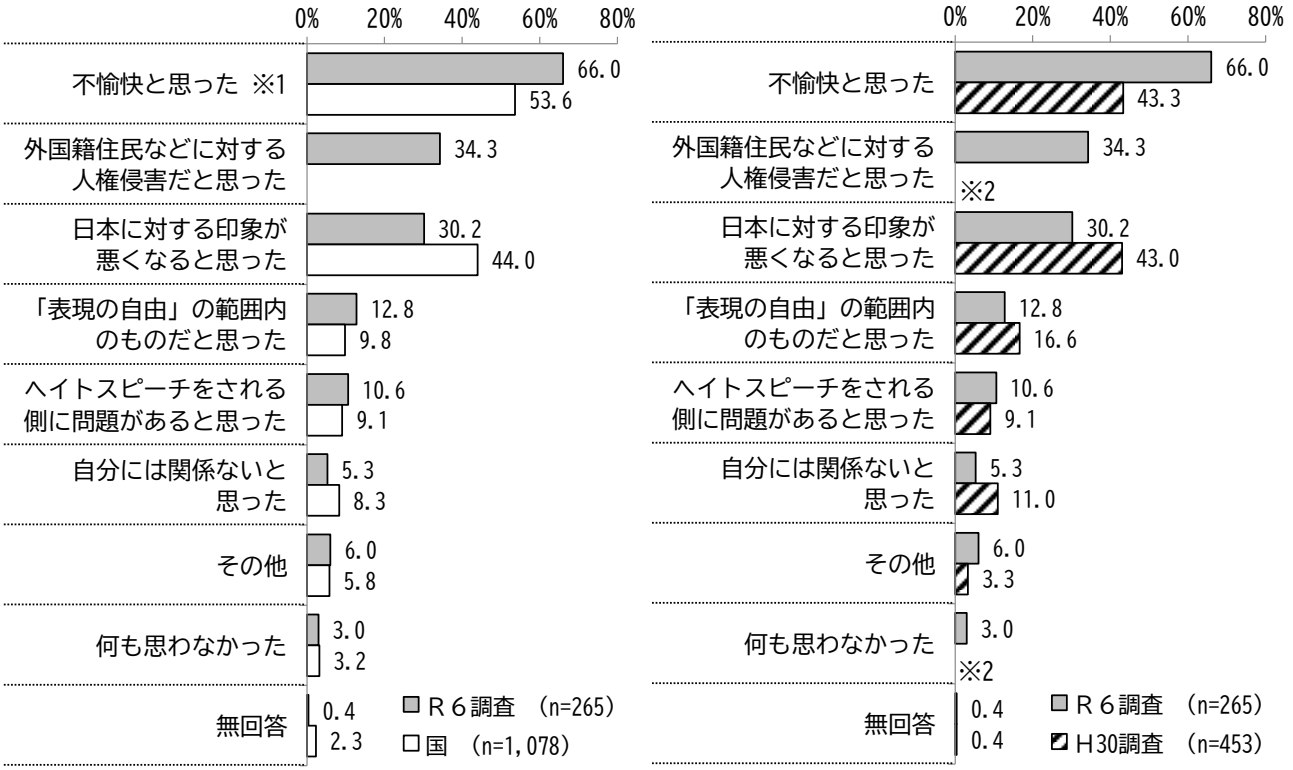
図表 3-15-2 ヘイトスピーチを伴うデモ・集会等を見聞きした経験（性別・年齢別）

	件数	ある	ない	わからない	無回答
全　体	1,015	265	540	174	36
	100.0	26.1	53.2	17.1	3.5
性別					
男性	478	133	257	71	17
	100.0	27.8	53.8	14.9	3.6
女性	525	130	277	100	18
	100.0	24.8	52.8	19.0	3.4
年齢別					
10歳代	94	11	64	16	3
	100.0	11.7	68.1	17.0	3.2
20歳代	62	14	41	6	1
	100.0	22.6	66.1	9.7	1.6
30歳代	90	19	50	16	5
	100.0	21.1	55.6	17.8	5.6
40歳代	150	32	91	23	4
	100.0	21.3	60.7	15.3	2.7
50歳代	172	55	87	30	－
	100.0	32.0	50.6	17.4	－
60歳代	195	57	103	29	6
	100.0	29.2	52.8	14.9	3.1
70歳代	200	57	96	36	11
	100.0	28.5	48.0	18.0	5.5
80歳以上	96	27	38	23	8
	100.0	28.1	39.6	24.0	8.3

- 年齢別でみると、「ない」は年齢が低いほど概ね割合が高く、特に 10 歳代では有意に高くなっています。

問21－1　あなたは、そのようなデモ等を見聞きしてどのように思いましたか。あてはまるものすべてを選んでください。

図表 3-15-3 ヘイトスピーチを伴うデモ等を見聞きした感想（国との比較・経年比較）



※1 国調査では「不愉快で許せないと思った」。
※2「外国籍住民などに対する人権侵害だと思った」「何も思わなかった」はR6調査のみ。

- ヘイトスピーチを伴うデモ等を見聞きした感想は、「不愉快と思った」が66.0%で最も高く、次いで「外国籍住民などに対する人権侵害だと思った」が34.3%となっています。
- 国の調査と比べると、「日本に対する印象が悪くなると思った」は市が国より約14ポイント低くなっています。
- 前回調査と比べると、新規の選択肢である「外国籍住民などに対する人権侵害だと思った」の回答率が第２位と高くなっているほか、「不愉快と思った」が約23ポイント増加し、「日本に対する印象が悪くなると思った」が約13ポイント減少しています。

図表 3-15-4 ヘイトスピーチを伴うデモ等を見聞きした感想（性別・年齢別）

	件数	不愉快と思った	外国籍住民などに対する人権侵害だと思った	日本に対する印象が悪くなると思った	「表現の自由」の範囲内のものだと思った	ヘイトスピーチをされる側に問題があると思った	自分には関係ないと思った	その他	何も思わなかった	無回答
全　体	265	175	91	80	34	28	14	16	8	1
	100.0	66.0	34.3	30.2	12.8	10.6	5.3	6.0	3.0	0.4
性別										
男性	133	89	42	46	16	22	8	9	3	1
	100.0	66.9	31.6	34.6	12.0	16.5	6.0	6.8	2.3	0.8
女性	130	84	48	33	18	6	6	7	5	－
	100.0	64.6	36.9	25.4	13.8	4.6	4.6	5.4	3.8	－
年齢別										
10歳代	11	4	1	1	4	－	1	－	2	－
	100.0	36.4	9.1	9.1	36.4	－	9.1	－	18.2	－
20歳代	14	6	3	3	3	3	1	2	－	－
	100.0	42.9	21.4	21.4	21.4	21.4	7.1	14.3	－	－
30歳代	19	9	5	3	3	3	3	－	1	－
	100.0	47.4	26.3	15.8	15.8	15.8	15.8	－	5.3	－
40歳代	32	20	8	9	5	5	3	－	－	－
	100.0	62.5	25.0	28.1	15.6	15.6	9.4	－	－	－
50歳代	55	38	15	15	5	6	2	5	3	－
	100.0	69.1	27.3	27.3	9.1	10.9	3.6	9.1	5.5	－
60歳代	57	43	20	21	6	5	3	4	1	－
	100.0	75.4	35.1	36.8	10.5	8.8	5.3	7.0	1.8	－
70歳代	57	41	28	17	7	2	1	3	1	1
	100.0	71.9	49.1	29.8	12.3	3.5	1.8	5.3	1.8	1.8
80歳以上	27	16	11	12	4	4	1	2	1	－
	100.0	59.3	40.7	44.4	14.8	14.8	3.7	7.4	3.7	－

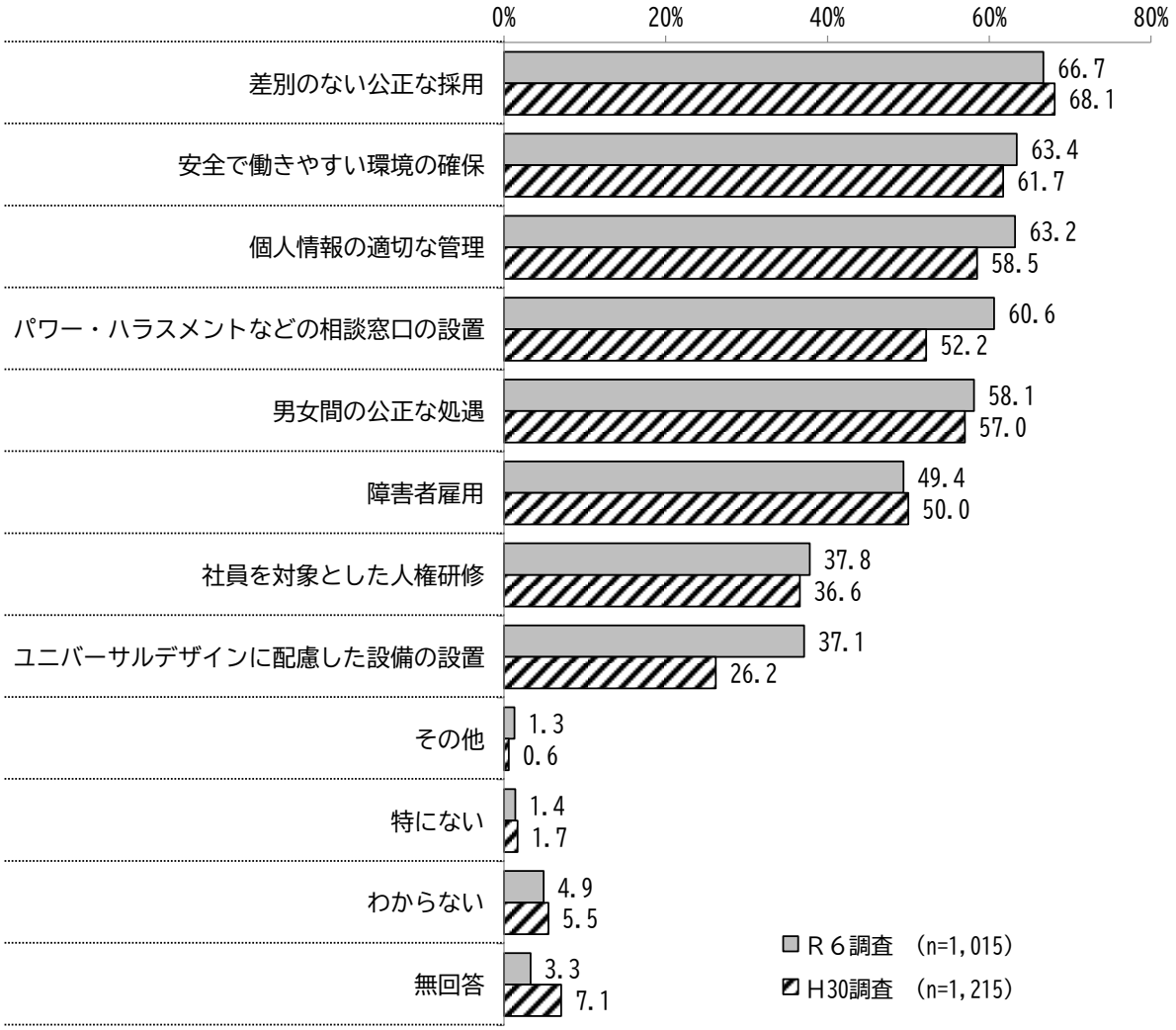
- 年齢別でみると、10 歳代では「「表現の自由」の範囲内のものだと思った」が「不愉快と思った」と同率で最も高くなっています。また、全体と比べると、「何も思わなかった」は 10 歳代で有意に高くなっています。

４　人権啓発・人権教育について

４－１　人権に関する企業の社会的責任

問 22　あなたは、人権に関する企業の社会的責任として、どのようなことが重要だと思いますか。あてはまるものすべてを選んでください。

図表 4-1-1 人権に関する企業の社会的責任（経年比較）



- 「差別のない公正な採用」が 66.7%で最も高く、次いで「安全で働きやすい環境の確保」が 63.4%となっています。
- 前回調査と比べると、「パワー・ハラスメントなどの相談窓口の設置」が約８ポイント増加し順位を上げています。また、「ユニバーサルデザインに配慮した設備の設置」が約 11 ポイント増加しています。

図表 4-1-2 人権に関する企業の社会的責任（性別・年齢別）

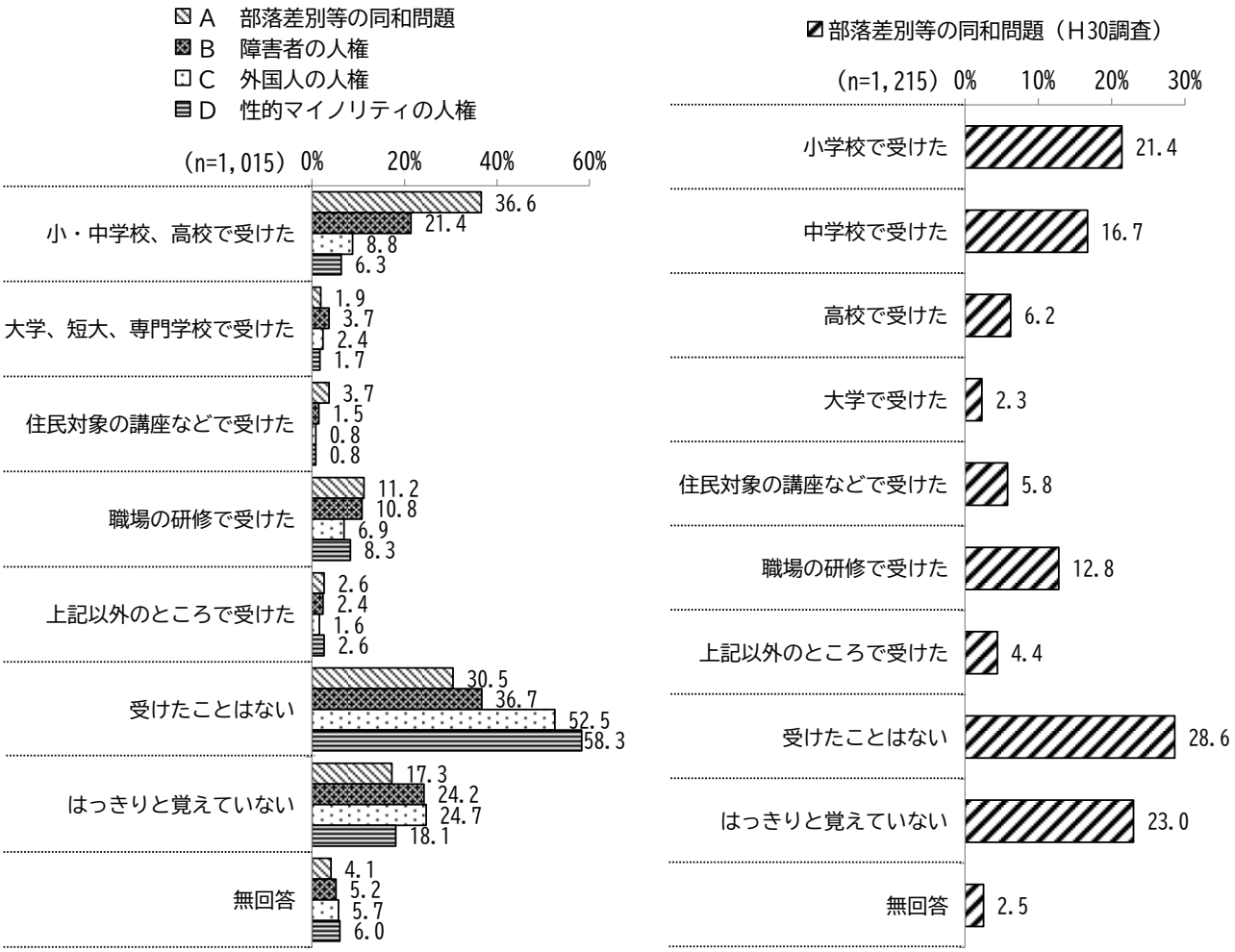
	件数	差別のない公正な採用	安全で働きやすい環境の確保	個人情報の適切な管理	パワー・ハラスメントなどの相談窓口の設置	男女間の公正な処遇	障害者雇用	社員を対象とした人権研修	ユニバーサルデザインに配慮した設備の設置	その他	特にない	わからない	無回答
全　体	1,015	677	644	641	615	590	501	384	377	13	14	50	34
	100.0	66.7	63.4	63.2	60.6	58.1	49.4	37.8	37.1	1.3	1.4	4.9	3.3
性別													
男性	478	303	290	292	280	264	223	179	164	6	9	22	20
	100.0	63.4	60.7	61.1	58.6	55.2	46.7	37.4	34.3	1.3	1.9	4.6	4.2
女性	525	367	347	343	330	321	273	201	210	7	5	25	14
	100.0	69.9	66.1	65.3	62.9	61.1	52.0	38.3	40.0	1.3	1.0	4.8	2.7
年齢別													
10歳代	94	71	62	61	56	60	47	30	49	－	3	7	－
	100.0	75.5	66.0	64.9	59.6	63.8	50.0	31.9	52.1	－	3.2	7.4	－
20歳代	62	43	39	44	43	40	26	18	29	1	－	2	1
	100.0	69.4	62.9	71.0	69.4	64.5	41.9	29.0	46.8	1.6	－	3.2	1.6
30歳代	90	54	61	62	58	53	37	33	35	2	－	8	－
	100.0	60.0	67.8	68.9	64.4	58.9	41.1	36.7	38.9	2.2	－	8.9	－
40歳代	150	100	96	103	102	92	67	49	64	2	3	5	－
	100.0	66.7	64.0	68.7	68.0	61.3	44.7	32.7	42.7	1.3	2.0	3.3	－
50歳代	172	125	119	118	107	108	92	75	74	3	3	3	2
	100.0	72.7	69.2	68.6	62.2	62.8	53.5	43.6	43.0	1.7	1.7	1.7	1.2
60歳代	195	133	135	128	127	123	111	88	75	2	2	6	7
	100.0	68.2	69.2	65.6	65.1	63.1	56.9	45.1	38.5	1.0	1.0	3.1	3.6
70歳代	200	125	108	108	106	99	101	73	54	3	2	12	15
	100.0	62.5	54.0	54.0	53.0	49.5	50.5	36.5	27.0	1.5	1.0	6.0	7.5
80歳以上	96	61	52	42	43	44	40	30	21	－	2	10	9
	100.0	63.5	54.2	43.8	44.8	45.8	41.7	31.3	21.9	－	2.1	10.4	9.4

- 年齢別でみると、20 歳代～40 歳代では「個人情報の適切な管理」が、60 歳代では「安全で働きやすい環境の確保」がそれぞれ最も高くなっています。また、全体と比べると、「ユニバーサルデザインに配慮した設備の設置」は 10 歳代で有意に高くなっています。

４－２　人権学習を受けた場所

問 23　あなたは、学校や職場、地域で、次のような人権学習を受けたことがありますか。Ａ～Ｄのそれぞれについて、あてはまるものすべてを選んでください。

図表 4-2-1 人権学習を受けた場所（経年比較）



- 『受けたことがある』は、「Ａ」で 48.0%、「Ｂ」で 33.9%、「Ｃ」で 17.0%、「Ｄ」で 17.5%となっています。
- 『受けたことがある』の内訳をみると、「Ａ」「Ｂ」「Ｃ」では「小・中学校、高校で受けた」が最も高く、「Ｄ」では「職場の研修で受けた」が最も高くなっています。
- 「Ａ」について前回調査と比べると、『受けたことがある』（45.9%→48.0%）が約２ポイント増加し、「はっきりと覚えていない」が約６ポイント減少しています。

※『受けたことがある』は、全体から「受けたことはない」「はっきりと覚えていない」及び無回答を除いた割合。

図表 4-2-2 人権学習を受けた場所（性別・年齢別）

		A　部落差別等の同和問題								B　障害者の人権							
	件数	小・中学校、高校で受けた	大学、短大、専門学校で受けた	住民対象の講座などで受けた	職場の研修で受けた	左記以外のところで受けた	受けたことはない	はっきりと覚えていない	無回答	小・中学校、高校で受けた	大学、短大、専門学校で受けた	住民対象の講座などで受けた	職場の研修で受けた	左記以外のところで受けた	受けたことはない	はっきりと覚えていない	無回答
全　体	1,015	371	19	38	114	26	310	176	42	217	38	15	110	24	372	246	53
	100.0	36.6	1.9	3.7	11.2	2.6	30.5	17.3	4.1	21.4	3.7	1.5	10.8	2.4	36.7	24.2	5.2
性別																	
男性	478	163	7	15	71	14	156	80	15	110	14	9	63	14	184	98	18
	100.0	34.1	1.5	3.1	14.9	2.9	32.6	16.7	3.1	23.0	2.9	1.9	13.2	2.9	38.5	20.5	3.8
女性	525	205	12	23	42	12	151	91	27	105	24	6	47	10	182	144	35
	100.0	39.0	2.3	4.4	8.0	2.3	28.8	17.3	5.1	20.0	4.6	1.1	9.0	1.9	34.7	27.4	6.7
年齢別																	
10歳代	94	86	－	－	－	－	4	2	2	62	2	－	1	1	8	18	2
	100.0	91.5	－	－	－	－	4.3	2.1	2.1	66.0	2.1	－	1.1	1.1	8.5	19.1	2.1
20歳代	62	42	2	－	5	－	13	5	1	37	9	－	7	－	6	12	1
	100.0	67.7	3.2	－	8.1	－	21.0	8.1	1.6	59.7	14.5	－	11.3	－	9.7	19.4	1.6
30歳代	90	44	1	1	3	1	25	18	1	27	6	－	6	1	27	30	1
	100.0	48.9	1.1	1.1	3.3	1.1	27.8	20.0	1.1	30.0	6.7	－	6.7	1.1	30.0	33.3	1.1
40歳代	150	91	4	2	21	2	24	28	－	54	12	－	28	1	30	46	－
	100.0	60.7	2.7	1.3	14.0	1.3	16.0	18.7	－	36.0	8.0	－	18.7	0.7	20.0	30.7	－
50歳代	172	72	3	2	24	5	51	28	2	31	4	2	31	4	64	46	3
	100.0	41.9	1.7	1.2	14.0	2.9	29.7	16.3	1.2	18.0	2.3	1.2	18.0	2.3	37.2	26.7	1.7
60歳代	195	47	7	12	29	8	64	44	7	17	4	4	20	8	94	46	8
	100.0	24.1	3.6	6.2	14.9	4.1	32.8	22.6	3.6	8.7	2.1	2.1	10.3	4.1	48.2	23.6	4.1
70歳代	200	26	1	12	24	6	88	35	14	14	3	5	12	6	105	38	18
	100.0	13.0	0.5	6.0	12.0	3.0	44.0	17.5	7.0	7.0	1.5	2.5	6.0	3.0	52.5	19.0	9.0
80歳以上	96	10	1	9	7	4	41	13	15	8	－	4	4	4	41	16	20
	100.0	10.4	1.0	9.4	7.3	4.2	42.7	13.5	15.6	8.3	－	4.2	4.2	4.2	42.7	16.7	20.8

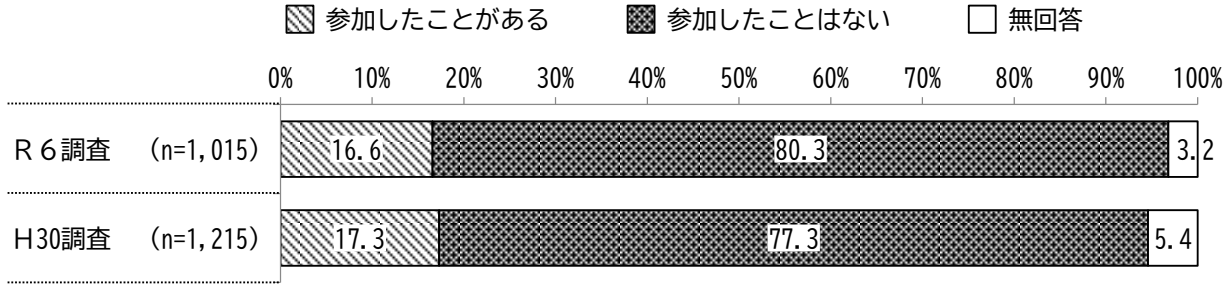
		C　外国人の人権								D　性的マイノリティの人権							
	件数	小・中学校、高校で受けた	大学、短大、専門学校で受けた	住民対象の講座などで受けた	職場の研修で受けた	左記以外のところで受けた	受けたことはない	はっきりと覚えていない	無回答	小・中学校、高校で受けた	大学、短大、専門学校で受けた	住民対象の講座などで受けた	職場の研修で受けた	左記以外のところで受けた	受けたことはない	はっきりと覚えていない	無回答
全　体	1,015	89	24	8	70	16	533	251	58	64	17	8	84	26	592	184	61
	100.0	8.8	2.4	0.8	6.9	1.6	52.5	24.7	5.7	6.3	1.7	0.8	8.3	2.6	58.3	18.1	6.0
性別																	
男性	478	48	8	2	44	9	262	105	20	28	6	4	55	13	282	83	21
	100.0	10.0	1.7	0.4	9.2	1.9	54.8	22.0	4.2	5.9	1.3	0.8	11.5	2.7	59.0	17.4	4.4
女性	525	39	16	6	26	7	264	143	38	36	11	4	29	13	300	99	40
	100.0	7.4	3.0	1.1	5.0	1.3	50.3	27.2	7.2	6.9	2.1	0.8	5.5	2.5	57.1	18.9	7.6
年齢別																	
10歳代	94	42	－	－	1	－	25	23	3	51	－	－	－	2	22	17	3
	100.0	44.7	－	－	1.1	－	26.6	24.5	3.2	54.3	－	－	－	2.1	23.4	18.1	3.2
20歳代	62	22	4	－	4	－	19	16	1	19	9	－	4	1	20	12	1
	100.0	35.5	6.5	－	6.5	－	30.6	25.8	1.6	30.6	14.5	－	6.5	1.6	32.3	19.4	1.6
30歳代	90	17	6	－	4	1	36	31	1	4	2	－	8	4	53	21	2
	100.0	18.9	6.7	－	4.4	1.1	40.0	34.4	1.1	4.4	2.2	－	8.9	4.4	58.9	23.3	2.2
40歳代	150	16	6	2	21	1	52	63	－	7	5	2	25	1	68	48	－
	100.0	10.7	4.0	1.3	14.0	0.7	34.7	42.0	－	4.7	3.3	1.3	16.7	0.7	45.3	32.0	－
50歳代	172	9	2	－	21	4	105	36	3	2	－	1	26	6	113	23	5
	100.0	5.2	1.2	－	12.2	2.3	61.0	20.9	1.7	1.2	－	0.6	15.1	3.5	65.7	13.4	2.9
60歳代	195	4	3	3	13	4	121	41	10	3	－	2	19	5	132	26	10
	100.0	2.1	1.5	1.5	6.7	2.1	62.1	21.0	5.1	1.5	－	1.0	9.7	2.6	67.7	13.3	5.1
70歳代	200	2	3	3	4	5	131	35	18	1	1	3	1	6	139	30	19
	100.0	1.0	1.5	1.5	2.0	2.5	65.5	17.5	9.0	0.5	0.5	1.5	0.5	3.0	69.5	15.0	9.5
80歳以上	96	3	－	－	2	1	51	17	22	2	－	－	1	2	55	15	21
	100.0	3.1	－	－	2.1	1.0	53.1	17.7	22.9	2.1	－	－	1.0	2.1	57.3	15.6	21.9

- 年齢別でみると、「Ａ」では 60 歳代以上で「受けたことはない」が、「Ｂ」では 20 歳代以下・40 歳代で「小・中学校、高校で受けた」が、30 歳代で「はっきりと覚えていない」が、「Ｃ」では 20 歳代以下で「小・中学校、高校で受けた」が、「Ｄ」では 10 歳代で「小・中学校、高校で受けた」がそれぞれ最も高くなっています。
- また、全体と比べると、「小・中学校、高校で受けた」は「Ａ」「Ｂ」では 20 歳代以下・40 歳代で、「Ｃ」「Ｄ」では 20 歳代以下で、「大学、短大、専門学校で受けた」は「Ｂ」では 20 歳代・40 歳代で、「Ｃ」では 30 歳代で、「Ｄ」では 20 歳代で、「住民対象の講座などで受けた」は「Ａ」では 80 歳以上で、「職場の研修で受けた」は「Ｂ」「Ｃ」「Ｄ」では 40 歳代・50 歳代で、それぞれ有意に高くなっています。
- 一方、「受けたことはない」は「Ａ」では 70 歳代以上で、「Ｂ」「Ｄ」では 60 歳代・70 歳代で、「Ｃ」では 50 歳代～70 歳代で、それぞれ有意に高くなっています。また、「はっきりと覚えていない」は「Ｃ」「Ｄ」では 40 歳代で有意に高くなっています。

４－３　行政が実施する人権に関する講演会や研修会への参加の有無

問 24　あなたは、これまでに、行政が実施する人権に関する講演会や研修会に参加したことがありますか。あてはまるものを１つだけ選んでください。

図表 4-3-1 行政が実施する人権に関する講演会や研修会への参加の有無（経年比較）



- 「参加したことはない」が 80.3%、「参加したことがある」が 16.6%となっています。
- 前回調査と比べると、「参加したことはない」が３ポイント増加しています。

図表 4-3-2 行政が実施する人権に関する講演会や研修会への参加の有無（性別・年齢別）

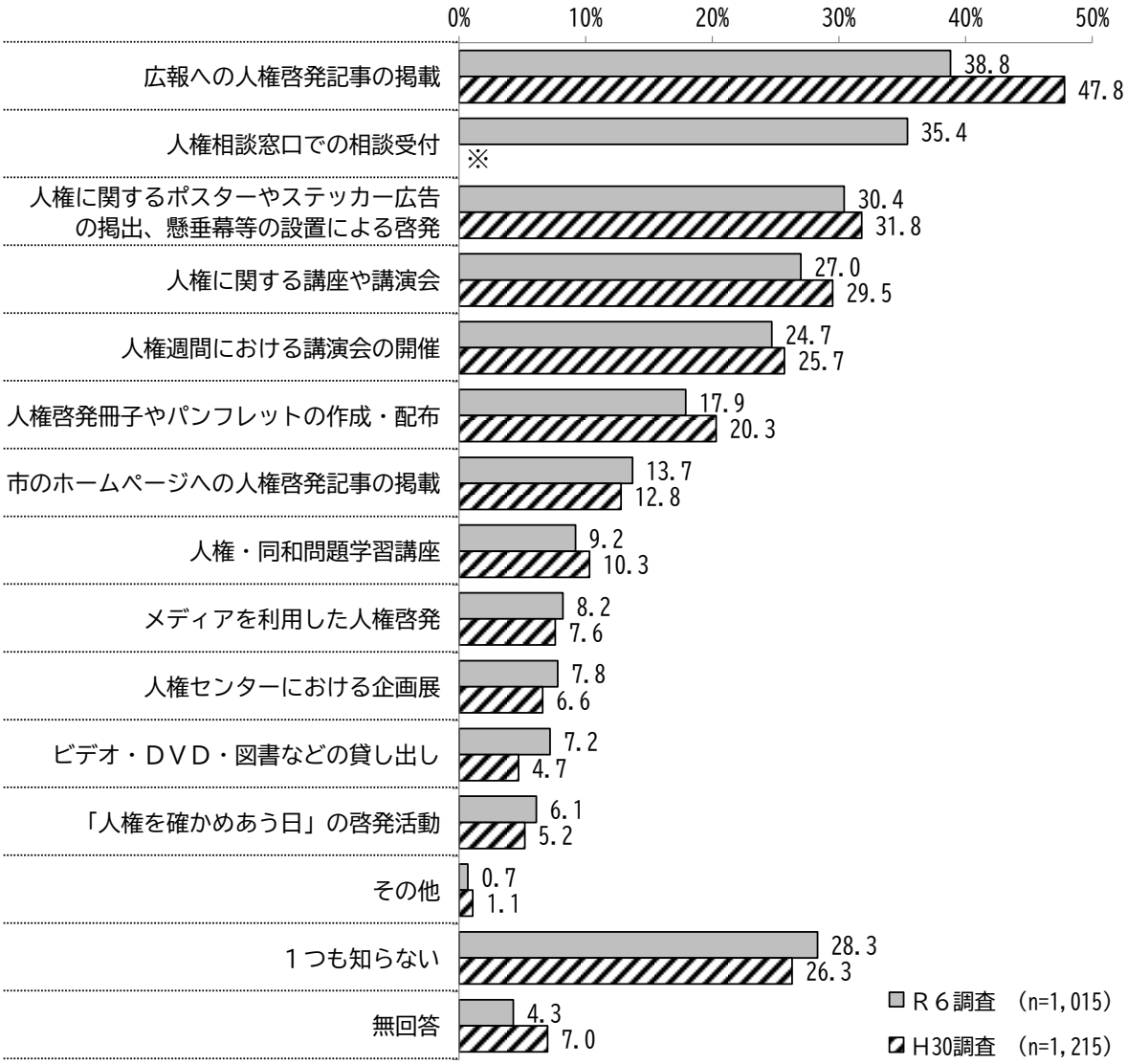
	件数	参加したことがある	参加したことはない	無回答
全　体	1,015	168	815	32
	100.0	16.6	80.3	3.2
性別				
男性	478	77	389	12
	100.0	16.1	81.4	2.5
女性	525	90	415	20
	100.0	17.1	79.0	3.8
年齢別				
10歳代	94	10	84	－
	100.0	10.6	89.4	－
20歳代	62	9	53	－
	100.0	14.5	85.5	－
30歳代	90	10	80	－
	100.0	11.1	88.9	－
40歳代	150	22	127	1
	100.0	14.7	84.7	0.7
50歳代	172	30	140	2
	100.0	17.4	81.4	1.2
60歳代	195	37	152	6
	100.0	19.0	77.9	3.1
70歳代	200	34	155	11
	100.0	17.0	77.5	5.5
80歳以上	96	22	62	12
	100.0	22.9	64.6	12.5

- 年齢別でみると、「参加したことはない」は年齢が低いほど概ね割合が高く、30 歳代以下で若干高くなっています。

４－４　市の人権啓発活動の周知度

問 25　あなたは、現在桑名市が行っている次のような人権に関する啓発活動をご存じですか。あてはまるものすべてを選んでください。

図表 4-4-1 市の人権啓発活動の周知度（経年比較）



※「人権相談窓口での相談受付」は R6 調査のみ。

- 「広報への人権啓発記事の掲載」が 38.8%で最も高く、次いで「人権相談窓口での相談受付」が 35.4%、「人権に関するポスターやステッカー広告の掲出、懸垂幕等の設置による啓発」が 30.4%となっています。
- 前回調査と比べると、新規の選択肢である「人権相談窓口での相談受付」の回答率が第２位と高くなっているほか、「広報への人権啓発記事の掲載」が９ポイント減少しています。

図表 4-4-2 市の人権啓発活動の周知度（性別・年齢別・講演会等参加状況別）

	件数	広報への人権啓発記事の掲載	人権相談窓口での相談受付	人権に関するポスターやステッカー広告の掲出、懸垂幕等の設置による啓発	人権に関する講座や講演会	人権週間における講演会の開催	人権啓発冊子やパンフレットの作成・配布	市のホームページへの人権啓発記事の掲載	人権・同和問題学習講座	メディアを利用した人権啓発	人権センターにおける企画展	ビデオ・ＤＶＤ・図書などの貸し出し	「人権を確かめあう日」の啓発活動	その他	１つも知らない	無回答
全　体	1,015	394	359	309	274	251	182	139	93	83	79	73	62	7	287	44
	100.0	38.8	35.4	30.4	27.0	24.7	17.9	13.7	9.2	8.2	7.8	7.2	6.1	0.7	28.3	4.3
性別																
男性	478	182	154	150	122	102	87	82	39	47	37	31	27	3	148	21
	100.0	38.1	32.2	31.4	25.5	21.3	18.2	17.2	8.2	9.8	7.7	6.5	5.6	0.6	31.0	4.4
女性	525	211	204	155	149	147	93	55	53	35	42	42	34	3	135	23
	100.0	40.2	38.9	29.5	28.4	28.0	17.7	10.5	10.1	6.7	8.0	8.0	6.5	0.6	25.7	4.4
年齢別																
10歳代	94	18	29	30	24	26	14	5	7	8	10	14	5	－	22	1
	100.0	19.1	30.9	31.9	25.5	27.7	14.9	5.3	7.4	8.5	10.6	14.9	5.3	－	23.4	1.1
20歳代	62	12	18	15	12	21	10	8	6	2	3	6	3	－	22	3
	100.0	19.4	29.0	24.2	19.4	33.9	16.1	12.9	9.7	3.2	4.8	9.7	4.8	－	35.5	4.8
30歳代	90	18	35	16	18	14	11	8	5	5	8	5	6	－	43	2
	100.0	20.0	38.9	17.8	20.0	15.6	12.2	8.9	5.6	5.6	8.9	5.6	6.7	－	47.8	2.2
40歳代	150	57	63	51	52	49	26	25	17	18	22	21	12	2	42	3
	100.0	38.0	42.0	34.0	34.7	32.7	17.3	16.7	11.3	12.0	14.7	14.0	8.0	1.3	28.0	2.0
50歳代	172	67	63	60	41	48	34	14	12	11	11	12	6	1	45	4
	100.0	39.0	36.6	34.9	23.8	27.9	19.8	8.1	7.0	6.4	6.4	7.0	3.5	0.6	26.2	2.3
60歳代	195	88	70	59	52	45	38	32	21	12	14	9	11	－	54	8
	100.0	45.1	35.9	30.3	26.7	23.1	19.5	16.4	10.8	6.2	7.2	4.6	5.6	－	27.7	4.1
70歳代	200	100	67	58	59	44	40	33	19	20	11	11	14	1	51	10
	100.0	50.0	33.5	29.0	29.5	22.0	20.0	16.5	9.5	10.0	5.5	5.5	7.0	0.5	25.5	5.0
80歳以上	96	43	31	31	28	17	17	17	9	9	6	1	6	3	14	14
	100.0	44.8	32.3	32.3	29.2	17.7	17.7	17.7	9.4	9.4	6.3	1.0	6.3	3.1	14.6	14.6
問24　人権に関する講演会等への参加状況																
参加したことがある	168	119	83	88	112	92	71	52	55	37	43	32	32	2	8	1
	100.0	70.8	49.4	52.4	66.7	54.8	42.3	31.0	32.7	22.0	25.6	19.0	19.0	1.2	4.8	0.6
参加したことはない	815	270	271	218	159	154	106	84	37	45	35	40	29	4	277	23
	100.0	33.1	33.3	26.7	19.5	18.9	13.0	10.3	4.5	5.5	4.3	4.9	3.6	0.5	34.0	2.8

- 年齢別でみると、10 歳代では「人権に関するポスターやステッカー広告の掲出、懸垂幕等の設置による啓発」が、20 歳代・30 歳代では「１つも知らない」が、40 歳代では「人権相談窓口での相談受付」がそれぞれ最も高くなっています。また、全体と比べると、「広報への人権啓発記事の掲載」は 70 歳代で、「人権センターにおける企画展」は 40 歳代で、「ビデオ・ＤＶＤ・図書などの貸し出し」は 10 歳代・40 歳代で、「１つも知らない」は 30 歳代でそれぞれ有意に高くなっています。
- 人権に関する講演会等への参加状況（問 24）別でみると、すべての活動は参加経験者で有意に高く、「１つも知らない」は参加未経験者で有意に高くなっています。

5　人権問題の解決のための方策について

5－1　人権問題の解決に向けて市が注力すべきこと

問 26　あなたは、桑名市が人権問題の解決に向けて、どのようなことに力を入れていけばよいと思いますか。あてはまるものすべてを選んでください。

図表 5-1-1 人権問題の解決に向けて市が注力すべきこと（経年比較）



- 「学校教育における人権学習の取り組み」が 65.1%で最も高く、次いで「生涯学習における人権教育の取り組み」が 37.6%、「相談事業に対応するスタッフの養成」が 28.1%となっています。
- 前回調査と比べると、大きな変化はみられませんでした。

図表 5-1-2 人権問題の解決に向けて市が注力すべきこと（性別・年齢別）

	件数	学校教育における人権学習の取り組み	生涯学習における人権教育の取り組み	相談事業に対応するスタッフの養成	市民や企業、団体等への研修講師の紹介や、交流・連携に対する支援	ボランティア活動等を通じて、人権問題の理解や認識を深める	人権をテーマとしたイベントや常設・企画展示	人権問題に取り組むボランティア団体等が交流できる場を提供する	人権に関するアンケートなどの各種意識調査やニーズの把握	啓発冊子の配布や視聴覚教材等の貸し出し	その他	特にない	わからない	無回答
全　体	1,015	661	382	285	241	212	207	187	159	115	20	66	117	30
	100.0	65.1	37.6	28.1	23.7	20.9	20.4	18.4	15.7	11.3	2.0	6.5	11.5	3.0
性別														
男性	478	301	162	122	117	100	104	80	81	59	9	40	49	12
	100.0	63.0	33.9	25.5	24.5	20.9	21.8	16.7	16.9	12.3	1.9	8.4	10.3	2.5
女性	525	352	216	157	123	111	102	105	76	53	11	25	66	18
	100.0	67.0	41.1	29.9	23.4	21.1	19.4	20.0	14.5	10.1	2.1	4.8	12.6	3.4
年齢別														
10歳代	94	63	43	21	23	25	31	28	22	9	1	7	3	－
	100.0	67.0	45.7	22.3	24.5	26.6	33.0	29.8	23.4	9.6	1.1	7.4	3.2	－
20歳代	62	40	23	15	12	12	16	9	13	12	2	2	7	－
	100.0	64.5	37.1	24.2	19.4	19.4	25.8	14.5	21.0	19.4	3.2	3.2	11.3	－
30歳代	90	66	26	23	23	12	17	12	12	7	3	4	12	－
	100.0	73.3	28.9	25.6	25.6	13.3	18.9	13.3	13.3	7.8	3.3	4.4	13.3	－
40歳代	150	107	59	46	41	33	32	30	24	15	2	12	14	1
	100.0	71.3	39.3	30.7	27.3	22.0	21.3	20.0	16.0	10.0	1.3	8.0	9.3	0.7
50歳代	172	112	65	60	47	38	27	34	29	17	5	8	19	3
	100.0	65.1	37.8	34.9	27.3	22.1	15.7	19.8	16.9	9.9	2.9	4.7	11.0	1.7
60歳代	195	123	86	54	48	38	41	37	34	27	3	13	29	4
	100.0	63.1	44.1	27.7	24.6	19.5	21.0	19.0	17.4	13.8	1.5	6.7	14.9	2.1
70歳代	200	125	74	59	38	48	37	37	22	23	2	17	22	12
	100.0	62.5	37.0	29.5	19.0	24.0	18.5	18.5	11.0	11.5	1.0	8.5	11.0	6.0
80歳以上	96	53	30	21	22	20	22	15	16	11	2	7	10	10
	100.0	55.2	31.3	21.9	22.9	20.8	22.9	15.6	16.7	11.5	2.1	7.3	10.4	10.4

- 年齢別でみると、「人権をテーマとしたイベントや常設・企画展示」「人権問題に取り組むボランティア団体等が交流できる場を提供する」は 10 歳代で有意に高くなっています。

6　自由意見

6－1　自由意見

問 27　桑名市の人権問題に関するご意見・ご要望等がございましたら、自由にご記入ください。

図表 6-1 人権問題に関する意見･要望等

内　容	件　数
人権教育・人権学習について	34
人権啓発活動について	11
市の人権施策について	15
人権相談について	2
人権尊重のために心がけるべきこと、大切なこと	12
人権問題に対する関心について	14
同和問題について	22
子どもの人権について	8
女性の人権について	1
障害者の人権について	7
高齢者の人権について	4
外国人の人権について	7
その他の人権問題について	8
このアンケート調査について	12
その他	19
合　計	176

- 人権問題について、165 人の方から 176 のご意見をいただきました。主な内訳は、図表６－１のとおりです。これらのご意見は、今後の人権施策の参考とさせていただきます。

III. 調査結果からみえてきたもの

関西大学名誉教授　石元清英

１．人権侵害を受けた経験と対応

この５年の間に自分の人権が侵害されたと思ったことがあるかを問うと（４ページ、図表 2-1-1)、「ある」と回答したのは 12.8%で、性別でみると（４ページ、図表 2-1-2)、「ある」の割合は男性 11.1%、女性 14.7%と、女性のほうがやや多い。そして、年齢別では「ある」の割合は 40 歳代で高く（22.0%)、70 歳代、80 歳以上で低くなっている（いずれも５%台)。

この５年間に人権侵害を受けたと答えた人に人権侵害の内容を問うと（５ページ、図表 2-2-1)、「パワー・ハラスメントを受けた」が 41.5%で最も多く、次いで「あらぬうわさ、悪口で名誉・信用を傷つけられた」が 33.8%となっている。

前回調査と比較すると（４ページ、図表 2-1-1)、この５年間に人権侵害を受けたと回答したのは、平成 30 年 12.5%、令和６年 12.8%と、ほとんど変わりがないが、人権侵害の内容では（５ページ、図表 2-2-1)、「人種・信条・性別・社会的身分などによる差別的待遇を受けた」が平成 30 年 20.4%から令和６年 10.0%、「プライバシーを侵害された」が同 14.5%から 7.7%と、それぞれ大幅に減少し、「その他」が同 7.2%から 13.1%へと増加している。

人権侵害を受けた際の対応をみると（７ページ、図表 2-3-1)、「家族や友人など身近な人に相談した」(45.4%)、「職場の上司や学校の先生などに相談した」(36.9%）など、周囲の人への相談が多く、「県の機関の相談窓口に相談した」(2.3%)、「人権擁護委員に相談した」(1.5%)、「民生委員・児童委員に相談した」(該当なし）といった公的な相談窓口への相談が少なかった。公的な相談窓口の存在の周知に加え、そうした相談窓口がどのような事柄についてどこまで何をしてくれるところなのか、伝えていく啓発が必要である。

２．人権や差別をめぐる考え方についての意識

問６では、人権や差別に関するさまざまな意見や考え方を示して、それについてどう思うのかを問うているが（13 ページ、図表 2-5-1)、「Ｅ　人権には必ず義務がともなう」という意見については、「そう思う」が 32.9%、「どちらかといえばそう思う」が 25.0%で、この意見を肯定する回答は 57.9%と、半数を超えている。そして、「どちらともいえない」が 28.1%あるので、否定回答である『そう思わない』は 11.0%となっている。

人権はすべての人が生まれながらにもっている権利なので、何らかの義務を果たした人にだけ与えられるというものではない。したがって、「人権には必ず義務がともなう」という意見は間違っているのであり、半数を超える人が誤解していることになる。権利の行使には責任がともなうが、義務は一切ともなわないのである。

「人権には必ず義務がともなう」という誤解は、社会的弱者・少数者が自分の権利行使を抑制してしまうことになりかねないし、社会的弱者・少数者に我慢を強いることにもなってしまう。権利についての理解が権利の正当な行使につながるのであり、権利の理解を高めることは人権教育・啓発の課題であるといえる。

「Ｆ　競争社会だから、競争に負けた人が不利益を受けるのは仕方がない」という意見については、これを否定する回答（『そう思わない』）が 56.2％と、肯定する回答（『そう思う』15.8％）を大きく上回っているが、「そう思わない」の割合は６割に達していない。競争の結果の勝ち負けは、競い合った人たちが自分の能力を十分に発揮して頑張ったとしても生じるものである。したがって、怠慢や努力不足の結果ではなく、自分の力を出し切った結果、競争に負けたのであれば、それによって生じる不利益すべてをその人の責任に帰するのは、あまりにも酷である。競争の結果、生じる不利益を仕方がないと、放置するなら、強者と弱者の格差は拡大するばかりであろう。それゆえ、競争の結果、生じる不利益を仕方がないとするのではなく、それを軽減する施策が行われるべきであり、「競争社会だから、競争に負けた人が不利益を受けるのは仕方がない」という意見は、人権の視点から間違っているといえる。この意見については、肯定・否定の判断を保留する「どちらともいえない」という回答が 26.2％あったが、保留の状態から否定回答に移るに必要な情報の提供が啓発の課題となろう。

「Ｇ　そっとしておけば、部落差別は自然になくなる」という意見は、いわゆる「寝た子を起こすな」論といわれるものであるが、問 14 にみたように（34 ページ）、同和問題に関する誤解や偏見にもとづく発言をこの５年間に聞いた人が２割前後いて、その発言に疑問・反発を感じた人が少ないという実態がある。現在でもこうした誤った内容の発言に出会うことがあり、その際、同和問題に関する正しい知識や情報をもっていなければ、その誤った発言の内容を鵜呑みにしてしまうかもしれないのである。すなわち、そっとしておくだけなら、同和問題に関する差別的な意見や考え方を再生産することになってしまうのであり、差別的な内容の発言の誤りに気づき、それを批判できる力をつける教育・啓発をしていかなければ、部落差別はなくならない。これは同和問題だけではなく、すべての人権問題に共通することである。

今回の調査では、「そっとしておけば、部落差別は自然になくなる」という意見を肯定する回答（『そう思う』）は 15.0％と、多くはなかったが、23.9％あった「どちらともいえない」という回答と合わせて、これらをさらに少なくしていくことが教育・啓発の大きな課題であるといえよう。

「Ｈ　いじめは、いじめられる側にも問題がある」と「Ｐ　刑を終えて出所した人の就職が、容易に決まらないのは仕方ない」という意見は、被害を受けたり、不利益を被るのは、その当人に非があるとするもので、社会問題を個人の問題に帰してしまう自己責任論である。

「Ｈ　いじめは、いじめられる側にも問題がある」という意見を肯定する回答（『そう思う』）は 15.0％と、少なかったものの、「Ｐ　刑を終えて出所した人の就職が、容易に決まらないのは仕方ない」という意見を肯定する回答（『そう思う』）は 33.5％となっており、判断を保留する回答である「どちらともいえない」は２つの意見とも 30％を超えている。こうした自己責任論につながるような意見については、その問題点に気づくための情報提供が教育・啓発をとおして行われることが重要である。

「Ｉ　子育ての間は、母親は育児に専念するべきだ」という意見については、肯定回答（『そう思う』）が 16.8％にとどまっており、否定回答（『そう思わない』）が 56.2％と、半数を超えている。この意見は、いわゆる「三歳児神話」と呼ばれ、子どもが３歳までは母親が育児に専念すべきだというものである。こうした考え方は、第２次世界大戦後のヨーロッパにおいて施設養育を受ける乳幼児が増加したのだが、その子どもたちに愛着形成不全がみられると指摘されたことに由来する。ただこの指摘は、固定した特定の養育者ではなく、保育士が短時間で交代するという施設養育の特徴によって引き起こされる愛着形成不全であったが、この指摘が日本に紹介されたとき、母親が育

児に専念すべきだという内容に変容してしまったのである。「三歳児神話」については、数多くの専門家によって科学的に否定されてきたので、それが「神話」に過ぎないことが広く認識されるようになってきたのであろう。

問６の結果を年齢別にみると（14～18 ページ、図表 2-5-2)、「Ｆ　競争社会だから、競争に負けた人が不利益を受けるのは仕方がない」と「Ｐ　刑を終えて出所した人の就職が、容易に決まらないのは仕方ない」という意見については、10 歳代でこれらを肯定する回答（『そう思う』）が他の年齢に比べて多くなっている。10 歳代での肯定回答は「競争社会だから、競争に負けた人が不利益を受けるのは仕方ない」では全体の 15.8%に対して 36.2%、「刑を終えて出所した人の就職が、容易に決まらないのは仕方がない」では全体の 33.5%に対して 53.2%と、その割合の高さが目立っている。このように、自己責任論に依拠したような回答傾向が 10 歳代で顕著にみられることは、人権教育の大きな課題であるいえる。

一方、「Ｋ　介護を受ける高齢者は、あまり自己主張すべきではない」という意見については、80 歳以上で「そう思う」の割合が高くなっている。高齢者が自分の希望や思いを表に出すべきではないと考えているのであり、自分の権利の行使を抑制しているといえる。

「Ｉ　子育ての間は、母親は育児に専念するべきだ」という意見を肯定する回答（『そう思う』）は、70 歳代、80 歳以上で多くなっており、20 歳代まで年齢が若くなるにしたがって、肯定回答の割合は概ね低下している。若い年齢層ほど「三歳児神話」は根拠がないという情報に接する機会が多いのであろう。また、若い年齢層で、性別役割分担にとらわれない人が多いことも関係していると思われる。

３．人権問題への関心

関心のある人権問題をいくつでも選択する問７の回答結果をみると（20 ページ、図表 3-1-1)、「インターネット上の人権侵害」と「障害者」が最も多く（ともに 53%台)、次いで「子ども」「女性」「風評に基づく偏見や差別など、災害に伴う人権侵害」「高齢者」がつづき、回答割合はそれぞれ 40%台となっている。

前回調査と比べると、「HIV 感染者や肝炎、新型コロナなどの感染者・医療従事者やその家族」が前回の 10.1%から 22.8%へと、倍増しているが、これは新型コロナウイルス感染に関わる差別事象の多発が影響しているといえる。そして、「インターネット上の人権侵害」が 44.4%から 53.9%（9.5 ポイント増)、「アイヌの人々」が 7.6%から 14.7%（7.1 ポイント増）と、大幅な増加となっている。

性別・年齢別でみると（21 ページ、図表 3-1-2)、女性で「子ども」と「女性」の人権問題への関心が高く、10 歳代では「LGBTQ などの性的マイノリティ」と「外国人」、20 歳代では「LGBTQ などの性的マイノリティ」の人権問題についての関心が高くなっている。

行政が実施する人権に関する講演会や研修会への参加に関する設問である問 24 では、「参加したことがある」と回答した割合は、年齢が若くなるほど低くなっていた（56 ページ、図表 4-3-2)。このように、行政が実施する人権に関する行事に若年層の参加が少ないという傾向は、桑名市に限らず、全国的にみられるところである。行政主催の人権に関する行事などで、若年層の関心が高い「LGBTQ などの性的マイノリティ」や「外国人」といったテーマを取り入れ、若年層に届く情宣を工夫することによって、若年層の参加者増を図っていくことも大事である。

４．どのような人権問題が起きているか

今回の調査では前回に引き続き、各人権課題について、現在、どのような問題が起きているのか、それぞれ問うている。

女性に関する人権問題では（22 ページ、図表 3-2-1)、「セクシュアル・ハラスメントを受けること」「配偶者やパートナーから暴力などのドメスティック・バイオレンスを受けること」「「家事は女性」など男女の固定的な役割分担意識に基づく差別的取扱いを受けること」がそれぞれ 50％を超えており、前回調査と比較すると、「配偶者やパートナーから暴力などのドメスティック・バイオレンスを受けること」と「売春・買春の対象となること」が 10 ポイントほど増加し、「女性が管理職になりにくいなど職場において差別待遇を受けること」が 10 ポイントほど減少している。

子どもに関する人権問題では（24 ページ、図表 3-3-1)、「虐待を受けること」と「いじめを受けること」が多く、その割合は 75％前後となっている。前回調査との比較では、大きな差はみられず、「児童買春・児童ポルノなどの対象となること」が９ポイントほど増えている点が目立っている程度である。

高齢者に関する人権問題では（26 ページ、図表 3-4-1)、「悪徳商法、特殊詐欺の被害が多いこと」が 67.2％と、最も多くなっており、「病院での看護や介護施設において劣悪な処遇や虐待を受けること」「経済的に自立が困難なこと」がともに 40％台で、これにつづく。前回調査との比較では、「アパートなどへの入居を拒否されること」が 19.3％から 32.0％へと、13 ポイントほど増えている。

障害者に関する人権問題では（28 ページ、図表 3-5-1)、「就職・職場で不利な扱いを受けること」が最も多く（58.0％)、これに「職場・学校などで嫌がらせやいじめを受けること」(49.0％)、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」(43.0％)、「差別的な言葉を言われること」(42.6％)がつづく。前回調査との比較では、「障害があるというだけで施設利用を断られること」が 17.7％から 35.5％へと、倍増していることが目立っている。

同和問題に関する人権問題では（31 ページ、図表 3-6-3)、「交際や結婚を反対されること」が 73.5％と、最も多く、次いで「身元調査をされること」(45.2％)、「差別的な言葉を言われること」（44.7％）となっている。前回調査との比較では、大きな違いはみられないが、「特にない」が 1.9％から 8.9％に増えている点が違いとしてあげられる。

外国人に関する人権問題では（40 ページ、図表 3-11-1)、「風習や習慣などの違いが受け入れられないこと」が 44.6％と、最も多く、「就職・職場で不利な扱いを受けること」が 36.4％と、これにつづくが、外国人に関して起こっている人権問題については、それぞれの選択肢の回答割合が他の人権課題に比べて低くなっている。

たとえば、回答割合の高い上位６位の割合を合計すると、女性 256.0％、子ども 341.6％、高齢者 258.1％、障害者 265.2％、同和問題 258.3％、外国人 166.0％、インターネット 338.1％、性的マイノリティ 226.6％というように、外国人だけが回答割合の計が 200％を下回っている。回答割合の計が多いほど、多くの回答者が多くの選択肢を選んだということであり、外国人に関しては、現在起こっている人権問題として回答者が認識するものが少ないのであろう。また、アパートなどへの入居を拒否されたり、交際や結婚を反対されるなどの事象が起きていたとしても、それらを人権問題とはみなさないという回答者が多いのかもしれない。

すでにみたように、人権はすべての人が生まれながらにもっている権利であり、特定の人たちだけが例外扱いされてよいわけではない。日本に住む外国人について、実際にどのような人権侵害事象が起こっているのか、またそれが人権の視点からみてどう問題であるのか、教育・啓発で取り上げていく必要があるといえる。

インターネットに関する人権問題では（42 ページ、図表 3-12-1)、「他人を誹謗中傷する情報が掲載されること」が 81.4%と、最も多く、次いで「SNS などによる交流が犯罪を誘発する場となっていること」が 65.3%となっている。前回調査と比較すると、「他人を誹謗中傷する情報が掲載されること」が 15 ポイントほど、「他人に差別をしようとする気持ちを起こさせたり、それを助長するような情報が掲載されること」が 18 ポイントほど、前回調査の回答割合を上回っている。

性的マイノリティに関する人権問題では（46 ページ、図表 3-14-1)、「性的マイノリティに対する理解が不足しており、誤解や偏見があること」が 57.5%と、最も多く、「差別的な言葉を言われること」「じろじろ見られたり、避けられたりすること」「本人の了解を得ずに、性的指向・性自認について他人に伝えられること」「職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること」がそれぞれ 30%台となっている。

以上、それぞれの人権課題について、現在起こっている問題の回答割合をみてきたが、性的マイノリティを除く各図表では、内閣府の「人権擁護に関する世論調査」との比較が行われていた。それをみると、どの人権課題でも、ほとんどの項目について今回の調査結果が内閣府のそれを上回っている。これは、質問文が異なるためで、今回の調査では、「現在、どのような人権問題が起きていると思いますか」と問うたのに対し、内閣府の調査では「あなたが体験したことや、身の回りで見聞きしたことで、人権問題だと思ったことはどのようなことですか」と、回答者の体験や見聞きに限定して問うているので、内閣府の調査結果のほうが回答割合がそれぞれ低く出ているのである。

５．同和問題に関する設問について

問 14 では、同和問題に関する具体的な発言内容を５つ示し、ここ５年の間にこれらを聞いたことがあるか、聞いた場合は、その発言を聞いてどう思ったのかを問うている。

図表 3-8-1（34 ページ）の「聞いたことがない」と無回答の割合を除いたものがこの５年間に該当する発言を聞いた割合になるので、聞いたことのある割合は、「Ａ　部落差別等の同和問題には関わらないほうがよい」15.5%、「Ｂ　同和地区の人は、こわい」17.6%、「Ｃ　同和地区の人は、何かあると集団でおしかけてくる」13.8%、「Ｄ　同和地区の人は、言葉じりをとらえて差別だと問題にする人が多い」13.9%、「Ｅ　行政が同和地区の人にだけ特別な施策を行うのは不公平だ」24.4%であり、「行政が同和地区の人にだけ特別な施策を行うのは不公平だ」だけが 20%を超えている。このように、この５年間に限っても、同和問題に関する誤解や偏見にもとづく発言を聞くことは決して稀なことではないのである。

ただ前回調査と比較すると、聞いたことがあるという回答割合は、いずれの発言でも大幅に減少しており、「同和地区の人は、何かあると集団でおしかけてくる」では前回調査の 42.8%が今回調査では 13.8%へと、３分の１になっている。設問の形式は前回調査と大きく変わっていないので、６年間にこれほど大きな違いが生じることは考えられないことであるが、その理由についてはまったくわからない。

図表 3-8-1 に示した５つの発言をそれぞれ聞いた人がそれを聞いてどう思ったのかをみたのが

表１である。これは、過去５年間に５つの同和問題に関する発言を聞いたことがあると回答した人がそれを聞いたときにどう感じたのか、その発言の内容別に発言を聞いた人をそれぞれ 100 として割合を算出している。

表１ 同和問題に関する発言を聞いたことがあると回答した人がどう感じたか

(%)

	件数	その通りだと思った	そういう見方もあるのかと思った	疑問・反発を感じたが、相手には何も言わなかった	疑問・反発を感じ、相手にその気持ちを伝えた
A　部落差別等の同和問題には関わらないほうがよい	156	19.2	57.7	18.6	4.5
B　同和地区の人は、こわい	178	12.4	71.3	11.8	4.5
C　同和地区の人は、何かあると集団でおしかけてくる	139	20.1	66.9	9.4	3.6
D　同和地区の人は、言葉じりをとらえて差別だと問題にする人が多い	141	26.2	63.8	6.4	3.5
E　行政が同和地区の人にだけ特別な施策を行うのは不公平だ	248	49.2	43.1	5.6	2.0

これによると、「その通りだと思った」は、「行政が同和地区の人にだけ特別な施策を行うのは不公平だ」で 49.2%と、最も多くなっており、これ以外の４つの発言での「その通りだと思った」の回答割合を大きく上回っている。「その通りだと思った」の回答割合が最も低いのは「同和地区の人は、こわい」で、その割合の大きさは「行政が同和地区の人にだけ特別な施策を行うのは不公平だ」の４分の１程度となっている。

「疑問・反発を感じたが、相手には何も言わなかった」は、「部落差別等の同和問題には関わらないほうがよい」で 18.6%と、最も多く、次いで「同和地区の人は、こわい」が 11.8%となっている。逆に最も少ないのは「行政が同和地区の人にだけ特別な施策を行うのは不公平だ」で 5.6%であった。

このように、「行政が同和地区の人にだけ特別な施策を行うのは不公平だ」という発言を聞いた人の半数がその発言内容を「その通りだと思った」と肯定し、疑問・反発を感じたのは、相手にその気持ちを伝えた、伝えなかった、両者を合わせても、7.6%にすぎないのである。平成 14 年まで取り組まれてきた同和対策事業は、同和地区の低位な生活実態を改善し、周辺地域とのあいだにみられた大きな格差を解消する目的で行われてきたものであり、行政として同和対策事業に取り組む意義は大きかったのである。したがって、平成 14 年までの同和対策事業に対して多くの市民が不公平感をもっているのは、同和対策事業の意義が市民に十分に伝わっていない結果であり、啓発の大きな課題であるといえる。

また、他の発言についても、「行政が同和地区の人にだけ特別な施策を行うのは不公平だ」という発言に比べて「その通りだと思った」が少ないとはいえ、それらの発言を聞いた２割前後の人がその発言内容を肯定しているのであり、疑問・反発を感じた人が少ないことと合わせ、啓発の課題は大きいといえる。

問 15 は、「あなたは、恋愛をし結婚したいと思っている相手が同和地区の人だとわかった場合、あなたはどんな態度をとると思いますか」と問うたものであるが、その結果を示した図表 3-9-1（37 ページ）によると、「迷いながらも、結局は問題にしないだろう」が 39.1%で、最も多く、それに

「まったく問題にしない」（34.0%）がつづく。そして、「迷いながらも、結局は考え直すだろう」は 17.1%、「考え直すだろう」は 5.5%であった。

これを年齢別にみると（37 ページ、図表 3-9-2)、「まったく問題にしない」は年齢が若くなるほど多く、60 歳以上では 30%を下回っているのに対し、20 歳代では 61.3%、10 歳代では 77.7%となっている。そして、10 歳代では「考え直すだろう」という回答はなく、「迷いながらも、結局は考え直すだろう」は 2.1%、「迷いながらも、結局は問題にしないだろう」は 19.1%にすぎないのである。このように、結婚希望相手が同和地区出身者だとわかった場合の態度は、年齢によって大きな違いがみられるのである。

こうした傾向は、結婚相手が同和地区出身者であるということを理由に家族から結婚を反対されている親戚から相談を受けた際の態度を問うた問 16 の結果でも同様である。図表 3-10-2（39 ページ）によると、「反対する家族を説得するなど、力になろうと言う」と「迷うことはない、自分の意思を貫いて結婚すべきだと言う」は、年齢が若くなるほど、その割合は概ね上昇しており、「どう言えばよいのかわからない」の割合は、30 歳以上の年齢層では 30%台であるのに対して、10 歳代、20 歳代では 15%を下回っている。

このように、同和地区出身者との結婚に関する設問の結果からは、同和地区出身者に対する忌避意識は、年齢の若い人ほど弱くなっているといえる。

６．人権教育・研修について

人権学習を受けた経験について問うた結果を示した図表 4-2-1（53 ページ）によると、同和問題については、「小・中学校、高校で受けた」が 36.6%、「職場の研修で受けた」が 11.2%であり、「大学、短大、専門学校で受けた」「住民対象の講座などで受けた」「上記以外のところで受けた」はそれぞれ４％未満であった。

同和問題に関する人権教育・研修の効果をみるため、回答者が 100 人を超えている、小・中学校、高校で同和問題学習を受けた人、職場の研修で同和問題学習を受けた人、同和問題の学習を受けたことがない人、それぞれが同和地区出身者との結婚を家族から反対されている親戚から相談を受けた際、どのような対応をとると回答したのかをみたものが表２である。

表 2 同和問題について学習した経験別結婚の相談に対する対応

(%)

	件数	反対する家族を説得するなど、力になろうと言う	迷うことはない、自分の意思を貫いて結婚すべきだと言う	取りやめも含めて考え直したらどうかと言う	あきらめるように言う	どう言えばよいのかわからない	無回答
小・中・高校で受けた	371	20.8	41.8	7.3	0.5	29.1	0.5
職場の研修で受けた	114	27.2	40.4	7.9	-	23.7	0.9
受けたことはない	310	11.6	34.5	12.6	2.3	36.1	2.9

これによると、「反対する家族を説得するなど、力になろうと言う」という積極的な対応は、「小・

中・高校で受けた」「職場の研修で受けた」で多く、「迷うことはない、自分の意思を貫いて結婚すべきだと言う」も学習経験があるほうが多くなっている。そして、「取りやめも含めて考え直したらどうかと言う」と「どう言えばよいのかわからない」という対応は、同和問題についての学習経験がない人で多い。

このように、表２からは同和問題についての学習の効果が大きいことがうかがわれるのであり、その効果は職場の研修のほうが小・中・高校での学習よりもやや大きいといえる。

表３は、障害者の人権、外国人の人権、性的マイノリティの人権についての学習経験別に、それぞれの人権に関する意見や考え方に対する回答結果をみたものである。これについても、回答者が60人を超えている「小・中学校、高校で受けた」「職場の研修で受けた」「受けたことはない」の３グループを比較している。

表３ 人権学習の経験別人権に関する意見や考え方に対する回答

(%)

			件数	『そう思う』	どちらともいえない	『そう思わない』	無回答
F　競争社会だから、競争に負けた人が不利益を受けるのは仕方がない	障害者の人権	小・中・高校で受けた	217	21.6	22.1	56.2	－
		職場の研修で受けた	110	7.3	29.1	63.6	－
		受けたことはない	372	16.7	22.8	58.9	1.6
J　障害のある児童生徒は、別の教室で学習したほうがよい		小・中・高校で受けた	217	17.5	39.6	42.4	0.5
		職場の研修で受けた	110	9.1	45.5	45.5	－
		受けたことはない	372	18.8	39.0	41.1	1.1
L　外国人住民は、もっと日本の文化にとけ込む努力をするべきだ	外国人の人権	小・中・高校で受けた	89	33.7	23.6	42.7	－
		職場の研修で受けた	70	35.7	31.4	32.9	－
		受けたことはない	533	43.5	34.9	20.5	1.1
M　知人から性的マイノリティだと打ち明けられたら、どう接するべきかわからない	性的マイノリティの人権	小・中・高校で受けた	64	29.7	17.2	53.1	－
		職場の研修で受けた	84	19.0	28.6	52.4	－
		受けたことはない	592	32.6	30.7	35.3	1.4

この表の見方であるが、４つの欄の１番目についてみると、障害者の人権に関する学習を「小・中・高校で受けた」「職場の研修で受けた」「受けたことはない」というそれぞれの人が「競争社会だから、競争に負けた人が不利益を受けるのは仕方がない」という意見に対して、どう回答したかを示している。たとえば、障害者の人権に関する学習を「小・中・高校で受けた」という人では、「競争社会だから、競争に負けた人が不利益を受けるのは仕方がない」という意見に対して『そう思う』と回答した割合が21.6%、『そう思わない』との回答が56.2%であったことを表している。

これによると、障害者の人権については、「競争社会だから、競争に負けた人が不利益を受けるのは仕方がない」「障害のある児童生徒は、別の教室で学習したほうがよい」という意見に『そう思う』と回答したのは、障害者の人権について職場の研修で受けたという人で少なくなっているが、小・中・高校で受けたという人については、受けたことはないという人とほとんど変わらない回答割合となっている。

外国人の人権については、「外国人住民は、もっと日本の文化にとけ込む努力をするべきだ」とい

う意見に『そう思う』と回答したのは、外国人の人権についての学習を受けたことがない人よりも小・中・高校や職場で学習した人のほうが少なく、『そう思わない』と回答したのは小・中・高校や職場で学習した人のほうが多くなっている。

性的マイノリティの人権については、「知人から性的マイノリティだと打ち明けられたら、どう接するべきかわからない」という意見に対して『そう思わない』と回答したのは、それの学習経験がない人よりも小・中・高校や職場で学習した人のほうが多く、『そう思う』と回答したのは、職場で研修を受けたという人で少なかった。

このように、人権学習の経験があるという人のほうが経験がない人に比べてそれぞれの人権に対する理解が高い傾向にあり、その傾向は職場での研修のほうがやや高く表れているといえる。小・中・高校での学習よりも職場での研修のほうが、それを受ける側に人権問題について学ぶ意義やねらいがより自覚されているという点がこの差となって表れていると考えられる。

７．クロス集計からみえてくるもの

問 24 では行政が実施する人権に関する講演会や研修会に参加した経験を問うているが、その経験の有無と人権に関する宣言・条約・法律・条例の周知度を問うた問５の回答結果をクロス集計すると（12 ページ、図表 2-4-3)、人権に関する講演会等に参加したことがあると回答した人のほうが参加したことがない人に比べて、11 項目すべてで『知っている』が多くなっている。人権に関する講演会等に参加した経験のある人ほど、人権に関する宣言や条約などの周知度が高いのである。

人権に関する講演会等への参加の有無と、人権や差別に関する意見や考え方についてどう思うのかを問うた問６の回答結果をクロス集計した図表 2-5-3（19 ページ）をみると、「Ｂ　人権に関する正しい知識を身につけるため、もっと学ぶ機会を持つべきだ」と「Ｄ　非合理的な因習や風習、誤った固定観念にとらわれないことが大切だ」については、「参加したことがある」のほうが「参加したことがない」に比べて『そう思う』が多くなっており、「Ｅ　人権には必ず義務がともなう」「Ｈ　いじめは、いじめられる側にも問題がある」「Ｋ　介護を受ける高齢者は、あまり自己主張すべきではない」「Ｐ　刑を終えて出所した人の就職が、容易に決まらないのは仕方ない」については、「参加したことがある」のほうが『そう思わない』が多くなっているのである。このように、人権に関する講演会等に参加した経験のある人のほうが人権意識が高いことをうかがわせる結果となっている。

人権に関する講演会等に参加したことがある人のほうが人権意識が高いという結果については、講演会等に参加したことによって人権意識が高くなったというより、人権意識の高い人（人権問題に関心をもつ人）が講演会等により多く参加しているという傾向があるためといえよう。しかし、講演会に参加し、さまざまな人権に関する情報にふれることは、人権に関する知識のアップデートにつながり、人権意識の向上に役立つことは確かである。したがって、16.6％にとどまっている、行政が実施する人権に関する講演会等に参加したことがあるという回答割合を上昇させていく取り組みが重要である。

表４は、問６の「Ｅ　人権には必ず義務がともなう」と「Ｆ　競争社会だから、競争に負けた人が不利益を受けるのは仕方がない」という意見に関する回答別に問６の６つの意見に対して『そう思わない』(「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせたもの）と回答した割合を示している。

表４ 人権と競争社会に関する回答別にみた問6の『そう思わない』の回答割合

(%)

		件数	F 競争社会だから、競争に負けた人が不利益を受けるのは仕方がない	H いじめは、いじめられる側にも問題がある	J 障害のある児童生徒は、別の教室で学習したほうがよい	K 介護を受ける高齢者は、あまり自己主張すべきではない	L 外国人住民は、もっと日本の文化にとけ込む努力をするべきだ	P 刑を終えて出所した人の就職が、容易に決まらないのは仕方ない
			『そう思わない』					
E 人権には必ず義務がともなう	『そう思う』	588	54.6	49.3	40.6	58.2	20.9	31.0
	どちらともいえない	285	51.6	48.1	39.6	55.1	22.1	26.0
	『そう思わない』	112	81.3	72.3	55.4	77.7	40.2	36.6
F 競争社会だから、競争に負けた人が不利益を受けるのは仕方がない	『そう思う』	160	-	32.5	23.1	38.8	16.3	10.0
	どちらともいえない	266	-	38.7	28.2	46.2	13.9	17.7
	『そう思わない』	570	-	63.0	53.7	71.6	30.2	41.9

この表の見方を説明すると、たとえば、「人権には必ず義務がともなう」という意見を肯定した人（『そう思う』588 人）が「競争社会だから、競争に負けた人が不利益を受けるのは仕方がない」という意見に対して『そう思わない』と回答した割合は 54.6%であるのに対し、「人権には必ず義務がともなう」という意見を否定した人（『そう思わない』112 人）では、「競争社会だから、競争に負けた人が不利益を受けるのは仕方がない」という意見に対して 81.3%が『そう思わない』と回答していると表している。

表４によると、「人権には必ず義務がともなう」という意見を肯定する人より否定する人のほうが「競争社会だから、競争に負けた人が不利益を受けるのは仕方がない」という意見を否定する回答割合が多いことがわかる。これは他の意見についても同様で、「人権には必ず義務がともなう」という意見を否定する人のほうが、それぞれの意見に対して『そう思わない』と回答する割合が高くなっているのである。

すでに述べたように、「人権には必ず義務がともなう」という意見は間違っており、この意見を否定する人のほうが（権利について正しく理解している人のほうが）、自己責任論に依拠したような意見（「競争社会だから、競争に負けた人が不利益を受けるのは仕方がない」「いじめは、いじめられる側にも問題がある」「刑を終えて出所した人の就職が、容易に決まらないのは仕方ない」）や社会的弱者・少数者の権利を軽視するような意見（「障害のある児童生徒は、別の教室で学習したほうがよい」「介護を受ける高齢者は、あまり自己主張すべきではない」「外国人住民は、もっと日本の文化にとけ込む努力をするべきだ」）を否定する回答が多いのである。とりわけ、「競争社会だから、競争に負けた人が不利益を受けるのは仕方がない」と「いじめは、いじめられる側にも問題がある」では、『そう思わない』の割合が、「人権には必ず義務がともなう」という意見を肯定する回答者よりも否定する回答者のほうで 20 ポイント以上、高くなっており、「外国人住民は、もっと日本の文化にとけ込む努力をするべきだ」という意見に対して『そう思わない』と回答した割合は、「人権には必ず義務がともなう」という意見を否定するほうが肯定する回答者の２倍ほどの大きさになっている。このように、権利に関する理解が高い人ほど、人権意識も高いといえる。

一方、「競争社会だから、競争に負けた人が不利益を受けるのは仕方がない」という意見を否定した人（『そう思わない』570 人）は、この意見を肯定した人（『そう思う』160 人）よりも「いじめは、いじめられる側にも問題がある」という意見に対して『そう思わない』と回答した割合が 30 ポイントほど高くなっている。そして、他の意見についても同様の傾向がみられ、「障害のある児童生徒は、別の教室で学習したほうがよい」「介護を受ける高齢者は、あまり自己主張すべきではない」「刑を終えて出所した人の就職が、容易に決まらないのは仕方がない」では、『そう思わない』の割合が 30 ポイント以上、高くなっている。

前述したように、「競争社会だから、競争に負けた人が不利益を受けるのは仕方ない」という意見は、競争の結果、生じた不利益をすべて個人に帰する考え方であり、人権の観点から間違っている。こうした自己責任論に依拠したような意見を否定する人のほうが人権意識が高くなっているのである。

表４の結果からは、権利についての理解を高め、自己責任論の間違いに気づく教育・啓発が人権意識を高めることになるといえる。

表５は、「そっとしておけば、部落差別は自然となくなる」という意見に対する回答別に同和問題に関する発言を聞いたときにどう感じたのかをみたものである。

表５「そっとしておけば、部落差別は自然になくなる」という意見に対する回答別 同和問題に関する発言を聞いた際にどう感じたか

（%）

	G　そっとしておけば、部落差別は自然になくなる	件数	その通りだと思った	そういう見方もあるのかと思った	疑問・反発を感じたが、相手には何も言わなかった	疑問・相手にその気持ちを伝えた、反発を感じた
A　部落差別等の同和問題には関わらないほうがよい	『そう思う』	21	47.6	42.9	4.8	4.8
	どちらともいえない	47	12.8	68.1	19.1	－
	『そう思わない』	86	16.3	57.0	19.8	7.0
B　同和地区の人はこわい	『そう思う』	31	29.0	64.5	3.2	3.2
	どちらともいえない	55	10.9	76.4	12.7	－
	『そう思わない』	89	6.7	70.8	14.6	7.9
C　同和地区の人は、何かあると集団でおしかけてくる	『そう思う』	24	33.3	58.3	4.2	4.2
	どちらともいえない	45	8.9	77.8	13.3	－
	『そう思わない』	68	23.5	61.8	8.8	5.9
D　同和地区の人は、言葉じりをとらえて差別だと問題にする人が多い	『そう思う』	25	44.0	48.0	4.0	4.0
	どちらともいえない	49	20.4	71.4	8.2	－
	『そう思わない』	65	23.1	64.6	6.2	6.2
E　行政が同和地区の人にだけ特別な施策を行うのは不公平だ	『そう思う』	45	68.9	28.9	－	2.2
	どちらともいえない	77	37.7	54.5	6.5	1.3
	『そう思わない』	123	48.8	41.5	7.3	2.4

これによると、いずれの発言についても「そっとしておけば、部落差別は自然となくなる」という意見を肯定する人（『そう思う』）のほうが否定する人（『そう思わない』）よりも、同和問題に関する誤解や偏見にもとづいた発言に対して「その通りだと思った」という回答が多くなっている。そして、これらの発言に疑問・反発を感じたのは、いずれも「そっとしておけば、部落差別は自然となくなる」という意見を否定するほうが多くなっているのである。

このように、いわゆる「寝た子を起こすな」という考え方を肯定する人のほうが同和問題に関する誤解や偏見にもとづく発言をそのまま受け入れる傾向が強く、それらの発言に疑問・反発を感じる人が少ないのである。したがって、「寝た子を起こすな」という考え方がどういう点で間違っているのか、それを伝える教育・啓発を行うことが同和問題に対する理解を高めることにつながるといえよう。

なお、表５では「そっとしておけば、部落差別は自然となくなる」という意見に対して「どちらともいえない」と回答した人について、「同和地区の人は、こわい」という発言を除く４つの発言で「その通りだと思った」の回答割合が『そう思わない』よりも低くなっているが、その理由についてはわからない。

人権問題に関する意識調査

ご協力のお願い

市民の皆様には、日頃から市政全般にわたり、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

桑名市では、市民一人ひとりが自らの人権意識を高め、すべての人々の人権が守られるまちを実現することをめざしており、今後の施策を進めていく上での基礎資料とするため、「人権問題に関する意識調査」を実施することにいたしました。

このアンケート調査は、市内にお住まいの方の中から3,000名を無作為に選び、ご協力をお願いしております。ご回答いただいた内容は統計的に処理し、個人の回答が公表されることはありません。また、調査目的以外には使用いたしませんので、日頃のお考えをそのままお答えください。

お忙しいところ恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和６年 ９月　　桑名市長　伊藤徳宇

～ご記入に際してのお願い～

１．アンケートには、封筒のあて名の方ご本人がご回答ください。
２．アンケートは選択式です。あてはまるものの番号を○印で囲んでください。
３．質問によっては、ご回答いただく方が限られる場合がありますので、案内にそってお答えください。
４．記入後は無記名のまま、同封の返信用封筒に入れて、**10 月 2日（水）まで**にポストへお入れください（切手は不要です）。

★右のＱＲコードまたは下記のＵＲＬアドレスから、同じ内容のＷｅｂアンケートにご回答いただけます。

https://src.webcas.net/form/pub/src/24205a

Ｗｅｂでご回答いただいた場合は、この用紙を返送していただく必要はありません。

この調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

桑名市役所 人権政策課　電話：＜０５９４＞２４－１１９３

※令和６年７月31日現在の住民票に基づきお送りしています。

問１－Ａ　あなたの性別を選んでください。（あなたが自認されている性別をお答えください。）

1　男性	2　女性	3　いずれでもない

問１－Ｂ　あなたの年齢を選んでください。

1　10歳代	4　40歳代	7　70歳代
2　20歳代	5　50歳代	8　80歳以上
3　30歳代	6　60歳代	

問１－Ｃ　あなたのお住まいの小学校区を選んでください。

1　日進小学校区	11　七和小学校区	21　多度中小学校区
2　精義小学校区	12　久米小学校区	22　多度東小学校区
3　立教小学校区	13　深谷小学校区	23　多度北小学校区
4　城東小学校区	14　城南小学校区	24　多度青葉小学校区
5　益世小学校区	15　大山田東小学校区	25　長島北部小学校区
6　修徳小学校区	16　大山田北小学校区	26　長島中部小学校区
7　大成小学校区	17　大山田西小学校区	27　伊曽島小学校区
8　大和小学校区	18　大山田南小学校区	28　わからない
9　桑部小学校区	19　藤が丘小学校区	
10　在良小学校区	20　星見ヶ丘小学校区	

※性別、年齢、お住まいの小学校区は、調査結果の分析に使用する項目であるため質問するものです。

問２　あなたは、この５年の間に自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。あてはまるものを１つだけ選んでください。

1　ある　→**問３、問４へ**	2　ない　→**問５へ**

問3　問2で「1　ある」と答えた方にお聞きします。ご自分の人権が侵害されたと思ったのは、どのような場合ですか。あてはまるものすべてを選んでください。

1　あらぬうわさ、悪口で名誉・信用を傷つけられた
2　人種・信条・性別・社会的身分などによる差別的待遇を受けた
3　暴力・脅迫・強要を受けた
4　学校や地域などで、仲間はずれやいじめなどを受けた
5　家庭で虐待（子ども虐待、高齢者虐待、障害者虐待を含む）を受けた
6　ドメスティック・バイオレンス（配偶者やパートナーからの暴力）を受けた
7　プライバシーを侵害された
8　セクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）を受けた
9　パワー・ハラスメント（職場などで地位や権限などを利用したいやがらせ）を受けた
10　カスタマー・ハラスメント*を受けた
11　公的機関や企業、団体などによって不当な扱いを受けた
12　性的マイノリティであることで不当な扱いを受けた
13　その他（　　）

＊　**カスタマー・ハラスメント**
顧客などからの暴行、脅迫、ひどい暴言、不当な要求などの著しい迷惑行為。

問4　問2で「1　ある」と答えた方にお聞きします。人権侵害を受けたとき、あなたはどのような対応をしましたか。あてはまるものすべてを選んでください。

1　相手に抗議した
2　家族や友人など身近な人に相談した
3　職場の上司や学校の先生などに相談した
4　国の機関（法務局、労働局など）の相談窓口に相談した
5　県の機関（三重県人権センター、三重県女性相談支援センターなど）の相談窓口に相談した
6　市の相談窓口に相談した
7　ＮＰＯなどの民間の相談窓口に相談した
8　人権擁護委員に相談した
9　民生委員・児童委員に相談した
10　法テラス・弁護士に相談した
11　警察に相談した
12　何もせず、我慢した
13　その他（　　）

問５　あなたは、次のような人権に関する宣言・条約・法律・条例などを知っていますか。

Ａ～Ｋのそれぞれについて、あてはまるものを１つずつ選んでください。

	内容（趣旨）を知っている	あることは知っている	知らない
Ａ　障害者差別解消法（2016年、2024年改正）（※１）	1	2	3
Ｂ　ヘイトスピーチ解消法（2016年）（※２）	1	2	3
Ｃ　部落差別解消推進法（2016年）（※３）	1	2	3
Ｄ　アイヌ施策推進法（2019年）（※４）	1	2	3
Ｅ　ＬＧＢＴ理解増進法（2023年）（※５）	1	2	3
Ｆ　子どもの権利条約（1994年批准）	1	2	3
Ｇ　差別を解消し、人権が尊重される三重をつくる条例（2022年）	1	2	3
Ｈ　桑名市における部落差別撤廃及びあらゆる差別撤廃に関する条例（2004年）	1	2	3
Ｉ　桑名市男女共同参画推進条例（2009年）	1	2	3
Ｊ　桑名市の人権尊重都市宣言（2005年）	1	2	3
Ｋ　子どもの笑顔を守るまち　くわな～子どもを虐待から守る都市宣言～（2013年）	1	2	3

（※１）障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律

（※２）本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律

（※３）部落差別の解消の推進に関する法律

（※４）アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律

（※５）性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律

問6　人権や差別をめぐる以下の考え方について、あなたはどのようにお考えですか。
A～Pのそれぞれについて、あてはまるものを1つずつ選んでください。

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
A 差別される人の言葉をきちんと聞く必要がある	1	2	3	4	5
B 人権に関する正しい知識を身につけるため、もっと学ぶ機会を持つべきだ	1	2	3	4	5
C 自分の権利とともに、他人の権利も尊重する必要がある	1	2	3	4	5
D 非合理な因習や風習、誤った固定観念にとらわれないことが大切だ	1	2	3	4	5
E 人権には必ず義務がともなう	1	2	3	4	5
F 競争社会だから、競争に負けた人が不利益を受けるのは仕方がない	1	2	3	4	5
G そっとしておけば、部落差別は自然になくなる	1	2	3	4	5
H いじめは、いじめられる側にも問題がある	1	2	3	4	5
I 子育ての間は、母親は育児に専念するべきだ	1	2	3	4	5
J 障害のある児童生徒は、別の教室で学習したほうがよい	1	2	3	4	5
K 介護を受ける高齢者は、あまり自己主張すべきではない	1	2	3	4	5
L 外国人住民は、もっと日本の文化にとけ込む努力をするべきだ	1	2	3	4	5
M 知人から性的マイノリティだと打ち明けられたら、どう接するべきかわからない	1	2	3	4	5
N 災害時の避難所で、プライバシーが確保できないのはやむを得ない	1	2	3	4	5
O カスタマー・ハラスメントは、顧客に迷惑をかけた側にも問題がある	1	2	3	4	5
P 刑を終えて出所した人の就職が、容易に決まらないのは仕方ない	1	2	3	4	5

問7　日本における人権問題について、あなたの関心があるものはどれですか。

あてはまるものすべてを選んでください。

1　女性
2　子ども
3　高齢者
4　障害者
5　部落差別・同和問題
6　アイヌの人々
7　外国人
8　ＨＩＶ*感染者や肝炎、新型コロナなどの感染者・医療従事者やその家族
9　ハンセン病*回復者
10　刑を終えて出所した人やその家族
11　犯罪被害者やその家族
12　インターネット上の人権侵害
13　北朝鮮当局によって拉致された被害者やその家族
14　ホームレス
15　LGBTQ*などの性的マイノリティ
16　性的サービスや労働の強要などの人身取引
17　風評に基づく偏見や差別など、災害に伴う人権侵害
18　その他（　　）
19　特にない

＊　HIV

HIV とは、ヒト免疫不全ウイルスのことで、エイズという病気を引き起こすウイルスである。

＊　ハンセン病

ハンセン病は、慢性の感染症で、決して隔離療養する必要のない病気だが、日本では、1996年までハンセン病にかかった患者を隔離するよう規定した法律があった。それにより、患者は長い間、療養所で生活を送らざるを得ず、著しく人権を侵害されてきた。現在の日本ではハンセン病にかかる人はほとんどおらず、ハンセン病回復者と呼ぶことが一般的となっている。また、回復者をハンセン病元患者と呼ぶこともある。

＊　LGBTQ

LGBTQ とは、性的マイノリティの方を表す総称の 1 つで、レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、クエスチョニング／クィアの頭文字をまとめたもの。同性に恋愛感情をもつ人や、自分の性に違和感がある人などのことをいう。

問８　あなたは、女性に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。
あてはまるものすべてを選んでください。

1　「家事は女性」など男女の固定的な役割分担意識に基づく差別的取扱いを受けること
2　「婦人」、「未亡人」のように女性だけに用いられる言葉が使われること
3　女性が管理職になりにくいなど職場において差別待遇を受けること
4　セクシュアル・ハラスメントを受けること
5　配偶者やパートナーから暴力などのドメスティック・バイオレンスを受けること
6　売春・買春の対象となること
7　その他（　　）
8　特にない

問９　あなたは、子どもに関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。
あてはまるものすべてを選んでください。

1　いじめを受けること
2　体罰を受けること
3　虐待を受けること
4　いじめ、体罰や虐待について、周りの人が気がついているのに何もしないこと
5　学校や就職先の選択などに関する子どもの意見について、大人がその意見を無視すること
6　児童買春・児童ポルノなどの対象となること
7　その他（　　）
8　特にない

問10　あなたは、高齢者に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。
あてはまるものすべてを選んでください。

1　働く能力を発揮する機会が少ないこと
2　差別的な言葉を言われること
3　悪徳商法、特殊詐欺の被害が多いこと
4　アパートなどへの入居を拒否されること
5　家庭内での看護や介護において嫌がらせや虐待を受けること
6　病院での看護や介護施設において劣悪な処遇や虐待を受けること
7　高齢者が邪魔者扱いされること
8　高齢者の意見や行動が尊重されないこと
9　経済的に自立が困難なこと
10　その他（　　）
11　特にない

問11　あなたは、障害者に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。
あてはまるものすべてを選んでください。

1　職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること
2　交際や結婚を反対されること
3　就職・職場で不利な扱いを受けること
4　差別的な言葉を言われること
5　悪徳商法の被害が多いこと
6　アパートなどへの入居を拒否されること
7　障害の種類や程度等について考慮されず、障害があるというだけで施設利用を断られること
8　スポーツ・文化活動・地域活動に気軽に参加できないこと
9　じろじろ見られたり、避けられたりすること
10　その他（　　）
11　特にない

問12　あなたは、日本の社会に「同和地区*」とか「被差別部落」とよばれるところがあり、そこの出身であるとか、そこに住んでいるというだけの理由で差別される社会問題を知っていますか。あてはまるものを１つだけ選んでください。

1　よく知っている 2　少しは知っている	→問12－１へ
3　聞いたことがある 4　まったく知らない	→問13 へ

問12－１　あなたは、部落差別・同和問題に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。あてはまるものすべてを選んでください。

1　交際や結婚を反対されること
2　就職で不利な扱いを受けること
3　職場で不利な扱いを受けること
4　不動産取引で不利な扱いを受けること
5　差別的な言葉を言われること
6　差別的な落書きや貼り紙などをされること
7　身元調査をされること
8　インターネットを利用して差別的な情報が掲載されること
9　えせ同和行為*がなされること
10　その他（　　）
11　特にない

＊　えせ同和行為

同和問題を口実に企業や官公庁等に不当な要求をする行為。

問13　あなたは、同和地区*や同和地区の人に対する差別意識が、現状はどのようになっていると思いますか。あてはまるものを１つだけ選んでください。

1　差別意識は前よりも強くなっている
2　差別意識は現在もあまり変わらず残っている
3　差別意識は薄まりつつあるが、まだ残っている
4　差別意識はもはや残っていない
5　わからない

＊　同和地区

我が国では同和問題の解決に向け、平成14年３月に「地域改善対策特定事業にかかる国の財政上の特別措置に関する法律」が失効するまでの間、同和地区の環境改善や同和教育・人権啓発などの取り組みが積極的に進められてきた。その際、取り組みを進める対象地域として、法に基づき一定の地域が指定されており、この調査の中で「同和地区」という用語を使う場合、この法律によって指定されていた対象地域を示している。

問14　あなたは、ここ５年の間に、日常生活の中で部落差別等の同和問題について、次のようなことを聞いたことがありますか。そのときに、あなたはどのように思いましたか。また、どうしましたか。

Ａ～Ｅのそれぞれについて、あてはまるものを１つずつ選んでください。

※人権に関する授業、研修、学習会で聞いた場合は除く。

	ここ5年の間に、聞いたことがない	ここ5年の間に、聞いたことがある			
		その通りだと思った	そういう見方もあるのかと思った	疑問・反発を感じたが、相手には何も言わなかった	疑問・反発を感じ、相手にその気持ちを伝えた
A　部落差別等の同和問題には関わらないほうがよい	1	2	3	4	5
B　同和地区の人は、こわい	1	2	3	4	5
C　同和地区の人は、何かあると集団でおしかけてくる	1	2	3	4	5
D　同和地区の人は、言葉じりをとらえて差別だと問題にする人が多い	1	2	3	4	5
E　行政が同和地区の人にだけ特別な施策を行うのは不公平だ	1	2	3	4	5

問15　あなたは、恋愛をし結婚したいと思っている相手が同和地区の人だとわかった場合、あなたはどんな態度をとると思いますか。あてはまるものを<u>１つだけ</u>選んでください。

1　まったく問題にしない
2　迷いながらも、結局は問題にしないだろう
3　迷いながらも、結局は考え直すだろう
4　考え直すだろう

問16　相手が同和地区の人であるということを理由に、家族から結婚を反対されている親戚がいるとします。あなたがその方から相談を受けた場合、どのような態度をとると思いますか。最も考えに近い番号を<u>１つだけ</u>選んでください。

1　反対する家族を説得するなど、力になろうと言う
2　迷うことはない、自分の意思を貫いて結婚すべきだと言う
3　取りやめも含めて考え直したらどうかと言う
4　あきらめるように言う
5　どう言えばよいのかわからない

問17　あなたは、日本に居住している外国人に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。あてはまるもの<u>すべて</u>を選んでください。

1　職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること
2　交際や結婚を反対されること
3　就職・職場で不利な扱いを受けること
4　アパートなどへの入居を拒否されること
5　宿泊などの施設の利用や、店舗などへの入店を拒否されること
6　風習や習慣などの違いが受け入れられないこと
7　じろじろ見られたり、避けられたりすること
8　その他（　　）
9　特にない

問18　あなたは、インターネットによる人権侵害に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。あてはまるものすべてを選んでください。

1	他人を誹謗中傷する情報が掲載されること
2	他人に差別をしようとする気持ちを起こさせたり、それを助長するような情報が掲載されること
3	SNS*などによる交流が犯罪を誘発する場となっていること
4	捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真が掲載されること
5	プライバシーに関する情報が掲載されること
6	リベンジポルノ*が存在すること
7	その他（　　）
8	特にない

＊　SNS

ソーシャルネットワーキングサービスの略で、インターネット上で交流できる仕組み。

＊　リベンジポルノ

元交際相手などの性的な画像などを、相手の同意を得ることなく、SNS やインターネットの掲示板などに公表する行為。

問19　インターネット上で、他人を誹謗中傷する表現や差別を助長する表現などの情報が掲載されることがあります。このようなことについて、あなたはどう思いますか。あてはまるものを１つだけ選んでください。

1	自分とは関係のないことだと思う
2	とりたてて騒ぐほどの問題ではないと思う
3	人権侵害だと思う
4	わからない

問20　あなたは、性的マイノリティ（LGBTQ等）に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。あてはまるものすべてを選んでください。

1　職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること
2　就職・職場で不利な扱いを受けること
3　差別的な言葉を言われること
4　じろじろ見られたり、避けられたりすること
5　宿泊などの施設の利用や、店舗などへの入店を拒否されること
6　アパートなどへの入居を拒否されること
7　性的マイノリティに対する理解が不足しており、誤解や偏見があること
8　本人の了解を得ずに、性的指向・性自認について他人に伝えられる（アウティング）こと
9　その他（　　）
10　特にない

問21　あなたは、ここ５年の間にヘイトスピーチ*を伴うデモ、集会、街宣活動等を見たり聞いたりしたことがありますか（テレビ等で見たことも含む）。あてはまるものを１つだけ選んでください。

1　ある　→**問21－１へ**　　2　ない　　3　わからない　→**問22へ**

＊　ヘイトスピーチ
特定の民族や国籍の人々を排斥する不当な差別的言動が、一般に「ヘイトスピーチ」と呼ばれている。

問21－１　あなたは、そのようなデモ等を見聞きしてどのように思いましたか。あてはまるものすべてを選んでください。

1　不愉快と思った
2　日本に対する印象が悪くなると思った
3　自分には関係ないと思った
4　ヘイトスピーチをされる側に問題があると思った
5　「表現の自由」の範囲内のものだと思った
6　外国籍住民などに対する人権侵害だと思った
7　その他（　　）
8　何も思わなかった

問22　あなたは、人権に関する企業の社会的責任として、どのようなことが重要だと思いますか。あてはまるものすべてを選んでください。

1　差別のない公正な採用	8　ユニバーサルデザイン*に配慮した設備の設置
2　男女間の公正な処遇	9　その他
3　個人情報の適切な管理	（　　）
4　障害者雇用	10　特にない
5　社員を対象とした人権研修	11　わからない
6　安全で働きやすい環境の確保	
7　パワー・ハラスメント（職場などで地位や権限などを利用したいやがらせ）などの相談窓口の設置	

＊　**ユニバーサルデザイン**
年齢や障害の有無などにかかわらず、最初からできるだけ多くの人が利用可能であるようにデザインすること。

問23　あなたは、学校や職場、地域で、次のような人権学習を受けたことがありますか。A～Dのそれぞれについて、あてはまるものすべてを選んでください。

	受けたことがある					受けたことはない	はっきりと覚えていない
	小・中学校、高校で受けた	大学、短大、専門学校で受けた	住民対象の講座などで受けた	職場の研修で受けた	左記以外のところで受けた		
A　部落差別等の同和問題	1	2	3	4	5	6	7
B　障害者の人権	1	2	3	4	5	6	7
C　外国人の人権	1	2	3	4	5	6	7
D　性的マイノリティの人権	1	2	3	4	5	6	7

問24　あなたは、これまでに、行政が実施する人権に関する講演会や研修会に参加したことがありますか。あてはまるものを１つだけ選んでください。

1　参加したことがある	2　参加したことはない

問25　あなたは、現在桑名市が行っている次のような人権に関する啓発活動をご存じですか。あてはまるものすべてを選んでください。

1　人権相談窓口での相談受付
2　広報への人権啓発記事の掲載
3　人権に関するポスターやステッカー広告の掲出、懸垂幕等の設置による啓発
4　メディアを利用した人権啓発
5　人権に関する講座や講演会
6　人権週間（12月４日~12月10日）における講演会（人権フェスタ）の開催
7　人権啓発冊子やパンフレットの作成・配布
8　市のホームページへの人権啓発記事の掲載
9　ビデオ・ＤＶＤ・図書などの貸し出し
10　人権センターにおける企画展
11　「人権を確かめあう日（８月11日)」の啓発活動
12　人権・同和問題学習講座
13　その他（　　）
14　１つも知らない

問26　あなたは、桑名市が人権問題の解決に向けて、どのようなことに力を入れていけばよいと思いますか。あてはまるものすべてを選んでください。

1　学校教育における人権学習の取り組み
2　生涯学習における人権教育の取り組み
3　ボランティア活動等を通じて、人権問題の理解や認識を深める
4　相談事業に対応するスタッフの養成
5　市民や企業、団体等への研修講師の紹介や、交流・連携に対する支援
6　人権問題に取り組むボランティア団体等が交流できる場を提供する
7　人権をテーマとしたイベントや常設・企画展示
8　人権に関するアンケートなどの各種意識調査やニーズの把握
9　啓発冊子の配布や視聴覚教材等の貸し出し
10　その他（　　）
11　特にない
12　わからない

問27　桑名市の人権問題に関するご意見・ご要望等がございましたら、自由にご記入ください。

質問は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

記入もれがないかご確認いただき、アンケート用紙を同封の返信用封筒に入れて、ポストに投函してください（切手は不要です）。

「人権問題に関する意識調査」報告書

令和７年３月発行

桑名市市民環境部人権政策課
〒511-8601
三重県桑名市中央町２丁目 37 番地
TEL　0594-24-1193
FAX　0594-24-2029
e-mail　jinkensm@city.kuwana.lg.jp